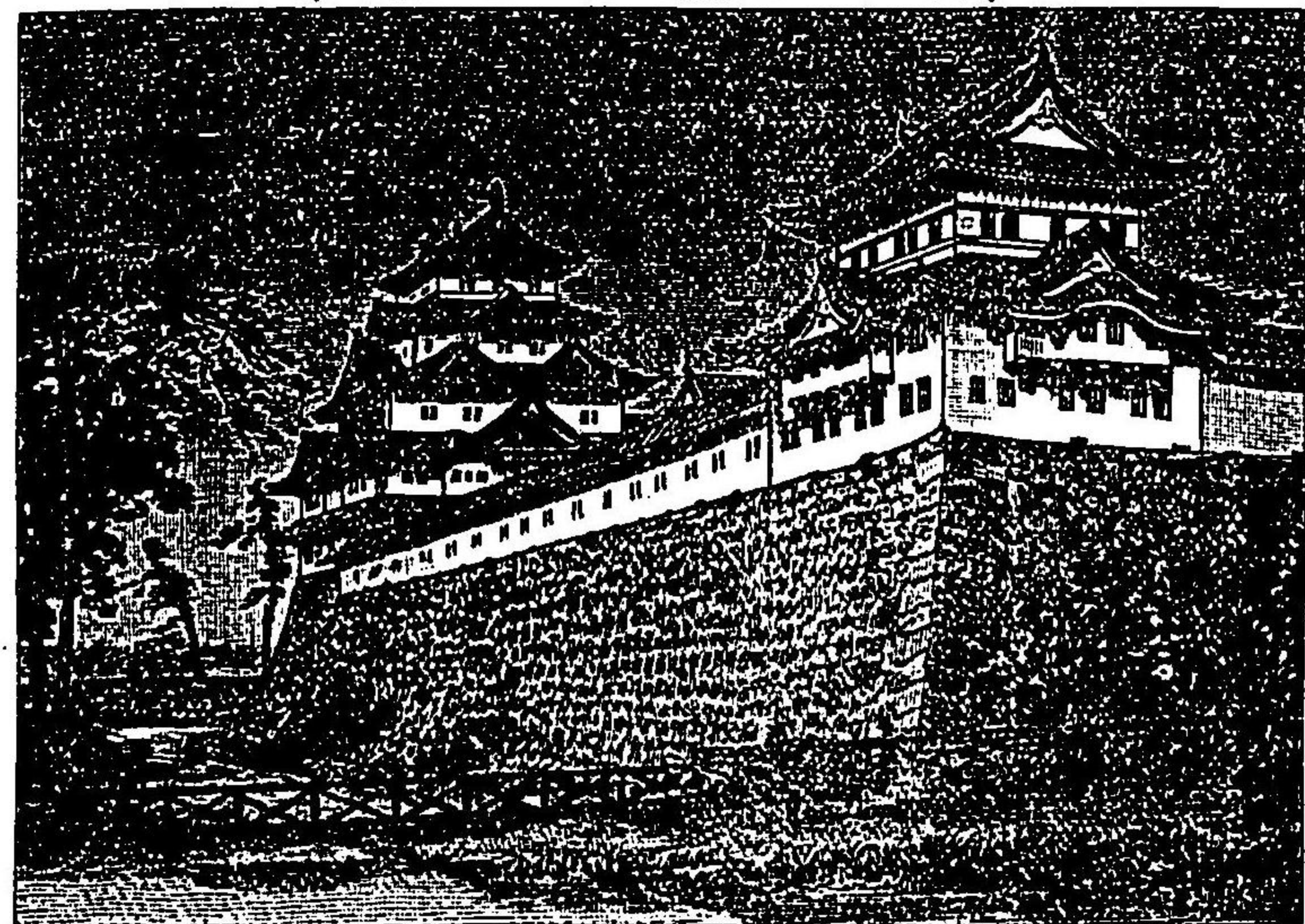


川、肥後ノ球摩川ト併セテ本邦ノ三急流ト稱ス。狩野川(十里餘)ハ伊豆ヨリ出テ、北流シテ駿河ニ入り、沼津ヨリ海ニ注グ。濱名湖ハ、稍灣形ヲナスト雖、元ハ湖水タリ、其ノ大キサ東西凡二里半、南北三里半、餘ニシテ、周回凡四十里アリ、小汽船常ニ湖中ヲ往來シ、東海道鐵道亦湖中ヲ通過ス、其ノ他富士ノ背後即甲斐ノ南ニ河口山中、本栖等ノ六湖アリ、駿河ノ富士沼及ビ箱根山中ノ蘆湖ヲ併セテ富士八湖ト稱ス。又尾張ニ入鹿池アリ、周回凡三里ニシテ、灌溉ノ便アリ。

都市。 名古屋市ハ、尾張ノ中央ニ位ス、愛知縣廳所在ノ地ニシテ、人口凡十八萬

味 屋 古 名



城 屋 古 名

其ノ繁華三府ニ次ギ、百貨四達、商業頗昌ナリ。市北ニ名古屋城アリ、慶長中ノ築造ニ係リ、堅牢壯麗ニシテ本邦名城ノ一ナリ、天主閣ノ屋角ニ金ノ鯨一雙ヲ載ス、頗美觀ナリ、東海道鐵道ハ、三河ヨリ來リ、市西ヲ通過シテ美濃ニ入り、國道ハ東海道、大垣道ノ兩道アリ、市人ハ巧慧ニシテ節儉ナルコト、京坂ノ風ヲ折衷セルモノニ似タリ、其ノ重ナル工藝品ハ、七寶燒キ、絨布、織リ物、扇、鐵器等ナリ、其ノ他近傍ノ名邑ニハ、市ノ南ニ熱田アリ、更ニ宮トモ云フ、伊勢ニ達スル海陸ノ要口ナリ、其ノ東南有松ハ鳴海、綾リヲ産シ、極南ノ半田ハ酒、醬油ヲ出シ、而シテ名古屋及ビ其ノ附近ノ諸邑ハ陶磁ノ製造ヲ以テ著名ナリ。

静岡市ハ、駿河第一ノ都會ニシテ、往時駿府又ハ府中ト云ヘリ、人口三萬八千餘、静岡縣廳ノ所在地ニシテ、東海道ノ一大要區ニ居リ、鐵道東西ニ通シ、商業殷盛、殊ニ製茶ヲ以テ名アリ、製造品ニハ、漆器、竹器、紙類ヲ出ス、其ノ東三里ニ清水港アリ、沼津(人口一萬一千)ハ駿河東部ノ都會ニシテ、伊豆ノ境ニ接ス、是ヨリ静岡トノ間ニ吉原、岩淵、江尻ノ諸驛アリ、静岡ノ西南ニ焼津、藤枝、島田ノ諸邑アリ、伊豆ノ名邑ニハ、南ニ下田、中央部ニ韮山アリ、三島ノ一宿駿河ノ國境ニ接ス。

甲府市ハ、甲斐ノ中央部ニ在リ、山梨縣廳ノ所在地ニシテ、人口三萬三千餘ノ一大商區タリ。全國生絲ノ產地ナルヲ以テ、甲府ハ絹物ニ名アリ。其ノ他ノ都會ニハ、韭崎猿澤、猷澤ノ諸邑アリ。謂ハユル甲州街道ハ、甲府ヨリ相摸ヲ經テ、武藏ノ八王子ニ達ス。津市ハ、モト安濃津ト稱セシガ、今ハ畧シテ單ニ津ト云フ。三重縣廳ノ在ル所ニシテ、人口凡二萬八千アリ。參宮道ノ要衝タリ。其ノ北方四日市ハ、人口一萬八千餘、伊勢内海ノ要港ニシテ、勢尾地方ノ貨物ヲ出入スル樞區タリ。參宮鐵道ハ、大津ノ東草津ニテ東海道線ヨリ分岐シ、四日市ト津トヲ過ギ、南ノ方山田ニ達スルモノナリ。桑名(人口凡一萬九千)ハ勢尾ノ界木曾川ノ口ニ臨ミ、龜山ハ四日市ノ西南ニ在リ、是ヨリ伊賀ノ上野ニ達スベシ。上野ハ、伊賀第一ノ都會、人口一萬三千餘ナリ。南伊勢ニハ、松坂(人口一萬三千餘)、山田(人口凡二萬八千餘)アリ。山田ノ繁華ハ以テ津ニ匹敵スベシ。三河ハ、西ニ岡崎アリ、東ニ豊橋アリ、岡崎ハ矢矧川ニ臨ミ、人口一萬六千餘アリテ、徳川氏創業ノ地ナリ。東海道鐵道ハ、其ノ南ヲ通過シ、又其ノ西南ニ西尾ノ一邑アリ。豊橋ハ前ニ吉田ト稱シ、人口凡一萬六千餘アリテ、豊川ニ臨ム。遠江ノ名邑ヲ濱松トナス、人口ハ豊橋ト相似タリ、昔時徳川氏ノ居城タリシヲ以テ、史上ニ其ノ名著ル、其ノ

東ニ見付掛川ノ諸驛アリ、岡崎、豊橋、濱松共ニ東海道ノ要驛タリ。

勝區、舊蹟。

山田ノ南宇治町ニ、伊勢太神宮ノ祠アリ、五十鈴川ニ臨ミ、内宮ト稱ス。皇祖天照太神ヲ祭レル所ニシテ、垂仁天皇ノ朝ニ大和ノ笠縫ヨリ玆ニ遷座シ奉リシナリ。山田ニ外宮アリ、瓊瓊杵尊以下三神ヲ祭ル所ニシテ、雄略天皇ノ朝ニ丹波ヨリ此ノ處ニ遷シ給ヘルナリ。毎年二宮ニ參詣スルモノ極メテ夥シ、山田及ビ參宮道宿驛ノ居民ハ、此等旅客ニ由リテ生計ヲ營メリ。山田ノ海岸ニ二見浦ノ名勝アリ。織田信長起業ノ居城タリシ清洲ハ、名古屋ノ西北ニ在リ、豊臣徳川二氏ノ古戰場ナル小牧山ハ名古屋ノ北ニ在リ、鳴海ノ西南ナル長嶽ハ、徳川氏ノ豊臣氏ヲ破リシ所ナリ。又信長ノ今川義元ヲ襲殺シタル古戰場桶狭間ハ、鳴海ノ東南ニ在リ。此ノ外甲斐ノ天目山ハ、武田勝頼戰死ノ地トシテ、史乘ニ知ラレ、甲府市北ノ城趾ハ、武田信玄ノ居リシ處ト云フ。

清水ノ南ニ方リ、西ヨリ東ニ突出シテ港泊ヲ擁スル長洲ヲ三保ト云ヒ、其ノ北ノ海岸ヲ田子浦ト稱ス、共ニ風景ノ佳ナルヲ以テ稱セラル。

富士山系ハ火山質ナリ、故ニ其ノ南走スル脈中ニ、温泉ノ湧出スル所極メテ多ク、相

摸ニ屬スルモノ九所、伊豆ニ屬スルモノ十七所アリ。伊豆ノ温泉中殊ニ名アルモノヲ熱海及ビ修善寺トス、二地共ニ氣候順和、避暑避寒ニ宜シキヲ以テ、四時浴客絶ユルコトナシ。蓋熱海ハ我が國第一ノ浴場タリ、伊豆ニ次グ温泉地ヲ甲斐トナス、伊賀志摩、尾張、三河、遠江等ニハ温泉全ク湧出セズ。

氣候。 東海道ハ北ニ一帶巒峯ノ障壁ヲ負ヒ、南ハ海ニ面ス、故ニ氣候ハ大抵和順ニシテ、寒暑宜シキヲ得タリ。但シ山岳ニ接スル所ト海岸地トハ、其ノ間差違ナキ能ハズ。又關東部ハ、關西部ニ比スレバ稍寒シ、左ニ關西部各地ノ溫度雨量ノ表ヲ掲グ、以テ氣候ノ一ヲ推想スベシ。

地名	溫度			濕度		雨量
	最高	最低	平均	平均	總	
津	三四・一	零下五・〇	一四・一	七六	一・九三四・八	
名古屋	三四・七	六・四	一四・一	七五	一・六五三・三	
濱松	三六・九	四・四	一四・九	七四	二・一七八・九	
沼津	三三・二	六・〇	一五・一	七四	二・五七七・四	

物産。

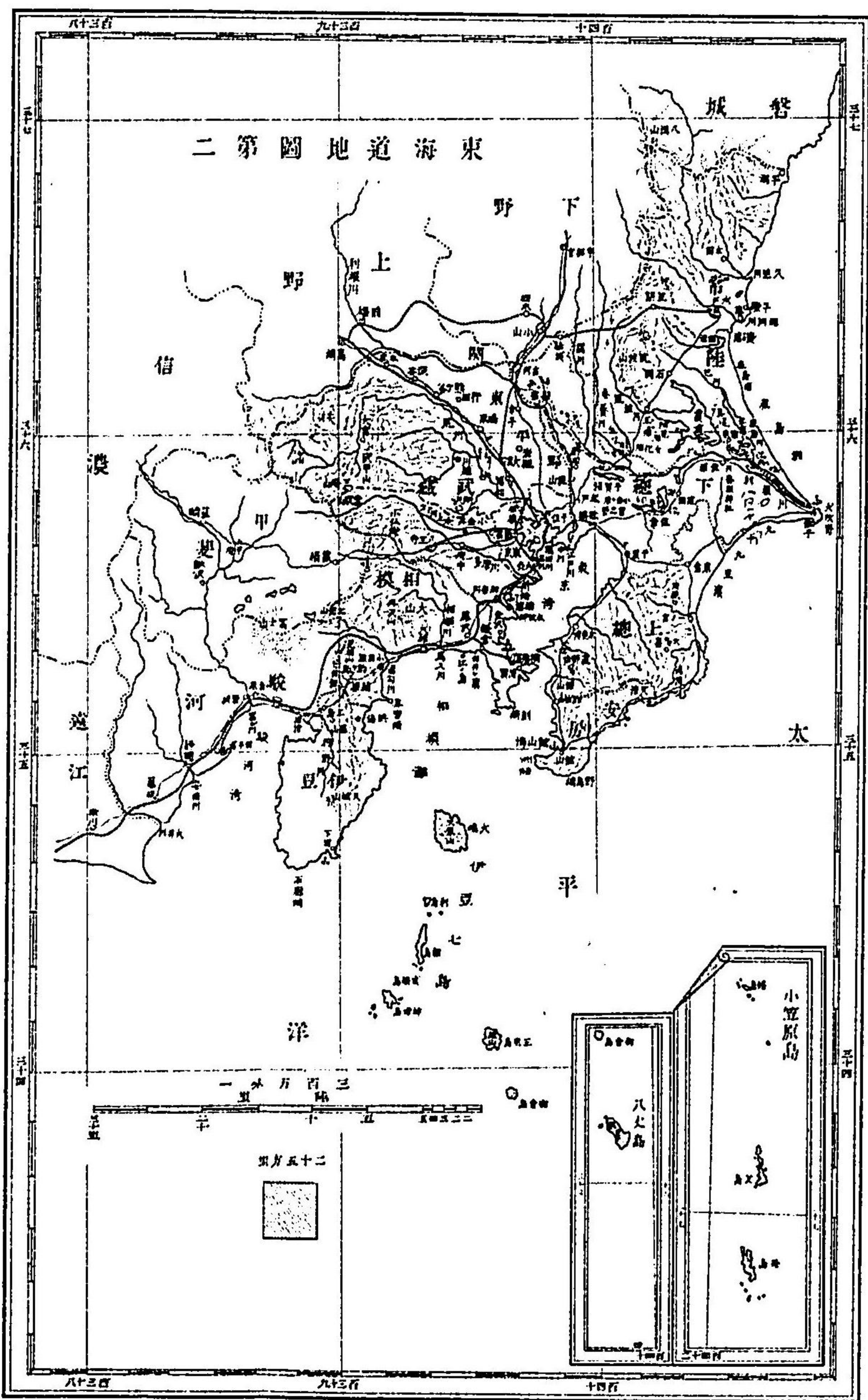
米ハ、尾張、伊勢ニ多ク産シ、麥ハ尾張、玉蜀黍ハ駿河、甲斐ニ多シ。絲ハ、尾張ヲ以テ本部第一ノ產地トシ、三河ノ産モ亦少カラズ。養蠶ノ業ハ、各國ニ普通ナレドモ、甲斐ヲ以テ最トス。藍ハ尾張、伊勢ニ名高ク、茶ハ各國ニ産スルモ、伊勢、遠江、駿河ヲ以テ東海道中最盛大ナリトス。遠江ノ蠶ミ表、砂糖、甲斐ノ葡萄、三河、遠江ノ材木、伊豆ノ薪炭等共ニ名アリ。

次ギニ工藝上ノ特有品ヲ枚擧スレバ、尾張、三河、伊勢ノ木綿、津ノ紙子、鳴海絞リ、松坂縞、甲斐ノ甲斐生絹、琥珀織リ、繻子、絹及ビ傘絹、伊賀ノ伊賀焼キ、伊勢ノ萬古焼キ、尾張ノ七寶、瀬戸、常滑、豐樂ノ諸陶器、駿河ノ駿河半紙、伊勢ノ形紙、壺屋紙、春慶塗リ、伊豆ノ八丈絹及ビ雁皮紙、名古屋ノ扇ギ、静岡ノ竹細工、寄セ木細工等最有名ナルモノナリ、又知多半島ノ酒、醫油モ、之ニ次ギテ名アリ。

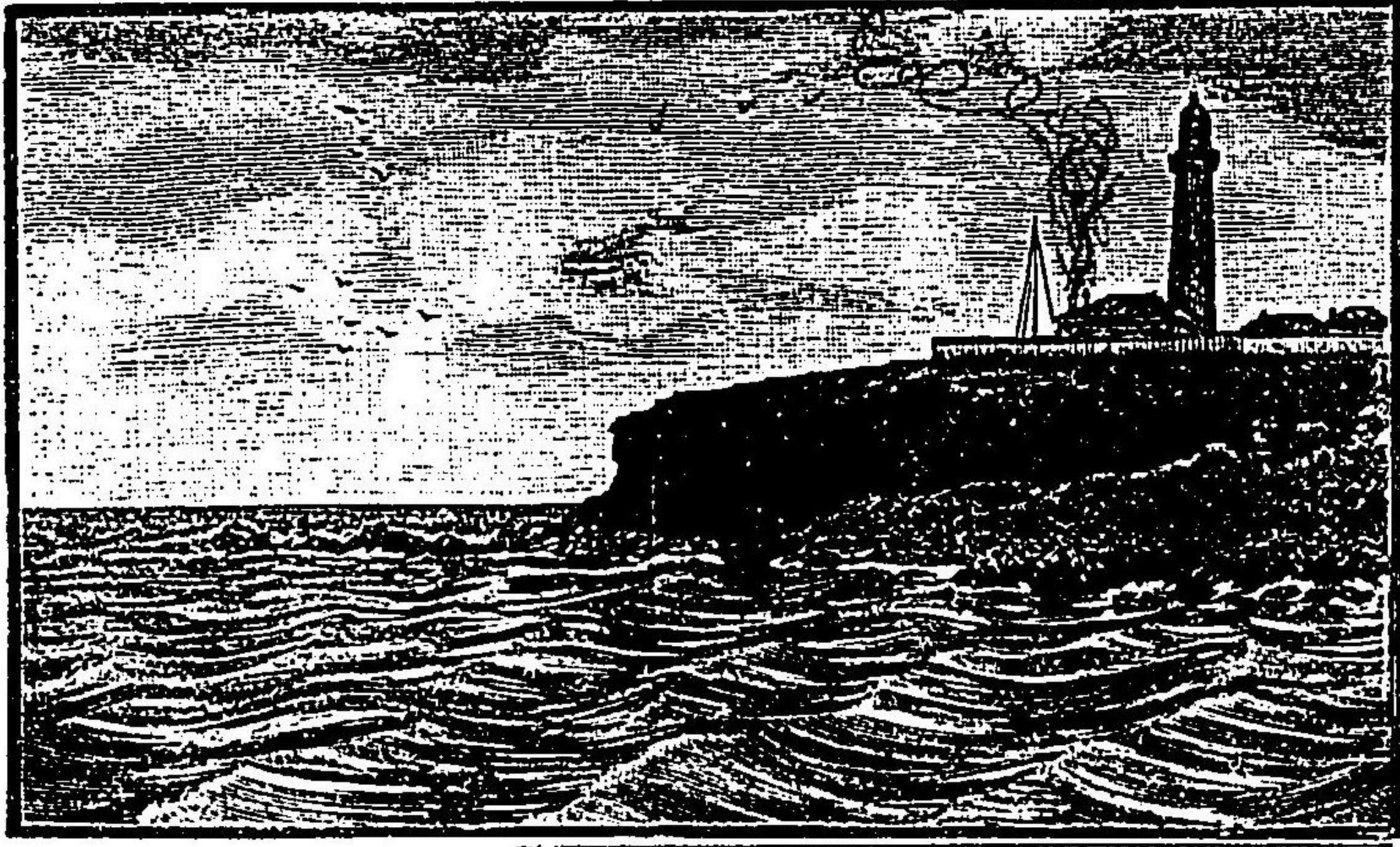
礦産ハ、三河ノ花崗石、遠江ノ石油、甲斐ノ水晶、天羽田石、伊豆ノ伊豆石等アリ。沿海ノ地ハ水産少カラズ、三河、遠江ノ鰯、伊勢、志摩ノ石花采ハ、特産ト稱スベク、鰹、鮪、鯛、鱈、鰯、鰯等ハ、諸國ニ産ス、而シテ鰹節ハ、伊豆、駿河ヲ以テ良品トス。

第三章。東海道—關東部。

海岸、港灣。 本部モ亦關西部ト同シク、海岸線ノ屈曲多様ナリ、即南ニ東京相摸ノ二大灣アリ、而シテ上總、安房一大半島ヲナセリ、然レドモ、東部海岸線ハ出入少ナク、從ヒテ良港ニ乏シ。相摸ノ西南海中ニ突出スル地ヲ眞鶴崎ト云フ、遙カニ東南ノ三浦半島ト相對ス。三浦半島ハ、其ノ海岸ノ出入極メテ繁ク、岬角又少カラズ、其ノ最有名ナルモノヲ東側ノ觀音崎トシ、東南端劍崎之ニ次グ。東京灣ハ、相摸、武藏、下總、上總、安房ノ海岸ニ沿ヒ、深ク陸地ニ入レル内海ニシテ、其ノ幅三四里乃至七里、長サ二十餘里、相摸ノ觀音崎ト安房ノ富津洲ト其ノ口ヲ扼ス。此ノ間距離僅ニ三里十七町名ケテ浦賀海峡ト云フ。觀音崎ニハ、砲臺及ビ燈臺ヲ備フ。横濱ノ南ヨリ東京灣ニ突出スル地ヲ本牧岬ト云フ、亦岬頭ニ燈臺ヲ設ク。安房ノ西南端ヲ洲崎ト云ヒ、其ノ北ノ小灣ヲ館山灣ト云フ、此ノ國極南ノ野島岬ニモ燈臺アリ。是ヨリ東岸ノ邊ハ、風浪甚荒シ、常陸下總ノ境ナル大岬ハ、有名ナル犬吠岬ニシテ、實ニ東海道ノ絶東ナリ、近海波荒ク暗礁アリテ舟行危険ナリ、故ニ是亦同シク燈臺ノ設ケアリ。犬吠岬ノ南、下



鹿島港の概観



犬吠岬燈臺

總上總ノ東海岸ハ、弓形ノ砂濱ニシテ、九十九里濱ト稱ス。岬ノ北、常陸ノ海岸モ、亦屈曲ナキ弓形ノ砂濱ニシテ、鹿島浦ト云ヒ、其ノ沖ヲ鹿島灘ト云フ。凡ベテ此ノ邊常陸、下總ノ海岸ハ、舟行ノ難所トス。

相摸ノ良港ハ、凡ベテ東岸ニ在リ、観音崎ノ南方浦賀ハ、港内廣カラザレドモ、水深クシテ巨船ヲ碇繋スルニ足レリ、浦賀ノ西北ニ横須賀港アリ、武藏、相摸ノ間ニ、金澤ノ入り江アリ、本牧ノ北ハ、即横濱ノ港タリ、野毛浦、神奈川ニ續キ、且波堤ノ設ケアリ。東京灣ハ、西北ニ品川港アリ、水淺クシテ大船海岸ニ接近シ難ク、東北海岸ハ、大河土砂ヲ流出シ、海岸遠淺ニシテ良港ナシ、此ノ間僅ニ小蒸氣船ノ通航アルノミ、安房ノ館山、加知山、

上總ノ木更津等モ、又大船ヲ泊スルニ足ラザレドモ、小汽船ノ東京、横濱、浦賀等ト往來スルモノ頻繁ヲ極ム。東部海岸ハ甚港泊ニ乏シ、利根川口ニ銚子港アリ、常陸ニ那珂ノ小港アリ、其ノ北端ニ平潟ノ小港アルノミ。

地勢、山岳。

本部地勢ヲ按ズルニ、其ノ大部分ハ平坦ナル原野ヲナス、名ケテ關東平野ト云フ、相摸、武藏、下總、常陸ノ四國ニ跨リ、北ノ方上野、下野ニ續キ、我が國第一ノ平地ナリ、故ニ人口頗稠密、東京ヲ始メトシテ、大イナル市邑極メテ多シ。

關東ノ平野ハ、斯ク六國ニ跨ル大原野ナルガ、局部ニ由リテ、種種其ノ名ヲ異ニス、武藏ノ平地ハ、往時ノ有名ナル武藏野タリ、相摸ニハ、相摸原アリ、下總ニハ、小金原アリ、之ニ連リテ習志野アリ、皆近時開拓ニ歸セントス、常陸ニハ、阿見原、女化原アリ、利根川沿岸十數里ノ間ニハ未墾ノ平地尙多シ。

相摸ノ西部、武藏ノ信濃、甲斐ニ接スル部分、及ビ常陸ノ西北境ニハ、山峯累累タリ。上總、安房ノ境ニモ、亦山多ケレドモ、甚高キモノナシ、武藏、相摸ト甲斐、駿河ヲ分界スル山脈ハ、即關東山脈ニシテ、本部ト關西部トヲ限ル。而シテ其ノ中ノ重ナルモノヲ記スレバ、箱根山脈ハ伊豆、相摸ノ間ニ在リテ、數峯相連リ、其ノ最高キ山ヲ駒嶽ト云フ、

(高サ四千四百七十五尺)北ニ足柄、三國(二千九百七十尺)ノ諸山アリ、相摸ノ中央ニ大山(一名雨降山四千二百二十九尺)丹澤(五千百七十八尺)ノ諸山アリ、武藏ト信濃、甲斐ノ境界ハ、山岳重疊ス、總シテ之ヲ秩父山ト云フ、十文字峠、雁坂峠(六千八百八十四尺)等アリ、武藏、相摸ノ界ニ延ビテ山勢大ニ衰フ、武藏ニハ、武甲山(四千三百二十三尺)三峯山(三千四百九十八尺)、雨神山(五千七百八十八尺)、雲取山(六千六百五十六尺)、大洞山(六千三百十五尺)アリ、常陸ニハ、筑波山(二千六百尺)最高ク、其ノ脈北ニ及ビ、磐城ノ境ナル八溝山トノ間ニ一山脈ヲ連ヌ。上總ニ鹿野山(一千六百六十二尺)アリ、安房ニ鋸山(一千八十二尺)アリ、鹿野山ハ避暑ニ適ス。

水理。

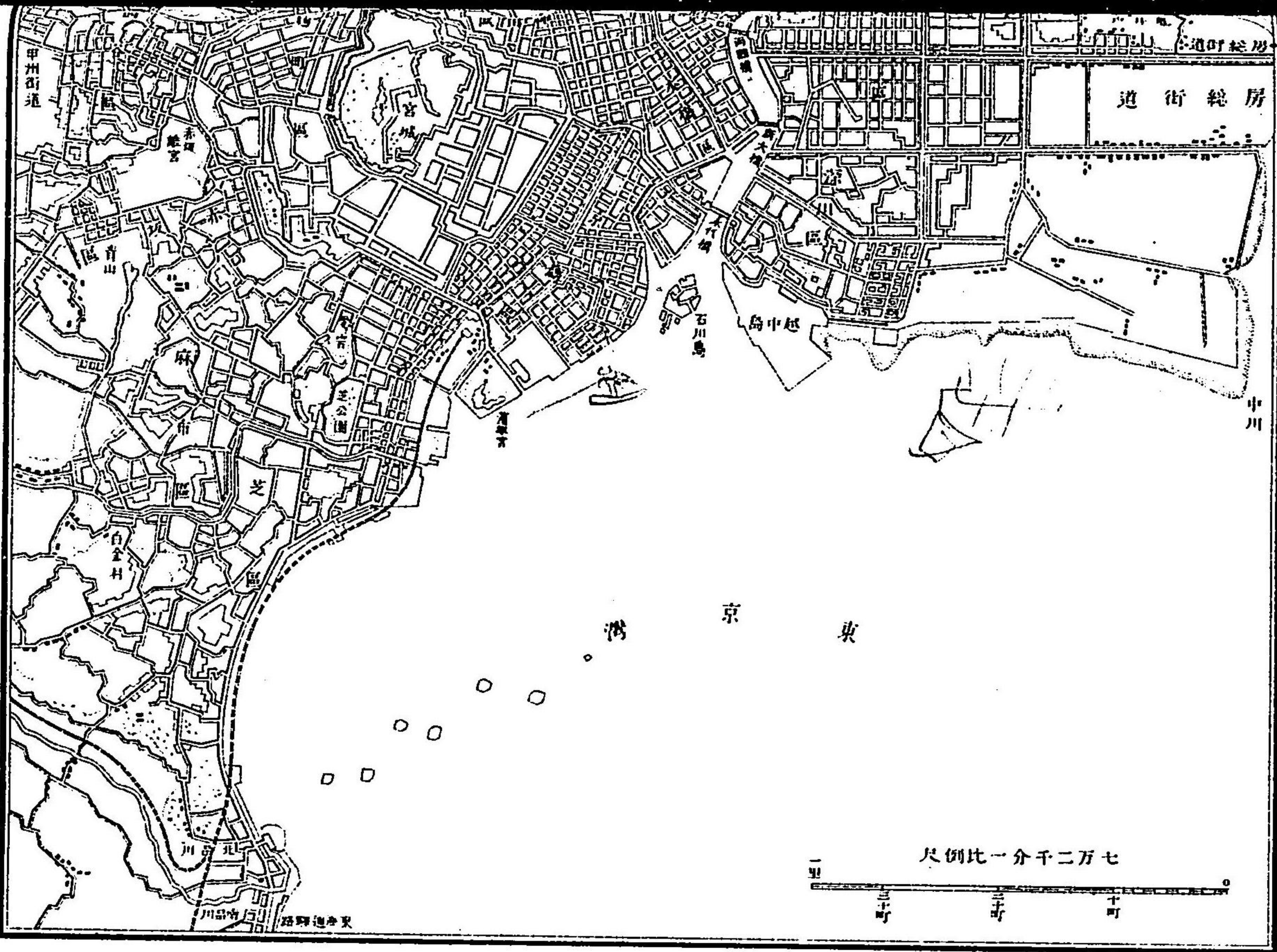
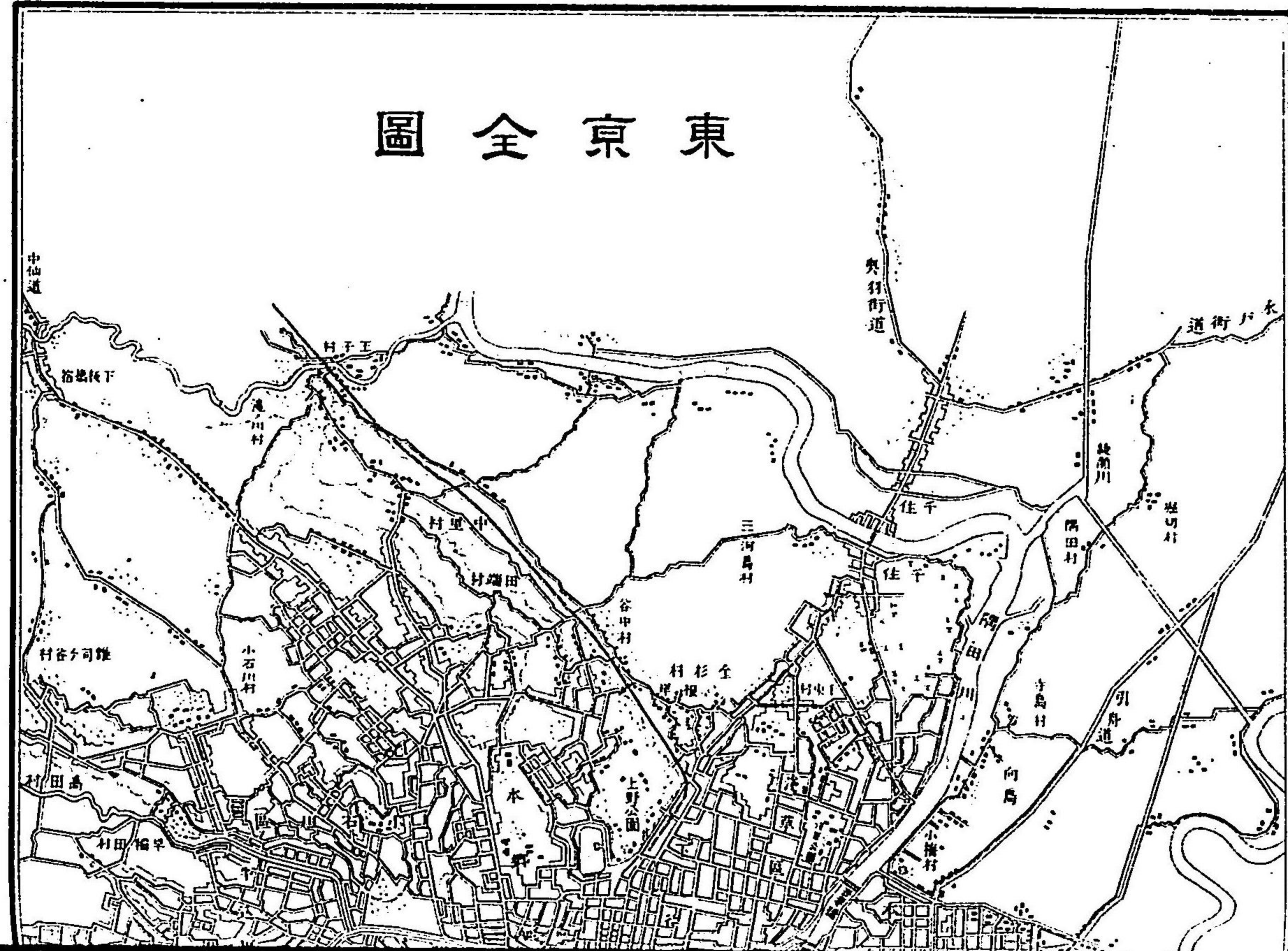
相摸ニ酒匂、馬入ノ二川アリ、馬入川又相摸川ト呼ブ、其ノ上流ハ即桂川ナリ、源ヲ甲斐ノ山中湖ニ發シ、全長三十餘里、舟楫ノ便アリ、武藏ニハ西南ニ多摩川(十八里)アリ、東北ニ荒川アリ、利根ノ分流江戸川ハ、武藏、下總ノ境界ヲ流ル、荒川ト江戸川トノ間ニ中川アリ、皆舟楫ヲ通ズベシ、荒川ハ源ヲ信濃ノ國境ニ發シ、秩父諸山ノ水ヲ併セ、蜿蜒トシテ東南ニ流レ、東京ヲ貫キテ海ニ入ル、下流ニ隅田川ノ名アリ、全長凡五十餘里、灌溉舟楫ノ利ニ富ミ、其ノ沿岸地ハ極メテ肥沃ナリ、殊ニ其ノ江戸川

トノ間ハ、最膏腴ニシテ、武藏米ト稱スルハ、主ニ此ノ邊ヨリ産ス。

利根川ハ、關東第一ノ大河ニシテ、世ニ之ヲ阪東太郎ト稱ス、源ヲ上野ノ山中ニ發シ、武藏ノ北界ヲ流レ、下總ノ西北境ナル關宿驛ニ至リ、江戸川ヲ分流シ、本流ハ東ニ向ヒ、常陸下總ヲ限リ、銚子港ニ至リテ海ニ注グ、流程七十餘里、舟楫ノ便七十里ニ及ブ、銚子ヨリ上流地方ニ小汽船ノ交通アリ、近年江戸川ノ中程ヨリ運河ヲ開鑿シテ、捷路ヲ利根ノ本流ニ通ジ、一層水運ノ便ヲ増セリ、利根ノ支流ニ鬼怒川(三十里)、蠶養川(三十二里)アリ、常陸ノ中央ナル那珂川(四十二里)、久慈川共ニ舟楫ノ利アリ、南方筑波川ハ霞浦ニ入り、巴川ハ北浦ニ入ル、皆小流ナリ。

湖沼。 關東ノ湖沼ハ、利根川下流兩岸ノ地、下總、常陸ニ集レリ。此ノ邊土地低クシテ平坦ナルヲ以テナリ。其最大イナルモノヲ常陸ノ霞浦トス、本邦第二ノ大湖ニシテ、直徑七里許、周回三十六里許、利根川及ビ北浦ニ通ズ。北浦ハ霞浦ノ東ニ在リ、狹長ノ大湖ニシテ、長サ六里、幅一里、周回十五里アリ、又利根川ニ通ズ。二湖共ニ操舟漁魚ノ便ト灌漑ノ利トヲ供スルコト少カラズ。其ノ他常陸ニハ、牛久沼(周回六里)、洞沼(周回七里)等以下大小ノ湖沼少カラズ。

東京全圖



印幡沼ハ下總ノ大湖ナリ、形細長クシテ屈曲シ、周回十二里、中ニ魚鳥多シ。其ノ東北ニ手賀沼アリ、長沼等アリ、皆利根川ニ通ズ。

箱根山中ノ蘆湖ハ、富士八湖ノ一ニシテ、火山湖ナリ、周回五里、風景亦佳シ、箱根關所ノ舊趾ハ其ノ南岸ニ在リ。

東京。 東京ハ、武藏ノ東南ニ在リ、其ノ位置、北緯三十五度四十一分、東經百三十九度、四十六分ニシテ、東南ハ東京灣ニ臨ミ、西北、東ノ三面ハ、武藏野ノ沃地ニ連リ、隅田川其ノ東部ヲ貫流ス、其ノ大キサ東西二里餘、南北殆三里、人口百十六萬餘、本邦第一ノ大都ニシテ、世界大都ノ一ニ居リ、中央ニ皇城アリ、街衢蜘蛛ノ如ク、其ノ外ヲ周リ全市ヲ十五區ニ分ツ。皇城ノ周圍ハ即麴町區ニシテ、南ニ芝區アリ、西北ニ麻布、赤坂、四谷、牛込ノ四區アリ、北ニ小石川區アリ、東南ニ京橋、日本橋ノ二區アリ、東北ニ神田區アリ、其ノ北ニ本郷、下谷ノ二區アリ、日本橋區ノ北ニ淺草區アリ、隅田川ヲ隔テテ北ニ本所區、南ニ深川區アリ、日本橋、京橋ノ二區ハ、人家櫛比、人口稠密、最繁華ヲ極メ、神田區之ニ次グ、市内土地平坦ナレドモ、東北部ハ丘岡ニ跨ル。

東京ハ、舊江戸ト稱シタリ、古ハ蘆茅茂レル一小僻地ナリシガ、後花園天皇ノ世ニ、關

東ノ管領上杉氏ノ老臣大田持資始メテ今ノ皇城ノ地ニ城ヲ築キテヨリ、漸漸ニ開ケ、後一旦北條氏ニ屬シ、遂ニ德川氏ノ居城タルニ及ビ、大イニ土功ヲ加ヘ、高キヲ夷ゲ、低キヲ埋メ、外廓ヲ擴ゲ、溝渠ヲ掘リ、奕世此ノ中ニ居テ霸政ヲ執リシヨリ、全國ノ諸侯常ニ江戸ニ參勤シ、其ノ邸宅ヲ廓ノ内外ニ造リ、諸侯家人ノ出入日ニ繁ク、市街從ヒテ隆昌ニ赴キ、遂ニ今日ノ規模ヲナスニ至レリ。德川氏ノ盛時ニハ、人口二百萬ニ及ビシコトアリキ。明治元年、帝京ヲ此處ニ移シテヨリ、江戸ヲ東京ト改稱セリ。諸官衙、兩議院、兵營、東京府廳、大小ノ學校、病院、博物館、公園、工業場、其ノ他宏壯偉大ナル公私ノ大建設、市中ニ散在シ、繁盛ノ街衢ハ、行人踵ヲ接シ、車馬絡繹トシテ絶ユルコトナク、電信、電話、電燈ノ諸線、街上ニ架リ、溝渠縱横ニ通ジ、陸運ノ便ニ兼ヌルニ水漕ノ利ヲ以テシ、隅田川口ハ船舶常ニ填充シ、百貨殷富、市況充實、帝國ノ名士名工商賈等、多クハ玆ニ集リ、實ニ全國ノ首府タルニ恥ヂズ。近年市街ノ狹隘ナルモノヲ廣クセンガ爲ニ、市區改正ノ業ニ從事シ、漸次ニ擴張ノ目的ヲ達セントス。又市中ニ用水ノ乏シキ所少カラザルヲ以テ、德川氏ノ世ヨリ多摩、神田ノ二水ヲ引キ、暗溝ヲ伏セテ各町ニ配布シ來リシガ、近年鐵管暗渠ノ大工事ニ着手中ナリ。

隅田川ニハ、兩國、新大橋、永代、靨、吾妻ノ五大橋アリ、其ノ他小橋市内ニ多シ。鐵道ハ、東海道線、市南新橋ヨリ起リ、東北諸線、市北上野ヨリ發シ、四谷區ヨリハ、甲武線ヲ發ス、別ニ以上三線ヲ連結スル市外線アリ。國道ニハ、東海道、甲州街道、中仙道、奥羽街道、下總街道等、市ノ周圍ヨリ分岐シ、行旅ノ出入極メテ繁シ。

都下遊賞ノ地トシテ名アルモノハ、上野、淺草、芝、愛宕ノ諸公園ヲ始メトシテ、其ノ數頗多ク、隅田川ノ長堤ハ、櫻花ヲ以テ稱セラレ、龜戶ノ天神境内ハ、藤ヲ以テ名高シ。近郊ニハ、目黒、王子、小金井、河崎等、都人遊賞ノ地少カラズ。市民ノ生質ハ、舊來俠氣ヲ以テ稱セラレシガ、今ハ諸國ノ人交雜シテ、氣風一定セズ。然レドモ其ノ衣服裝飾等ハ凡ベテ全國流行ノ中心ヲナス。

東京市ノ北ニ、千住、人口凡一萬五千、板橋ノ町アリ、南ノ方海岸ニ沿ヒテ、品川（人口一萬七千餘）、大森、河崎ノ町アリ。

其他ノ都市。

橫濱市ハ、東京ノ西南八里ノ地ニ在リ、元ハ一小村ナリシガ、安政年中開港互市場ト定メラレテヨリ、人口大イニ増加シ、全國第一ノ貿易場トシテ、海運ノ中樞タリ。其ノ大キサハ、東西凡二里、南北一里半、人口十三萬餘ニシテ、神奈川

縣廳茲ニ在リ。市中ニ外國人ノ寄留者多ク、内外ノ貨物常ニ輻湊シ、汽船、帆船ノ出入甚多シ。海岸ニ沿ヒテ神奈川驛ニ連リ、東京トノ間ニ汽車ノ往復頻繁ヲ極メ、貿易ノ額常ニ五港ノ首位ニ在リ。近年船舶碇泊ノ便ヲ増サンガ爲ニ、築港ノ大工事ニ著キ中ナリ。

東京ノ北西ナル中仙道ニハ、浦和、大宮、鴻巣、熊谷等ノ宿驛アリ。上野ヨリ發スル鐵道ハ、大宮ニ於イテ分岐シ、一ハ熊谷本莊等ヲ經テ上野ニ入り、一ハ北東ニ進ミテ、下野ニ入り、青森ニ達ス。浦和ハ埼玉縣廳ノ所在地ナリ、大宮ノ西ニ河越アリ、人口一萬九千餘ヲ有ス。又東京四谷ヨリ甲武鐵道線ノ通ズル所、西ニ八王子アリ、人口凡二萬三千、甲州街道ノ衝ニ居リ、生絲ノ市場、絹織リ物ノ產出地トシテ、其ノ名高シ。凡ベテ武藏平原ノ諸郊ハ、農業及ビ蠶絲ノ生産、織リ物ノ製造諸業多シ。武藏ノ北西秩父山間ノ人民ハ、薪炭、絹、木綿ノ諸業ニ從事ス。

相摸ノ名邑ニハ、小田原、横須賀、鎌倉、浦賀、藤澤、大磯等アリ。小田原ハ相摸第一ノ都會ニシテ、人口一萬四千餘アリ、昔時ハ、北條氏ノ居城地ニシテ、關東第一ノ都會タリキ。横須賀ハ、元一漁村ナリシガ、維新ノ頃、造船所ヲ茲ニ設ケテヨリ、次第ニ繁盛ヲ極メ、

今ハ海軍ノ鎮守府トナリ、人口一萬八千餘ニ及ベリ。鎌倉ハ昔時源賴朝、堀府ヲ肇メシ以來、北條氏ノ末マデ、國政ノ中心トナリ、テ頗繁盛ナリシカバ、當時ノ古跡極メテ多シ。鎌倉、横須賀ヲ連結スル鐵道ハ、東海道線ノ分岐ナリ。大磯モ亦鎌倉時代ノ舊地ナリ。近年海水浴場ヲ開キ、次第ニ盛況ヲ呈セントス。東海道鐵道ハ、横濱ヨリ大磯、藤澤等ヲ過ギ、國府津ニ至リ、足柄ヲ超エテ沼津ニ達ス。

下總ニハ、東北ニ銚子、佐原アリ、中央部ニ佐倉、成田アリ、東京灣ニ臨ミテ千葉、船橋アリ、西北ニ結城アリ、江戸川ニ沿ヒテ古河、關宿、野田、流山、松戸等ノ諸邑アリ、古河ハ奥羽街道ノ一宿タリ。千葉ハ千葉縣廳ノ所在地ニシテ、人口二萬四千餘アリ、千葉街道ハ、東京本所區ヨリ起リテ船橋ニ至リニツニ岐レ、一ハ佐倉、成田、佐原、銚子ニ達シ、一ハ千葉ヲ經テ、上總、安房ニ達ス。銚子、船橋、佐原、皆人口一萬以上アリ。結城ハ織リ物、野田ハ醬油、銚子ハ縮ミ、及ビ醬油、流山ハ味淋ヲ以テ名ヲ得。銚子ハ又利根川水運ノ要港ニシテ、商業繁盛ノ地ナリ。千葉ヲ經テ南ニ下レバ、上總ニ木更津、茂原アリ、安房ニ館山、加知山アリ、上總、安房ノ海岸ハ、海水浴場ニ適セル地少カラズ。水戸街道ハ、東京ヨリ千住ヲ經テ松戸ニ出ツ。水戸市ハ常陸第一ノ都會ニシテ、人口

二萬七千餘、茨城縣廳ノ所在地タリ、水戸鐵道ハ、下野小山ニテ東北線ヨリ岐レ、結城ヲ經テ此ノ地ニ達ス。水戸ノ東郡珂川口ニ湊町アリ、西南ノ石岡、土浦ハ、共ニ人口一萬以上アリ、水戸ノ北五里ニ太田アリ、土地小サケレドモ繁昌、水戸ニ讓ラズ。

勝區、舊蹟。 鎌倉ノ西ニ一小島アリ、江島ト云フ、低潮ノ時ハ、砂路陸ニ連ル。此ノ島斷崖巉岩多ク、風景頗佳ナリ、南ノ方海水ニ接シテ、一大洞窟アリ、深サ一町ニ過ク、江島鎌倉ノ間ニ龍口ノ舊蹟アリ、日蓮上人遭難ノ地ナリ。龍口ノ東隣ハ、即腰越ノ關趾ニシテ、義經ノ舊跡タリ。龍口ヨリ鎌倉ニ達スル海岸ハ、所謂七里濱ト由井濱ニシテ海面ノ風光最好シ、鎌倉ニハ頼朝及ビ北條累代、足利家關東管領ノ遺跡等、歴歴徴スベシ、中ニ就キ鶴岡八幡宮、建長寺、大佛等最著ル。大磯ノ近傍ニハ、僧西行、名妓虎ノ遺跡アリ、武藏ニハ金澤八景ノ勝アリ。大宮ノ氷川神社、下總ノ香取神社、常陸ノ鹿島神社ハ、共ニ我が國稀有ノ古社タリ、下總成田ノ新勝寺ニ不動アリ、東京及ビ關東諸國ヨリ之ニ詣ルモノ頗多シ。

温泉ハ、相摸ノ箱根山中ニ集レリ、湯本、塔澤、宮下、堂島、底倉、木賀、蘆湯最著ル、通ジテ箱根七湯ト云フ。國府津ヨリ馬車鐵道ノ便アリ、夏時浴客蟻集シ、其ノ繁盛熱海ニ讓ラ

ズ、實ニ關東中ノ勝區タリ。

氣候。

本部ノ氣候ハ關西部ト大差ナシ、只平均温度少シク低キノミ。

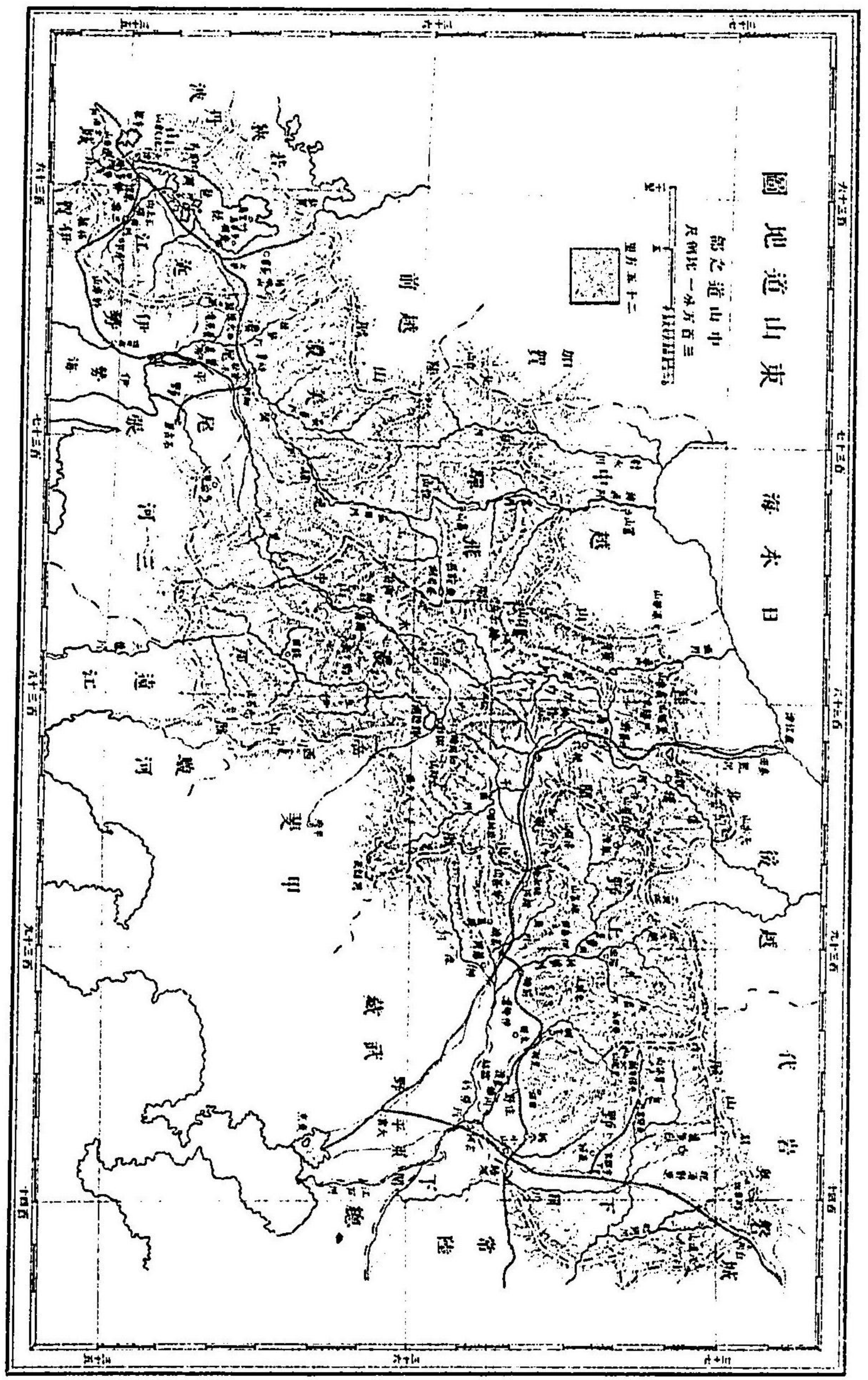
地名	温度			湿度		
	最高	最低	平均	平均	總量	雪
東京	三四・四	零下六・八	一四・〇	七三	一・七二五・一	
銚子	三二・六	全四・八	一五・二	七六	一・九四六・七	

物産。

關東平野ハ、地味極メテ肥沃、農産額極メテ多シ。普通農産物ニテハ、武藏、下總、常陸ハ多ク米麥ヲ産シ、大豆、甘藷ノ産額モ甚大イナリ。綿、藍ハ、常陸、武藏ヲ良シトシ、煙草ハ常陸ヲ著名トシ、養蠶ハ、武藏ヲ盛ントシ、牧業ハ、下總ヲ最トス。武藏ノ秩父ノ諸山及ビ上總、下總ハ薪炭ヲ出ス。

工藝品ニテハ、武藏ニ木綿、絹織リ盛ンナリ、其ノ中、八王子殊ニ名高ク、一切ノ絹絲織リ物製作セサルナシ、其ノ他ノ特有産物ヲ枚舉スレバ、結城紬、秩父絹、銚子縮ミ、佐倉炭、流山味淋、野田、銚子、土浦ノ醬油、下總ノ行徳鹽等アリ。

鑛産ニハ、常陸ニ石炭、寒水石等アリ。水産ハ、沿海地方殊ニ外洋ニ類スル海岸最盛ン



圖ノ漁里九十九

ニテ鱈、鮭、鱈、鰯等ノ漁獲多シ、下總、上總、九十九里ノ海岸ハ、鰯漁極メテ盛大ニシテ、水産ノ價格他國ニ冠タリ。其ノ他特有産トシテハ、品川、大森ノ海苔其ノ名高シ。東京ハ、種種製造工業盛ンナレバ、其ノ特産トシテ舉グベキモノナシ。

第四章。東山道―中山道部。

總叙。東山道ハ、畿内ノ東北部琵琶湖ノ邊ニ起リテ東ニ進ミ、南ハ東海道ニ、北ハ北陸道ニ接シ、本州ノ中央部ヨリ北ニ折レテ、北東ノ首領ヲナス、諸道中最廣キ地ニシテ、長サ二百八十餘里、廣サ五十餘里ニ達シ、其ノ面積六千八百五十方里、人口八百六十三萬八千七百三ニシテ、一方里ノ人口一千三百二十九人ニ當ル、西南部ハ、全ク海ニ臨マズ、東北頭ハ、三面繞ラスニ海ヲ以テス、總シテ十三國、七市、一百六十四郡アリ。滋賀、岐阜、長野、群馬、栃木、福島、宮城、岩手、青森、山形、秋田ノ十一縣之ヲ分割ス。七市ハ岐阜、仙臺、盛岡、弘前、山形、米澤、秋田ナリ。

本道ヲ二大部ニ分ツ、近江ヨリ下野ニ至ル六國ヲ中山道ト稱シ、磐城、岩代以北ノ七國ヲ奥羽ト云フ、奥羽部ハ、舊時陸奥、出羽ノ二國ニ分チシガ、維新ノ後、陸奥ヲ磐城、岩代、陸前、陸中、陸奥ノ五國ニ、出羽ヲ羽前、羽後ノ二國ニ細分セリ。今左ニ二部ノ面積及ビ人口ヲ比較セン。

面積(方里)

人口

一方里ノ人口

中山道	二、六〇二、六六七	四、一九七、一八七	一、六一三
舊奥羽	四、二四七、二三三	四、四四一、五一六	一、〇四六

東山道ハ、本州中央ノ脊骨部ヲナスヲ以テ、山多ク平地少クシテ、其ノ名ニ背カズ、故ニ人口ハ兩部共ニ稀疎ニシテ、殊ニ奥羽部ハ、北海道ヲ除ケバ拓殖最全國ニ後レタリ、故ニ其ノ人口ハ一層稀疎ナル所アリ。

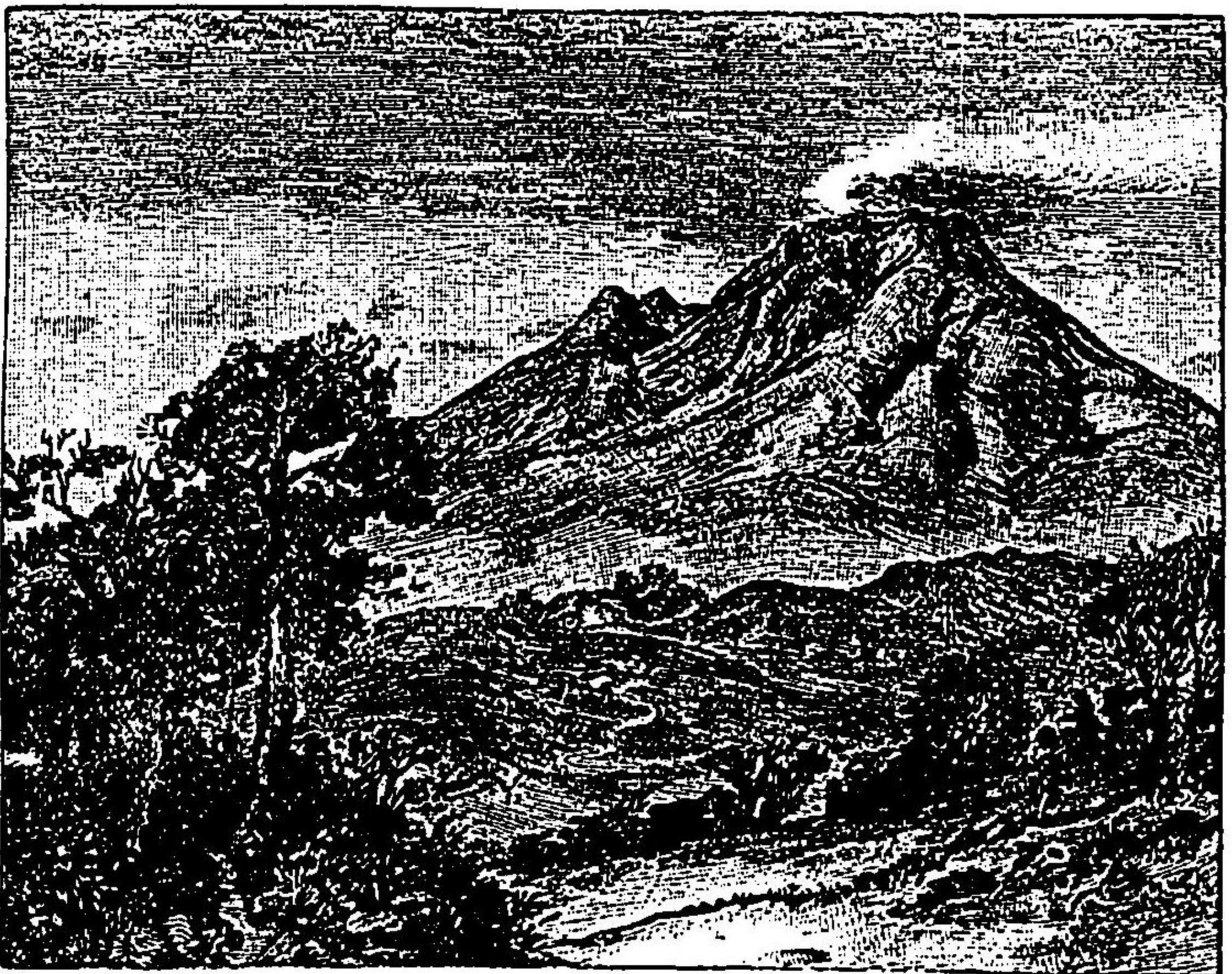
地勢、山岳。

中山道ハ、全國第一ノ山地ニシテ、土地一體ニ高ク、四方山脈ヲ以テ圍マレ、全ク海ニ臨マズ、殊ニ其ノ中央部ハ、東北山系及ビ西南山系ノ相接合スル所ナルヲ以テ、高巒峻峯重疊累積ス、而シテ上野、下野ノ南部ハ、關東平野ニ連ルヲ以テ土地平坦ナリ。又美濃ノ南部ハ木曾川ノ下流、濃尾平野ノ一部ヲナシ、信濃ノ中部千曲川、犀川ノ沿岸ハ、土地高ケレドモ、地勢稍平坦ニシテ、一ノ高原ヲナシ、地味耕作ニ適ス。其ノ他近江ニハ、湖水ノ東南岸ニ沿ヒテ稍平地アリ、下野ノ東北ニ那須野原アリ、然レドモ此ノ平原ハ多ク不毛ノ地タリ。

高山ノ重ナルモノヲ枚擧スレバ、近江ハ東南ノ一隅ヲ除キ、山岳國境ニ連リ、西部ニ比叡山、比良山(四千五百五十五尺)東北ニ伊吹山(四千四百九十七尺)南隅ニ甲賀山(四千九

百六十五尺)アリ。其ノ餘ハ皆高カラズ。美濃モ南ノ一方ヲ除ケバ、國境皆山ニシテ、東ノ方信濃ノ境ノ惠那山(七千三百九十三尺)最高シ、飛驒ハ高山峻嶺各方ニ屹立ス、東方ノ乗鞍ヶ岳(一萬四百五十尺)最秀デ、其ノ北ニ鎗岳アリ、位山ハ國ノ中央ニ峙チ、甚高カラズト雖、其ノ名著レタリ。

信濃ハ、本邦第一ノ山國タリ、西境ノ御嶽最卓出シ、高サ一萬七百尺、其ノ東ニ駒嶽(七千八百八尺)アリ、二山ノ間ハ即木曾山中ノ谿間ニシテ、群峯重疊、凡二十里ニ達ス、有名ナル木曾山道ノ遺跡アリ。駿河ノ國境ニ接シテ赤石山アリ、



山 間 淺

高サ一萬二百二十四尺、御嶽ニ次グ高峯ナリ、東部ニ立科山(八千五百五十二尺)アリ、北境ニ高妻(八千三百二十尺)、乙妻(五千七十七尺)、黒姫(六千九百十三尺)ノ諸山アリ。上野ノ國境ニ淺間山アリ、高サ八千二百三十尺、本邦第一ノ活火山ニシテ、常ニ烟リテ噴キ、時時爆裂ス、山麓數里ノ地ハ、燒石ヲ以テ覆ヒ、草木生ゼズ、因リテ淺間燒野ノ名アリ。國ノ中央ヨリ北ニ偏セル姨捨山ハ、月ノ勝景ヲ以テ稱セラル。是ヨリ南ニ連リ更ニ東南ニ曲リテ、甲斐國境ノ八岳ニ連ル山脈ハ、自一大分水界ヲナシ、東西ニ千曲川、犀川ノ溪谷ヲ分ツ、駒岳ヨリ南ニ下リテ美濃ニ及ブ山脈モ、亦天龍、木曾ノ兩谿ヲ分界ス。戸隠山ハ、犀川ヲ隔テテ姨捨山ト相對ス。此ノ外武藏ノ境ニ國師嶽(八千五百五十三尺)アリ。

上野下野二國ノ地ハ、火山ノ群集スル所ニシテ、國中ニ高峯少カラズ、上野ノ國中ニハ、赤城(六千三百二十五尺)、榛名(二千八百尺)ノ二山、利根川ヲ隔テテ相對シ、榛名山ノ南、信濃ノ界ニ近ヅキテ妙義山アリ、是ヨリ信濃ノ境ニ接シテ、有名ナル碓氷峠アリ、高サ二千三百尺、信濃街道中ノ險路タリシガ、今ハ山中ニ汽車ヲ通ゼリ、然レドモ既成鐵道中、勾配最多シ。又其ノ北ニ白根山(七千六十九尺)アリ、下野ニハ、西ニ庚申山ア

リ、其ノ麓ニ足尾銅山アリ、是ヨリ北ニ日光ノ諸山累累重疊シ、男體山(八千九百九十六尺)殊ニ秀デタリ。北境ノ山脈ハ、奥羽山脈ノ連續ニシテ、岩代、磐城ト三國ノ境ニ跨ルモノヲ那須嶽(六千三百十尺)トナス、其ノ南麓ニ那須野アリ、野ノ北ニ倚リテ鹽原山アリ、東北ニ倚リテ八溝山アリ。

水理。 河水ハ、山澗溪谷ノ水ヲ以テ養ヒ、其ノ通路ハ、山脈ノ狀態ニ由リテ定レルコト勿論ナリ。抑中山道ハ、山脈交錯ノ地ナルヲ以テ、水理種種ニ變ジ、且本州大河ノ源ハ、多ク此ノ地方ヨリ發ス。今大勢上ヨリ察スルニ水ノ南流スルモノト北流スルモノトアリ。美濃ト飛驒、信濃ノ南部及ビ上野、下野ノ諸水ハ、南海ニ落チ、飛驒、信濃ニ國北部ノ諸川ハ、北流シテ日本海ニ入ル。

琵琶湖ノ水ハ、近江ノ西南ヨリ迫リテ勢多川トナル、即宇治川ノ上流ナリ、近江ハ、此ノ一方ヲ除クノ外ハ、山脈ヲ以テ圍燒スルガ故ニ、河皆國境ノ山地ニ發シテ湖水ニ入ル、其ノ中湖南ノ横田川稍長ク、水路十五里アリ。

美濃諸山ノ溪水ハ、皆南流シテ木曾川ニ入ル、揖斐川(三十里)長良川(三十一里)及ビ飛驒川(三十里)稍大イナリ。此ノ國水利ニ富ミ、灌漑自由ナリ、美濃米ノ良質ハ、一二河水

ノ養フ所ニ係レリ。サレドモ河水汎濫ノ害ヲ蒙ルコトモ亦繁シトス。木曾川ハ源ヲ木曾山中ノ谿間ニ發シ、美濃ノ諸水ヲ併セ、尾濃ノ境ヲ經テ伊勢内海ニ注グ、水程六十里、舟筏ヲ通ズルコト五十里ニ超ユ、其ノ下流ニ沖積質ノ沃土ヲ形成ス、尾濃平原是ナリ。

飛驒ニテハ、北半ノ水ハ北流シ、南半ノ水ハ南流ス。益田川ハ、乗鞍嶽ヨリ發シテ南流シ、美濃ニ入りテ飛驒川トナル、其ノ北部ヨリ發スルモノニアリ、共ニ越中ニ入りテ海ニ注グ、一ハ宮川ニシテ、神通川ノ上流ヲナシ、他ノ一ハ白河ニシテ、下流射水川トナル。

信濃ニモ亦南北ノ二水路アリ、南流スルモノニハ、木曾、天龍ノ二川アリ、北流スルモノニハ、千曲川ト犀川(三十里)トアリ。千曲川ハ、東境ヨリ發シ、北流シテ犀川ヲ受ケ、越後ニ入りテ信濃川トナル、二川共ニ舟ヲ浮ブレドモ、越後トハ通ジ難シ。

上野ノ諸水ハ、皆利根川ノ支流タリ、利根川ハ、北境山中ヨリ發シ、片口田(三十里)、吾妻ノ二水ヲ合ハセ、南流シテ武藏ノ國境ニ至リ、西ニ鳥神流ノ二川ヲ受ケ、東流シテ下野ノ國境ニ至リ、渡良瀬川(三十里)ヲ併セ、勢漸大イニナリテ、東南ニ下ル。下野ニハ、那

珂川ノ上流アリ、其ノ他ノ諸水ハ皆利根ニ入ル、其ノ中鬼怒川最大イナリ。

湖沼。

近江ノ琵琶湖ハ、本邦第一ノ大湖ニシテ、東西五里、南北十五里、周圍七十三里餘、之ニ注入スル大小ノ河水八百餘アリ、其ノ水、湖ノ南端細狹ナル所ヨリ落チテ勢多川トナリ、下リテ宇治川トナル、此ノ邊風景絶勝、有名ナル近江八景ハ、皆湖ノ南方ニ散在ス。湖中ニ竹生、多景、沖ノ諸島アリ、湖上ニハ大津、彦根、長濱ノ間、常ニ汽船帆船ノ通航アリ、魚ニハ、鮒、鮓等多シ。湖中ノ水ハ、灌田ノ利ヲ與フルコト少カラズ。湖北ニ一小灣入アリ、余吾湖ト云フ。

信濃ノ諏訪湖ハ、殆國ノ中央部ニ位ス、方一里、周圍五里ニシテ、天龍川ノ水源ヲナス、本邦名湖ノ一ナリ、其ノ水灌漑ヲ助ク、近傍ハ地勢平坦、一小原野ヲナス、其ノ他ニ木崎湖、野尻沼等アリ。飛驒ニハ、乗鞍嶽ノ山麓ニ益田湖アリ、益田川ノ水源ヲナス。

上野ニハ、榛名山及ビ赤城山上ニ小湖アリ、共ニ噴火口ニ水ノ溜溜セシモノナリ、榛名湖又伊香保沼ハ、冬季清潔ナル氷リヲ産ス、又平野ニ板倉沼アリ、灌漑ヲ助ク。

下野日光山中ノ中禪寺湖ハ、東西三里、南北一里、周圍凡八里、火山湖ニシテ、本邦名湖ノ一タリ、其ノ水落チテ鬼怒川ノ上流タル大谷川ヲ養フ、尙山中ニ數箇ノ小湖アリ、

湯湖最著ル。

都市。 大津ハ琵琶湖ノ南岸ニ臨ミ、人口凡三萬二千、滋賀縣廳ノ所在地ニシテ、京都ヲ離ルルコト僅ニ三里、其ノ間ニ逢坂山、長良山アリ。長良山ニ鐵道及ビ山水道ノ二墜道アリ。彦根ハ湖ノ東岸ニ在リ、人口凡ソ二萬、東海道鐵道之ヲ過グ。其ノ他都會ニ膳所、八幡、長濱等アリ。東海道鐵道ノ分岐ハ、米原ニ起リ、長濱ヲ過ギテ越前ノ敦賀ニ達ス、長濱ハ繁華ノ都會ニシテ、縮緬ヲ出ス、濱縮緬是ナリ。又參宮鐵道ハ、大津ノ東、草津ヨリ分岐シテ伊勢ニ入ル。

岐阜市ハ、美濃第一ノ都會ニシテ、北ノ方ハ長良川ニ臨ム、人口凡三萬一千、岐阜縣廳ノ所在地ナリ、市街ハ長良、加納ノ二邑ニ連リ、東海道鐵道南ノ方名古屋ヨリ來リテ、西ノ方大垣、彦根ヲ經テ京都ニ達ス。市東ニ稻葉山アリ、齋藤氏ノ舊城墟タリシガ、後織田信長之ニ移リテ、岐阜城ノ名ヲ命ジタリ。大垣ハ、岐阜ニ次グ都會ニシテ、其ノ西南ニ在リ、人口凡二萬許、商賈繁昌ノ地ナリ。其ノ他關、有知、高須ノ諸邑アリ。飛驒ハ、山岳重疊セル國ニシテ、都會少ク、中央ノ高山ヲ最大トス。人口ハ凡一萬六千、其ノ他ハ皆山邑ニ過ギズ、國中道路險シキ處多ク、昔時ハ藤蓐ヲ張り、籠ヲ吊リテ溪

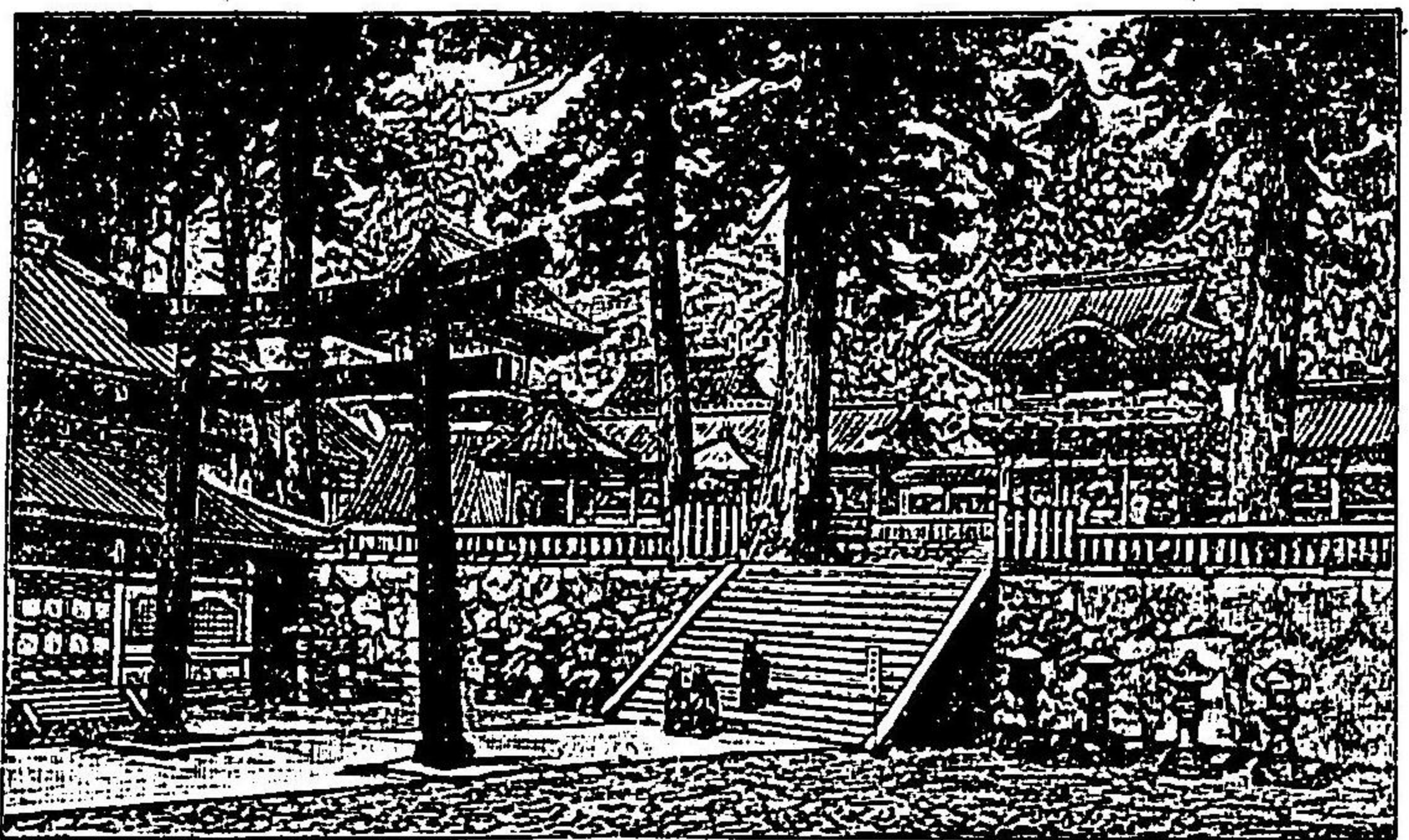
谷ヲ渡過セシ程ナリキ。

信濃ハ、國廣クシテ繁華ノ土地少カラズ、而シテ都會ハ多ク、北部高原ニ在リ。長野、松本、上田、松代ノ如キ是ナリ。長野ハ、長野縣廳ノ所在地ニシテ、人口凡二萬七千、善光寺ノ古刹アリ。直江津鐵道、上田ヨリ來リ是ヲ過ギテ越後ニ入リ、直江津ニ終ル。松代、上田(人口一萬九千餘)ハ、千曲川ニ臨ミ、松本(人口二萬六千餘)ハ、犀川ノ上流ニ位ス。二川共ニ操舟ノ利アレドモ、北境飯山以北ハ、土地俄ニ低下スルヲ以テ、水流甚急、越後ニ通ズルコト能ハズ。飯田ハ國ノ南方ニ在リ、人口凡一萬三千、三河遠江ニ通ズルノ要地タリ。信濃ハ到ル所、養蠶ノ業盛ンナリ。

上野、下野ノ平野ニハ大邑多シ。上野ノ富殿ナル都會ハ、前橋、高崎ニシテ、共ニ南部平原ニ在リ。前橋ハ、群馬縣廳ノ所在地ニシテ、人口凡三萬三千、生絲市場トシテ全國ニ名高ク、高崎ハ、前橋ノ西三里ノ地ニ在リ、人口凡二萬七千、製絲業極メテ盛ンナリ。上毛鐵道ハ、東京ヨリ高崎ヲ過ギ、遂ニ碓氷峠ヲ超エ、信濃ニ入リテ直江津鐵道ヲ岐シ、而シテ本線ハ高崎ヨリ直進シテ前橋ニ終ル。前橋ヨリハ、更ニ兩毛線ヲ發シ、下野ニ入リテ、東北線及ビ水戸線ニ連續ス、其ノ他ノ都會ニハ、館林、桐生、伊勢崎、富岡等アリ、

桐生、伊勢崎ハ絹絲織リ物ノ名高ク、富岡ニハ一大製絲場アリ。
 下野第一ノ都會ヲ宇都宮トス、栃木縣廳ノ所在地ニシテ、人口三萬一千餘、商業殷盛
 ノ地ナリ。東北鐵道市東ヲ過ギ、此ヨリ更ニ日光線ヲ分岐ス。其ノ他名邑ニハ栃木(人
 口凡一萬八千)足尾(人口凡一萬二千)足利(人口一萬五千餘)田沼(人口一萬餘)佐野、日光
 等アリ。足利ハ織リ物ヲ以テ其ノ名高シ。

勝區舊跡。 本部ニハ名所舊跡極テ多シ、大津ノ近傍琵琶湖邊ハ、風光絶佳ニシ
 テ、三井寺、石山寺、勢多、唐崎、堅田等、近江八景ノ重ナルモノナリ。勢多ノ長橋ハ、湖水ノ
 出口勢多川ニ架ケタリ。大津ハ天智天皇ノ宮跡ノ地ナリ、美濃ニハ、大垣ノ西南養老
 山麓ニ、有名ナル養老ノ瀧アリテ、山峽幽清ナリ。大垣ノ西ナル關原ハ、徳川家康東軍
 ナ率ヒテ、石田三成等ノ大軍ヲ破リシ古戰場ナリ。此ノ邊ニ又不破ノ關ノ趾アリ。長
 良川ノ鴨飼ヒハ、夏ノ夜ノ一大奇觀ナリ。信濃ノ名勝ニハ、田毎ノ月アリ、遊人ハ嬾捨
 山ニ登リ、千曲川ヲ隔テテ、東ノ方鏡臺山ニ月ノ出ツルヲ賞ス。千曲川ト犀川ト會同
 スル所ノ川中島ハ、武田、上杉ノ有名ナル古戰場、木曾ノ峽間ハ、源義仲始メテ兵ヲ起
 セシ地ナリ。



日光

下野ノ日光ハ、實ニ本邦第一ノ勝區タリ、徳川家
 康ノ廟ハ、裝飾彫刻、華麗ヲ極メ、金碧丹青ノ美、人
 目ヲ眩セシメム。山中ニ、華嚴、裏見以下數十ノ瀑
 布アリ、華嚴ハ、中禪寺湖ノ落チ口ニシテ、高サ四
 十丈、幅十五間、幽邃ナル溪谷ニ下ル、其ノ狀實ニ
 壯快ナリ。山中風冷シク、水清ク避暑ニ適シ、秋天
 ニハ紅葉ノ賞アリ。
 信濃、上野、下野ノ三國ハ、本邦著明ノ火山地方ナ
 ルヲ以テ、温泉ノ湧出至リテ多ク、信濃ニハ、湯場
 二十餘アリテ、皆治効ヲ奏シ、浴客日ニ群集ス。上
 野ニモ亦温泉多ク、其ノ數信濃ニ下ラズ、而シテ
 最著明ナルモノヲ草津、伊香保ノ二トス。草津湯
 ハ、白根山麓、伊香保ハ、榛名山腹ニ在リ、兩所共ニ
 治効顯著、浴客毎歲數萬ニ下ラズ。下野ニモ亦十

餘所アリ、鹽原及日光山中ノ湯元最著ル。鹽原湯ハ、鹽原山ノ東麓ニ在リ、東北鐵道ノ架設アリテヨリ、通行ノ便開ケ、浴客年年増シテ、其ノ名伊香保、草津ト相伍スルニ至レリ。飛驒ニモ亦溫泉數所アリ、阿房山麓ノ平湯尤著ル、傍ニ阿房瀧アリテ、風光明媚避暑地トシテ稱セラル。

氣候。 本部ノ氣候ヲ概説スルニ、近江美濃及上野、下野ノ平地ハ、温和ナレドモ、其ノ山地及ビ飛驒、信濃ハ、寒氣強シ、岐阜、長野、宇都宮ニ於ケル氣象觀測ノ表ヲ示シテ、全般ヲ推測スルノ要リトス。

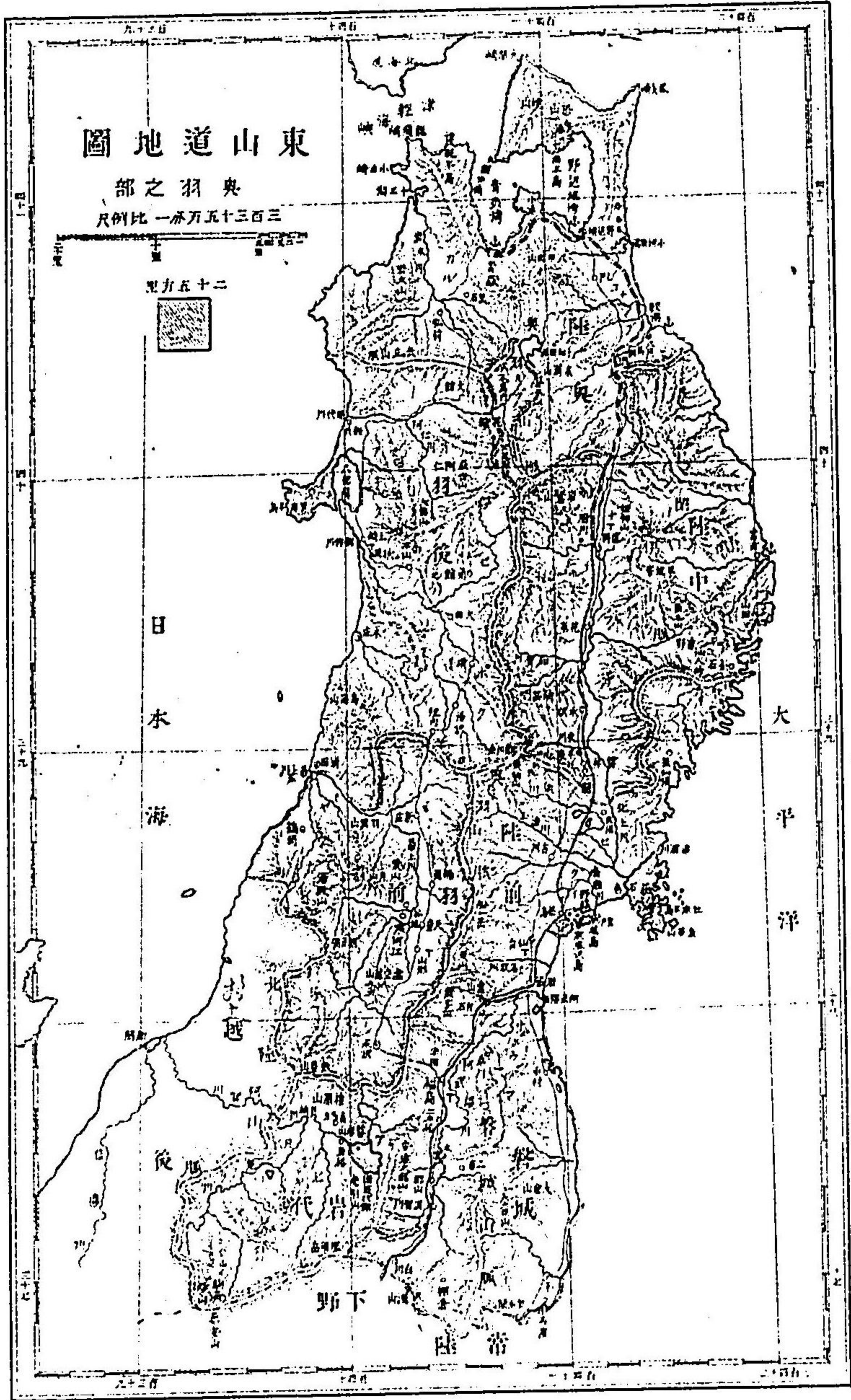
地名	温度			平均	湿度	平均	雨量	總量	雪
	最高	最低	平均						
岐阜	三六〇	零下	七・三	一四・二	七六	一・九三六六			
長野	三三・八	全	一五・二	一〇・七	七八	一・一〇五五			
宇都宮	三三・九	全	一一・二	一二・一	七六	一・七九六六			

信濃木曾ノ山地ニテハ、初夏ニ櫻花ヲ開ク、諏訪湖ハ、冬時氷結シ、人馬其ノ上ヲ通行ス。

物産。

近江、美濃、信濃、下野ノ平地、灌漑ニ利アル所ハ、多ク米ヲ産ス。麻ハ各國産セザルナシト雖、下野ハ、全國ニ冠タリ。烟草ハ、信濃、下野ニ多ク、茶ハ、近江、美濃ニ多シ。蠶絲ノ業ハ、各國盛ンナレドモ、繭ト蠶卵紙トハ、信濃ヲ以テ全國第一トシ、生絲ハ、上野ヲ第一トス。木材ハ、美濃、飛驒、信濃、上野、下野ノ諸國多ク之ヲ出ス、就中木曾ノ山林ハ、檜ノ良材ヲ出ステ以テ最名ヲ得、下野ハ多ク薪炭ヲ出ス。

工藝ノ特有産ヲ舉グレバ、上野、下野ハ、絹糸織リ物盛大ニ、桐生、足利最著レ、綸子緞子、琥珀織リ、縮緬等、其ノ種類極メテ多シ。唯是ノミナラス、木綿ノ機業モ亦盛ンナリ。近江ノ長濱縮緬、絹縮ミ、蚊屋、麻布、美濃ノ縮緬、羽二重、信濃ノ上田紬、下野ノ真岡木綿モ亦織リ物ノ著明ナルモノナリ。陶器ハ、美濃ノ多治見名高ク、近江ノ信樂燒キ、飛驒ノ漆器、日光ノ漆器亦名アリ。紙モ亦諸國ニ産スレドモ、美濃紙ノ名全國ニ噴噴タリ。鑛産ニハ、飛驒ニ金、銀、銅、鉛、石材アリ、美濃ニ銀、銅、錫、蠟石アリ、信濃ニ銅、石油、硫黃アリ、下野ノ足尾ノ銅山ハ、其ノ産額全國第一ナリ。中山道ハ、全ク海ニ臨マザルヲ以テ、水産上要用ナルモノナシト雖、琵琶湖ノ鮒、美濃ノ鮎ハ、頗著名ナルモノトス。



第五章。東山道—奥羽部。

海岸、港湾。 奥羽ノ地タル、東北西ノ三方ハ海ニ面シ、東西海岸線ハ屈曲多カラズ、海岸線ノ長サニ比例シテハ、半島港泊共ニ少シ。東部ニハ牡鹿、西部ニハ男鹿ノ小半島アリ、牡鹿半島ノ尖端ヲ黒岬ト云フ、側ニ金華山ノ小島アリ、半島ノ西ハ即松島灣ニシテ、島嶼數百、其ノ上ニ松樹繁茂シ、風景絶佳ニシテ、本邦三景ノ一タリ。西海岸ノ男鹿半島ハ、中ニ八郎潟ヲ抱ク。又奥羽ノ北端ニ二大半島アリ、東ヲ斗南半島ト云ヒ、西ヲ津輕半島ト云フ、相共ニ陸奥内海ヲ抱ク、此ノ二半島ハ津輕海峡ヲ隔テテ、北海道ノ渡島ト相對ス。

陸奥内海ハ、東西十五里、沿岸凡五十里、夏泊崎中央ニ突出シテ自ニ灣ヲ形成ス、即西ハ青森灣ニシテ、東ハ野邊地灣ナリ。斗南半島ノ西南端ヲ九艘泊崎ト云フ、東北端ノ遠ク外洋ニ突出スルヲ尻矢崎ト云フ、此ノ邊暗礁アルガ上ニ、常ニ霧深クシテ舟行危険ナルヲ以テ、岬頭ニ燈臺ヲ設ケタリ。津輕半島ニハ、西北ニ龍飛崎アリ、西ニ小泊崎アリ、津輕海峡ハ、水流急ニシテ航行易カラズ。

港津ノ重ナルモノヲ舉ゲンニ、東岸ニハ磐城ニ小名濱港アリ、陸前ニ野蒜、石卷、萩濱ノ三港アリ、陸中ニ釜石、山田、宮古ノ三港アリ、陸奥ニ八戸港アリ、陸奥内海ニ青森、小港、野邊地、大港ノ四港アリ、西岸ニハ、港泊少ク、僅ニ能代、酒田ノ二港アルノミ。以上ノ諸港中、安全ニ大船巨船ヲ碇繋セシムルニ足ルモノハ、萩濱、釜石、山田、宮古等三四ノミ。横濱ヨリ北海道ニ至ル船舶ハ、萩濱ニ寄港スルヲ通例トシ、八戸ニ至ルモノハ、宮古、釜石、萩濱等ニ寄港ス。青森ト函館トノ間ニハ、常ニ小蒸氣船ノ定期航海アリ、酒田、能代ヘハ、函館ヨリ航行スルヲ例トス。

地勢、山岳。

本部ノ地タル、奥羽山脈中央ノ脊梁ヲナシ、山勢峻險ニシテ、其ノ餘派各國ニ及ブ。陸中ノ東岸別ニ、閉伊山脈一名北上山脈アリ、延キテ陸前ニ及ブ、越後ノ境ニ北陸山脈アリ、磐城ニ磐城山脈アリ、故ニ其ノ間平地少ケレドモ、大河ノ下流ノ地ハ稍平坦ナリ。

平地ノ重ナルモノヲ舉グレバ、阿武隈上流ノ白河地方、其ノ下流ノ白石地方、北上川沿岸ノ地、及ビ其ノ下流ヨリ陸前ノ南境ニ至ル地方、陸奥ノ八戸ヨリ野邊地ニ至ル三本木ノ邊、弘前近傍ヨリ岩城川ニ沿ヒテ十三瀉ニ及ブ地方、能代川沿岸及ビ下流

ノ地最上川沿岸及ビ下流ノ地等ナリ。

山岳ノ重ナルモノヲ舉グレバ、磐城、下野、常陸ノ國境ニハ溝山アリ、磐城ノ北境ニ靈山アリ、國中ニ矢大臣山、大倉山等アリ。岩代ニハ、高峯甚多シ、上野、越後ノ境ニ接シテ駒岳七千三百三十尺、燧山六千五百三十四尺、赤安山六千四百二十尺ノ諸山アリ、北境ニ吾妻山六千六十尺アリ、其南ニ磐梯山五千六百五尺アリ、二山共ニ休火山ナリシガ、磐梯山ハ、明治二十一年七月、爆發シテ人皆ヲ害シ、近傍ノ地ヲ燒土トセリ。吾妻山ハ、明治二十六年六月、爆裂シテ同シク燒石ヲ雨ラセタリ。尙中央火山脈ニ、安達太郎、布引ノ諸峯相駢ビテ、下野ノ那須岳ニ連ル又福島ノ北ニ半田ノ銀山アリ。

陸前ニハ、磐城、羽前ノ境ニ藏王山四千六百二十三尺アリ、羽後ノ境ニ栗駒山五千七百七十四尺アリ、羽前ノ境ニ船岳、大東山等アリテ、南ノ方藏王山ニ連ル。陸前ニハ、西南羽後ノ境ニ駒岳五千四百三尺アリ、西北ニ岩鷲山六千七百九十七尺アリ、二山ノ間、羽後ノ境ニ沿ヒテ高峯連亘ス。閉伊山脈ニ在リテハ、早池峯六千二百七十尺、最高ク、北ニ姫神山三千五百八十五尺アリ、南ニ六角牛山、仙人峠二千九百三十三尺、五葉山等アリ。陸中ノ西北隅鹿角郷ニ、尾去澤ノ銅山及ビ小坂ノ銀山アリ。陸奥ニハ、中央部

ニ八甲田山六千五百五十三尺、高ク聳エ、西部ニ岩木山五千二百五十一尺、抽デテ、津輕富士ト呼バル、羽後ノ境上ニハ、矢立山脈アリ、斗南半島ニハ、燒山、恐山ノ二火山アリ。

羽前ニハ、羽黒三千八十五尺、月山六千七百八十尺、湯殿ノ三山、國中ニ相集リ、越後、岩代ノ境上ニハ、飯豐山六千六百六十七尺アリ。湯殿山ノ南越後ノ境ニハ、朝日岳六千六百尺アリ。其ノ東南ニ虚空藏山アリ、月山ノ東ニ葉山四千九百七十六尺アリ、羽後ニテハ、南方海岸ニ近キ火山脈中ニ、鳥海山七千二百二十八尺、高ク秀デ、國ノ中部ニ森吉(五千三百尺)、大佛、大平(六千八百九十七尺)ノ諸山峙チ、南境ニ院内ノ銅山アリ、北方ニ阿仁ノ銅山アリ。

水理。

本部ハ、山脈ノ方向種種錯雜スルヲ以テ、河流ノ方向モ互ニ同ジカラス、然レドモ溪谷ノ長キモノ少カラザルヲ以テ、長流亦多シ。

阿武隈川ハ、南部ノ長流ナリ、磐城ノ南境ニ發シ、磐城山脈西側ノ水ヲ併セ、岩代ニ入リ、再磐城ニ出デ、陸前ノ境ニ至リテ海ニ注グ、水程五十餘里、舟三十餘里ニ達ス、岩代西部ノ諸水ハ、合シテ越後ニ入り、阿賀川トナル、此ノ川灌漑舟楫ノ利アリ、阿賀川ノ

上流ヲ日橋川ト云ヒテ、猪苗代湖ニ發ス、其ノ支流ノ重ナルモノチ只見川(三十六里)鶴沼川(三十一里)ノ二トス。二川共ニ岩代西南部ノ排水ヲ主レリ。北上川ハ、本部第一ノ大河タリ、陸中ノ北境ニ發シ、陸奥、閉伊兩山脈ノ諸水ヲ併セ、南流シテ陸前ニ入り、松島灣ニ注グ、水程七十九里、舟七十里ヲ來往シ、下流ニ至リテニツニ分ル、分流ヲ追波河ト云フ、石巻ノ北ヨリ北東ニ流レテ外洋ニ入ル。沿岸ノ地ハ到ル處肥沃ニシテ、人口稠密ナリ、其ノ支流ノ重ナルモノハ、陸前ニ玉造川(二十五里)迫川(十七里餘)アリ、陸中ニ衣(十里餘)、磐井(十三里餘)、和賀(十五里餘)、柳貫ノ諸川アリ、皆灌田ノ利アリ。陸前ノ鳴瀬川(二十五里)及ビ名取川ハ、舟楫ノ便ナキモ亦灌漑ノ利アリ。陸奥ニハ、東南ニ馬淵川(二十五里)アリ。舟十里餘ニ泝ル、岩木川(二十三里)モ亦大抵相似タリ、而シテ其ノ沿岸ノ地上ハ、地味膏腴ナリ。羽前ノ最上川モ、亦屈指ノ大川ニシテ、本邦三急流ノ一ニ居リ、水路六十餘里、支流多ク、極メテ灌漑ノ利ヲ與フ。羽後ニハ、北ニ能代川(三十里)、南ニ御物川(三十四里)アリ、御物川ハ國中ノ大河ニシテ、舟三十餘里ヲ上下ス。能代川ハ、陸中ノ鹿角郡ヨリ發シ、其ノ支流ニ阿仁川(三十里)アリ。

湖沼。

岩代ノ猪苗代湖ハ、本邦名湖ノ一ニシテ、東西四里半、南北三里半、周圍十六里餘アリ、大同元年即紀元一千四百六十四年、磐梯山破裂ノ際、陷落シテ生ゼシモノナリ。其ノ水西ニ迫リテ日橋川トナル、近年湖水ヲ引キテ、湖邊ニ水田ヲ設ケタリ。陸奥ニハ、海岸低窪ノ地ニ、潮水ノ滲溜シテ生ゼル湖沼頗多シ、其ノ重ナルモノハ、東ニ小河原沼アリ、西北ニ十三瀉アリ、二者共ニ海ニ通ズ。南境陸中ニ接シテ十和田湖アリ、東西三里半、南北二里半、周圍凡十里、火山湖ノ著名ナルモノナリ。羽後ノ八郎瀨ハ、東西三里、南北七里、周圍凡十五里ニシテ、其ノ水海ニ通ズル所ハ鹹ク、漁魚舟運ノ便アリ。

都市。

白河ハ、磐城第一ノ都會ニシテ、國ノ西南隅ニ在リ、奥州街道ノ一要衝ヲナシ、昔時此ノ近傍ニ白河關ヲ置ケリ、人口一萬一千餘、鐵道南北ニ通ズ。其ノ他本國ノ都會ニ、棚倉、三春、白石等アリ、海邊ニ平、中村ノ二邑アリ。平ハ一ニ磐城平ト云フ。岩代ニハ、國ノ中央ニ若松アリ、人口二萬四千餘、漆器ヲ以テ名アリ。北ニ福島アリ。福島縣廳ノ所在地ニシテ、人口一萬八千餘、奥州街道ノ一要區ニシテ、鐵道ノ便アリ、其ノ他ノ都會ヲ二本松、郡山トス。凡ベテ磐城岩代ノ諸都會ニハ、養蠶業盛ンナリ。

仙臺市ハ、本部第一ノ大都會ニシテ、人口六萬四千餘、宮城縣廳ノ所在地タリ、陸羽街道ノ要扼ヲナシ、鐵道市内ヲ過ギ、行旅絡繹、通運頻繁、商工殷盛ニシテ、殆東京青森間ノ中央部ニ位ス。市西ニ伊達氏ノ城趾アリ、市東ニ櫻岡アリ、櫻花ヲ以テ聞ユ、是ヨリ宮城野ニ連ル。本市ハ、精好織リ、仙臺平、埋レ木細工、漆器等ヲ以テ名アリ。石巻ハ、仙臺ニ次グル都會ニシテ、北上河口ニ在リ、人口一萬七千餘、商業繁盛ノ地ナリ。其ノ他名邑ニ岩沼、古川、鹽釜、湧谷等アリ。

盛岡市ハ、北上川ニ沿ヒ、陸中ノ中央ヨリ少シク北ニ倚リ、岩手縣廳ノ所在地タリ、人口凡三萬一千餘、商賈軒ヲ駢ベ、市況繁盛ナリ。其ノ他北上川ノ沿岸ニ、一關、水澤、花巻ノ諸邑アリ。海岸ニ宮古、釜石等アリ、港内水深クシテ、船舶ノ碇泊ニ宜シ。西北隅ニ鹿角ノ一郷アリ、中ニ毛馬内、花輪ノ二邑アリ。此ノ邊地勢、羽後ニ似テ、銅、銀ノ礦坑ニ富ミ、就中銅ハ有名ナリ。

弘前市ハ、陸奥西部ノ平原ニアリ、人口三萬餘、商賈繁シ。東北ニ青森アリ、青森縣廳ノ所在地ニシテ、人口二萬二千餘、東北鐵道ノ最北端ニシテ、北海道ニ渡ルノ要津タリ。東海岸ニ八戸アリ、鮫港ニ連ル、人口一萬一千餘、其他ニ野邊地、七戸、黒石ノ諸邑アリ。

山形市ハ、羽前中央部ノ平野ニ在リ、人口凡二萬九千、山形縣廳ノ所在地ニシテ、山多ク、交通ノ便ヲ缺クモ、市況ハ盛ンナリ。米澤市ハ、福島ヨリ兩羽ニ通ズル道路ノ要衝ニシテ、人口二萬九千餘、蠶織ノ業盛ンニ、米澤織リ是ヨリ出ツ、其ノ他國中繁華ノ地ハ、西北ノ鶴岡(人口凡二萬)及ビ東北ノ新莊(人口一萬一千餘)トナス。

秋田市ハ、羽後ノ西岸ニ位ス、人口凡二萬九千、秋田縣廳ノ所在地ニシテ、商況繁盛ナリ。酒田ハ、最上川ノ口ニ臨ミ、人口二萬一千餘、兩羽ノ要港ニシテ、船舶常ニ出入シ、各地ニ定期航海アリ。其ノ他ニ土崎(人口凡一萬二千)、能代(人口一萬一千餘)、横手(人口一萬一千餘)、大館ノ諸邑各所ニ在リ。

勝區、舊跡。 本部ノ名勝ハ、松島ヲ以テ最ト



松島

スベシ、松島灣内ハ、數百ノ島嶼、碁布散列シ、島中青松枝ヲ交ヘ、四時風光損スルコトナシ、島ノ稍大ナルモノヲ宮戸、寒風澤、桂ノ諸島トナス。牡鹿半島ノ東ニ位スル金華山モ、亦巨巖怪石重疊シテ、怪奇賞スベシ。宮城野ハ、往時虫聲、萩花、秋景ヲ以テ賞セラレタレドモ、今ハ田畝ニ變ゼリ。

磐城ニ二大關趾アリ、一ハ白河ノ關趾、一ハ名古屋關趾ナリ。名古屋關ハ磐城、常陸ノ國境ニ接シ、沿岸街道ノ西ニ在リ、二處共ニ往時東國ノ大關門ナリキ。

陸前鹽釜ノ南ニ、多賀城ノ趾アリ、聖武天皇ノ御宇、始メテ築カレタル所ニシテ、東北ノ節度使鎮守府將軍ノ居城タリ、今尙當時ノ碑石アリ、以テ其ノ沿革ヲ知ルベシ。

陸中一關ノ北衣川ニ沿ヒテ平泉ノ館趾アリ、義經、辨慶等ノ戰死セシ舊跡ニシテ、傍ニ有名ナル中尊寺ノ古刹アリ、義經以下ノ紀念物ヲ存ス。此ノ地ニハ、往時衣關アリキ。又盛岡ト對シテ、北上川ノ西岸ニ位スル厨川ハ、安倍貞任戰死ノ地ナリ、厨川柵ト云ヘルハ、即此ノ處ニ在リシナリ。

本部ノ中央ハ、千島火山脈南走ノ軸部ヲナスヲ以テ、温泉ノ湧出スル所少カラズ、岩代ニハ、多キコト三十餘所、陸前ニハ九所、陸中ニハ十五所、陸奥ニハ十七所、羽前ニハ

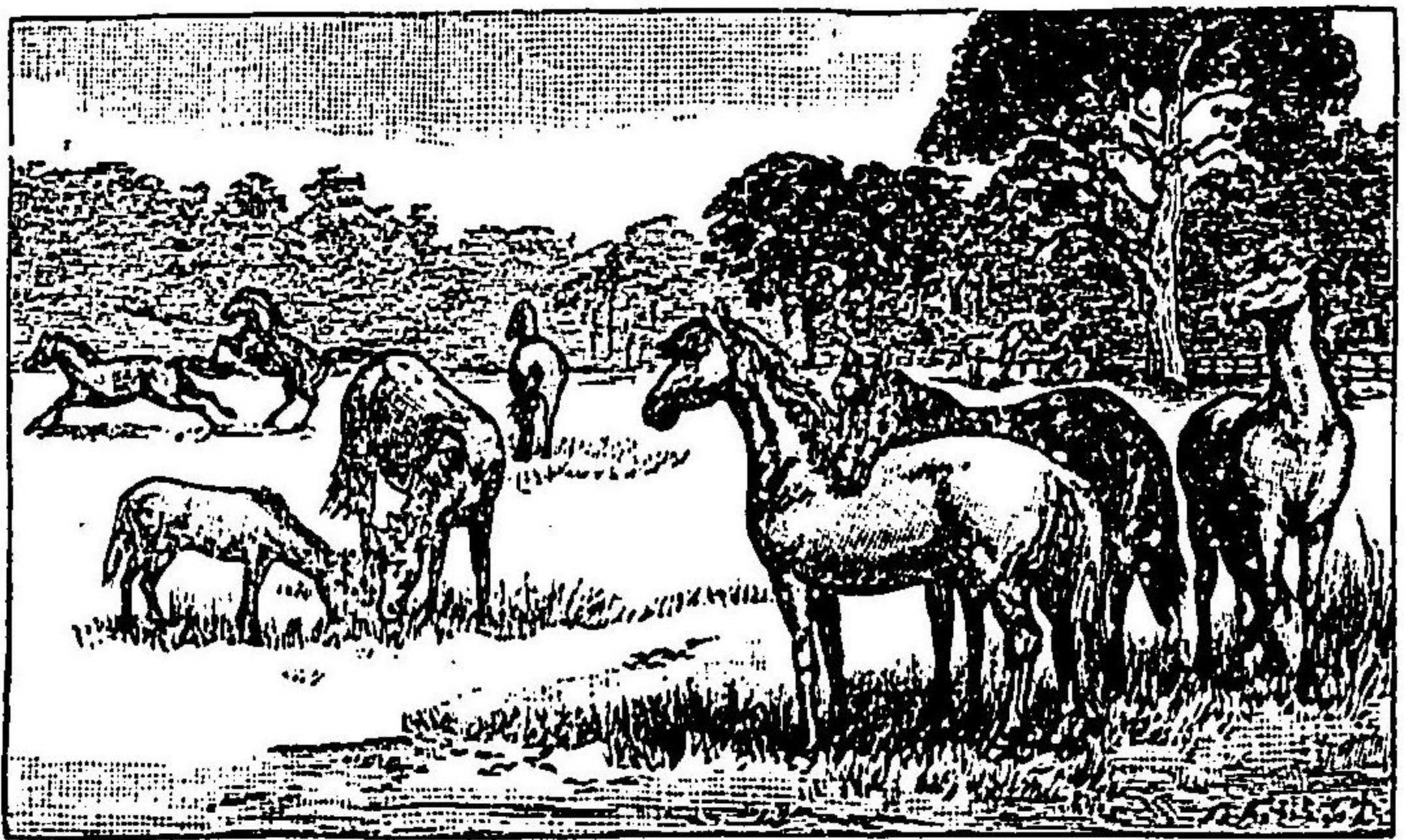
十餘所、羽後ニハ數所、何レモ皆治効アリ。然レドモ地邊陲ニ倚レルヲ以テ、東京近傍ノ諸湯ノ如ク浴客雜沓スルニ至ラズ。

氣候。 本部ハ、本州ノ極北部ヲ占ムルヲ以テ、氣候大率寒シ、但シ太平洋ニ面スル部分ハ、日本海ニ瀕スル地ヨリモ、氣候温和ナリ、而シテ南部ト北部ト、又大差ナキ能ハズ。青森地方ハ、寒氣強ク、中央山間地方モ、海岸低地ニ比スレバ、寒暖相違アリ。左表ニ由リ、全般ヲ推想スベシ。

地名	温		度		濕		雨量 (糎)
	最高	最低	平均	平均	平均		
福島	三四・〇	零下 一一・〇	一一・七	七五	一一・二	五七一	
山形	三五・二	一四・九	一〇・六	八〇	一一・三	三七〇	
石巻	三〇・二	八・七	一一・三	八〇	一一・六	二九	
宮古	三五・六	一二・九	一〇・五	七四	一一・三	三一	
秋田	三二・九	一四・五	一〇・三	七八	一一・六	四一	
青森	三二・七	一五・一	九・一	七七	一一・二	三五〇	

物産。

本部ノ地タル、地味一様ナラズ、瘠土ニシテ開墾ニ適セザル所モアリ、又水



馬 牧

利ニ乏シク、拓殖舉テザル原野モアリ。然レドモ普通農産物ハ、各國共ニ之ヲ出サザルナク、殊ニ米ハ陸前、羽前、羽後ノ産額著シク、北上ノ沿岸ナル南部地方、津輕ノ近傍ニテモ、其ノ産又多シ。稗ノ産額ハ、陸中ヲ第一トシ、大豆ハ各國之ヲ産ス、麻ノ多キ地ハ、岩代、陸前、陸中、羽前、煙草ノ盛ナル地ハ、磐城、岩代、而シテ有名ナル林区ハ、陸中、陸奥、羽後ニ在リ。養蠶織リ物ノ業ハ、各國ニ盛ンナレドモ、岩代、磐城ヲ最トシ、陸前、羽前、羽後之ニ次グ。

北部ノ地ニハ、天然ノ牧場ト視ルベキ原野多ク、牧畜從ヒテ盛ンナリ、陸中ノ北部ヨリ陸奥ニ及ブ地方ノ馬ハ、特ニ本邦ニ名高シ、所謂南部馬是ナリ。此ノ外牛ノ牧場モ亦甚廣シ。磐城モ亦馬ノ産地トシテ著名ナリ、三春馬トハ、此ノ國ノ原野ニ飼養スル

モノニ係ル。

工藝上ノ特産物ヲ枚舉スレバ、仙臺ノ仙臺平、精好、八端、米澤ノ紬、絲織リ、秋田ノ畝織リ等著名ナルモノナリ、陶器ハ、岩代ノ會津燒キ、磐城ノ相馬燒キ、漆器ハ、會津、津輕、能代ニ名アリ、會津蠟燭、仙臺ノ埋レ木細工モ、亦世ニ知ラル。

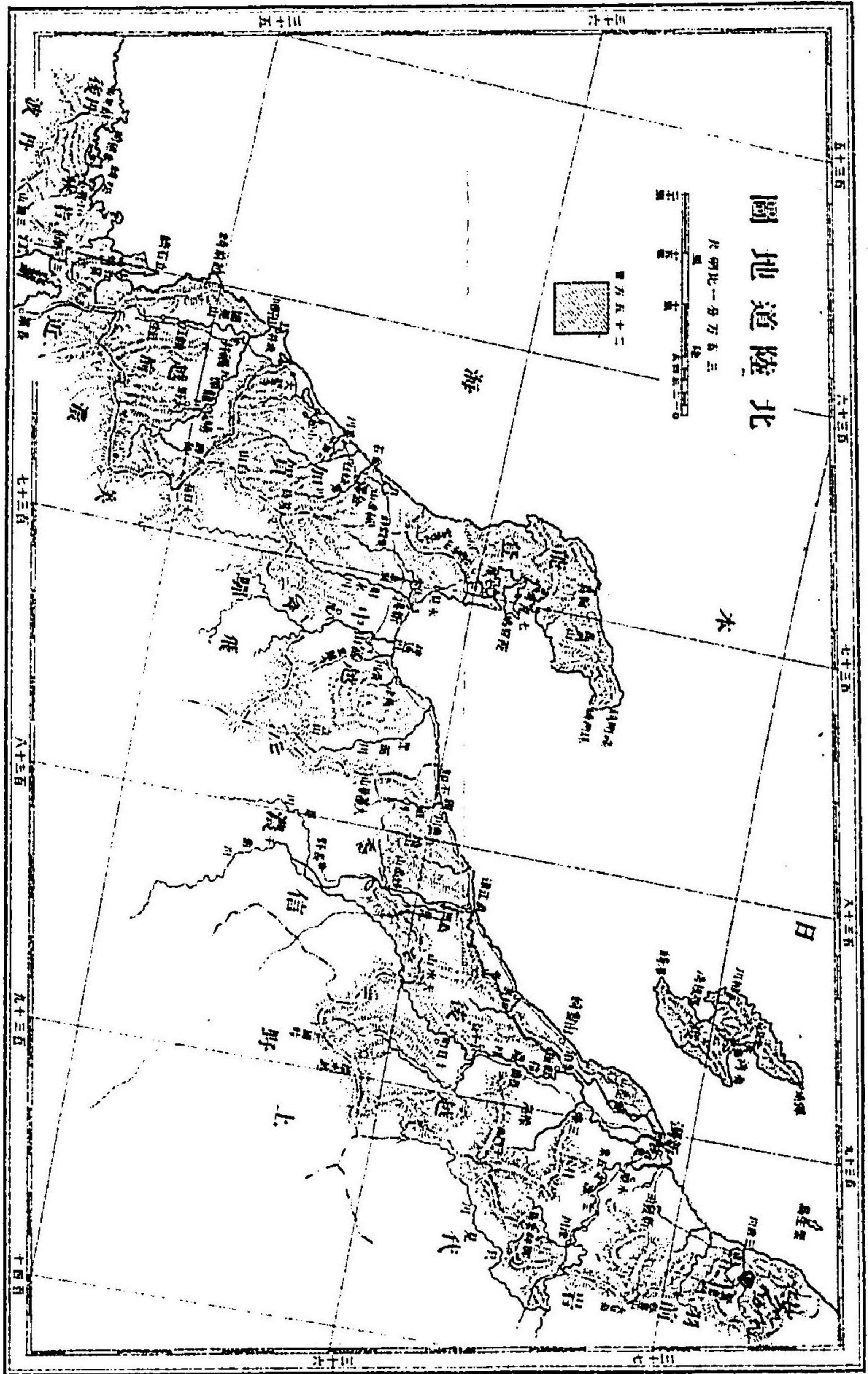
礦産ハ、極メテ多種ナリ、而シテ其ノ著シキモノヲ舉グレバ、石炭ハ磐城ニ多ク、金ハ陸中ニ多ク、岩代、羽後之ニ次グ、銀ハ陸中、羽後ヲ本邦第一ノ産地トシ、岩代之ニ次グ、銅ハ羽後ヲ最トシ、陸中之ニ次グ、石油ハ羽後、鐵ハ陸中、硫黄ハ陸奥、羽後ニ産ス。礦山ノ有名ナルハ、岩代ノ半田銀山、陸中鹿角郷ノ小坂銀銅山、尾去澤ノ銅山、羽後ノ院內及ビ阿仁ノ銅山、陸中、釜石ノ鐵山等ナリ。

水産ハ、沿海ノ地皆出サザルナシト雖、陸前、陸中、陸奥ノ海岸殊ニ盛大ナリ、鮭ハ陸奥ニ、鱈、海鼠ハ陸奥、陸中ニ、鮪、鰹ハ陸前、陸中ニ多シ。其ノ他陸前ノ章魚、陸中ノ烏賊、鮭亦著名ナリ。鮑ハ諸國共ニ之ヲ産シ、干鱈、鹽鱈、鹽鮭、鱈、海參、干シ鮑、鱈、鰯ノ輸出甚盛ンナリ。

第六章。北陸道。

總叙。 北陸道ハ、畿内ノ北頭ニ起リテ、東北ニ延長シ、日本海ニ瀕セル本洲ノ中央海岸地方ニシテ、北陸山脈ヲ以テ東山道ト界シ、長サ凡百十五里、幅十里内外ニ及ビ、面積凡一千五百七十八方里、人口三百八十萬八千九百八人ニシテ、一方里ノ人口二千四百十二人ニ當ル。佐渡ノ一島ヲ併セテ、七國、五市、四十二郡アリ、福井、石川、富山、新潟ノ四縣之ヲ分轄ス。五市ハ福井、金澤、高岡、富山、新潟ナリ。

海岸、港灣。 北陸道一帶ノ海岸ハ、能登ノ一大半島アルノミニテ、海岸線ノ屈折極メテ少ク、加フルニ海岸所所斷崖アリテ、良港ニ乏シ。能登ハ日本海ヲ走ル火山脈ノ佐渡ヨリ來リテ隱岐、壹岐ニ向フモノニ係リ、東西凡十一里、南北凡十八里、地勢峻峭東北ノ極端ヲ珠洲崎ト云ヒ、其ノ北ヲ綠剛崎ト云フ、此ノ邊暗礁多クシテ、舟行頗危険ナリ。是ヨリ東ノ方ニ七尾灣ヲ抱ク、灣中ニ能登島アリ、東西三里、南北一里、周圍十四里ノ島ナリ。若狹ノ海岸ハ、出入多様ニシテ岬角ナラズ、赤礁崎西ヨリ出デ、松崎東ヨリ出デテ、小



濱ノ小灣ヲ擁ス、越前ノ西南ニ敦賀ノ小灣アリ、其ノ西ノ岬ヲ立石崎ト云フ。立石崎ノ正北ニ越前崎アリ、是ヨリ加賀能登ノ西北岸ニ至ル間ト、越中、越後ヲ通ジテ、灣入ノ見ルベキモノアルナシ。越後ノ盡頭ニ一小島アリ、粟生島ト云フ、周回四里ニ過ギズ、之ト對スル海岸ハ、浪荒ク、崖岩多シ。

佐渡ハ、越後新潟ノ海岸ヲ西ニ距ルコト十一里ノ海上ニ在リ、東西凡七里、南北凡十七里、周回五十三里餘アリ。此ノ地ハ火山脈ニ屬シ、南北兩部ニ山岳聳エ、中央部低陷シ、前後ニ二小灣アリ、北灣ヲ夷灣ト云ヒ、南灣ヲ澤根灣又ハ眞野入江ト云フ。極北端ヲ彈崎ト云ヒ、西南端ヲ澤崎ト云ヒ、東ノ方中央部ノ岬ヲ湍木崎ト云フ。海岸凡ベテ暗礁出沒シ、崖岩削立セリ。

港灣ノ重ナルモノヲ舉グレバ、若狹ニ小濱港アリ、越前ノ敦賀港ハ、水深クシテ大船ヲ碇繋スルニ宜シク、北陸道ノ一大要港ナリ。其ノ東北ニ坂井港アリ、能登ノ灣内ニ七尾港アリ、越中射水川ノ口ニ伏木港アリ、越後荒川ノ口ニ直江津アリ、伏木ト直江津ノ間ニハ、定期航行アリ。信濃川ノ口ニ、本邦五港ノ一ナル新潟港アリ、佐渡ニハ夷港ト小木港トアリ。

地勢、山岳。

地勢ハ、全ク東海道ノ正反對ニテ、東南ニ高ク、西北ニ低シ。全道狹長ナル海岸地ニシテ、東山道トノ境ハ、一帯ノ山脈ヲ以テ限ラレ、且内部ニモ、山岳アリテ廣原ナシ、只大河ノ下流ニ在ル海岸地方ハ、平坦ニシテ地味豊カナリ、即越前、加賀ノ海岸及ビ越中射水川下流、越後荒川、信濃川下流ノ地方ハ平野ヲナス。

地勢上ヨリ云ヘバ、若狹ハ、頗丹波、丹後ニ密似スルヲ以テ、寧山陰道ニ屬スルヲ適當トスルモノニ似タリ、其ノ山岳ハ南ノ方丹波、近江ノ境ニ三國峠(三千三百尺)西ノ方丹後ノ境ニ青葉山(二千二百三十二尺)東ノ方越前ノ方ニ蝶螺山(二千二百一十一尺)アリ。

越前ハ南境ニ荒島岳(四千二百尺)繼エ、北東ニ經岳北西ニ國見山、加賀ノ境ニ大日嶽(五千八百尺)アリ。

加賀ノ白山ハ、本道第一ノ名山ニシテ、飛驒ノ境ニ接シ、高サ八千九百四十七尺、山頭ニ御前、大汝、別山ノ三峯ヲ抽ツ、御前最高ク、峯頭巨岩峨峨トシテ、靈山タルヲ失ハズ。白山ノ火山脈ハ、若狹ノ青葉山ニ連リ、延キテ山陰道ニ及ブ、又白山ノ餘脈、一ハ西ニ折レテ越前ノ境ヲ限リ、一ハ北ニ進ミテ、飛驒越中ヲ劃ス、共ニ高峯峻嶺少カラズ、飛

驒越中ノ境ニ笈岳アリ、東北境ニ砥波山、栗敷峠アリ能登、越中ノ境ニ三國岳アリ。能登ニハ、越中ノ境ニ石動寺山アリ、南隅ニ寶達山(二千二百六十四尺)北部ニ寶立、高洲ノ兩山アリ。

越中ノ立山九千三百七十二尺ハ、白山ニ次ギテ北陸ノ名山ナリ、火山質ニシテ、山中所所ニ火口アリ、常ニ烟リヲ噴ク、其ノ脈飛驒信濃ニ延キ、乘鞍岳、燒山、御岳ニ及ブ。此ノ脈中、南境ニ接シテ硫黃岳アリ、越後ノ境ニハ蓮華山(九千六百八十三尺)以下ノ諸山アリ。

越後國境ニハ、高山少カラズ、其ノ最秀出セルモノハ、越中境上ノ大蓮華山(九千八百七十一尺)ナリ、其ノ脈北走シテ、三方岳、袴腰山(三千四百二十五尺)トナリ、以テ海ニ至ル、其ノ岸頭ヲ親不知ノ難所トス。是ヨリ東ニ方リ、燒山、妙高山等ノ活火山アリ、信濃ノ境上信濃川ノ西ニ、高妻山(七千七百八十八尺)アリ、其ノ東南ニ苗場山(七千百十二尺)アリ、北ニ黒姫山(六千九百十四尺)アリ。高妻山ハ、富士火山脈中、北端ノ一峯ニシテ、燒山及ビ妙高山ニ連ル。又上野ノ境ニハ、三國峠(四千二百五十尺)、清水越、岩代ノ境ニハ、瀬尾峠(五千六百九十五尺)、守門岳(六千四百十八尺)、六十里越(四千二百九十四尺)、八

十里越、御神樂、大日ノ諸峯アリ、羽前ノ境ニハ、飯豐山(六千六百六十七尺)、朝日岳(六千三百三十九尺)、鷲巢山アリ。中央ヨリ東北、海ニ近キ所ニ彌彦山アリ。西南ニ米山(三千三百三十一尺)アリ。佐渡ニハ、東嶽(三千百十三尺)、金北(二千八百二十三尺)ノ二山最高シ。

水理。 本道ノ河川ニテ、源ヲ東山道ニ發スルモノハ、越中ニ射水、神通ノ二川アリ、越後ニ信濃、阿賀ノ二川アリ。

信濃川ハ、本道第一ノ大河ニシテ、信濃ヨリ來リ、越後ヲ貫流スルコト殆四十里、魚沼以下ノ諸流ヲ併セ、長岡ヲ經、新潟ニ至リテ海ニ注グ。此ノ河ノ水路凡一百里ニ及ブト雖、信濃、越後ノ國境ニ急湍アリテ、舟筏ヲ通ゼザルヲ以テ、上流、下流各舟ヲ異ニシ、其ノ水運、利根、北上ノ兩川ニ劣レリ。然レドモ越後ニテハ、河口ヨリ十日町ニ至ル凡三十里ノ間、運送自在ニシテ、且田野ヲ潤スノ功甚大イナリ、故ヲ以テ沿岸ニ都會多シ。魚沼川ハ、上野ノ境ヨリ出デテ、信濃川ニ入ル、水路二十一里、能ク舟ヲ通ズ。

阿賀川ハ、即岩代ノ日橋川ノ下流ニシテ、水程四十五里、信濃河口ノ東北ニ注グ。瀧田舟運ノ便ヲ供スルコト多シ。荒川(二十里)ハ越後ノ西南ニ在リ、妙高山ノ陰ヨリ發シ、高田ヲ過ギ直江津ニ至リテ海ニ入ル。

越中ノ射水川(五十八里)ハ、飛驒ノ白川ノ下流ニシテ、小矢部川ヲ併セ、伏木港ニ至リテ海ニ注グ。神通川(五十二里)モ、亦飛驒ノ宮川ノ下流ニシテ、富山ノ西ヲ流レテ海ニ入ル。是ヨリ東ニ常願寺川(十八里)、黒部川(二十里)等アリ。

加賀ノ大河ヲ手取川(二十里)トス、白山ノ西麓ニ發シ、大日以下ノ諸水ヲ併セ、其ノ下流ノ平野ニ至リテ、數多ノ分流ヲ出シ、本流ハ、西ニ屈曲シテ海ニ入ル。此ノ川ハ、上流急湍ナルヲ以テ、下流僅ニ舟ヲ通ズ、是ヨリ東ニ犀川(十三里)アリ、西ニ大聖寺川(十八里)アリ。

越前ノ大河ヲ日野川(二十五里)トナス、近江ノ國境ヨリ發シ、北流シテ足羽川(二十五里)ヲ併セ、福井ノ北ニ至リ、九頭龍川(三十二里)ト合シテ海ニ注グ。舟楫十餘里ニ上下ス。九頭龍川ハ、東部ノ山間ヨリ發シ、日野川ニ入ル、舟楫ノ利亦十餘里ニ及ブ。此ノ兩川沿岸ノ平地ハ、膏腴ニシテ美田多シ。

若狹、能登、佐渡等ニハ、記スベキノ河流ナシ。

湖沼。 本道ノ湖沼ハ、海岸平坦ノ地ニ在リ、若狹ニハ、三方、水月、久久子ノ三小湖アリテ、其ノ水共ニ相通ズ。越前ニハ北瀉入江アリテ、加賀ノ境ニ接ス、周回五里餘、海ニ

通ズ、湖口ニ長橋ヲ架セリ。加賀ノ海岸ニハ、平湖多シ、其ノ大イナルモノヲ八田瀉トス、國ノ北部ニ在リ、周回六里半、灌漑運漕ノ利アリテ、其ノ水海ニ通ズ。西南海岸ニ、大場瀉、今江瀉等アリ。越中ノ海岸ニモ、此ノ種ノ平湖アレドモ、皆小ナリ。越後ノ福島瀉一名越湖ハ、阿賀川口ノ東ニ在リ、周回四里、其ノ水流レテ阿賀川ニ入ル、此ノ外新瀉ノ西南ニ鍠瀉、大瀉等アリ。

之ヲ要スルニ、本道ノ湖沼ハ、主トシテ激浪海底ノ土砂ヲ攪動シ、其ノ堆積中ニ水ノ滲リテ以テ生ゼルモノニシテ、皆瀉ト稱スル平湖ナリ。

都市。 若狹ノ都會ハ、小濱ヲ最トス、小濱瀉ノ東岸ニ在リ、港内船舶輻湊シ、魚市盛

ンニ、漆器ヲ出スコト多シ。

福井市ハ、越前ノ西北部ニ在リ、人口四萬一千餘、福井縣廳所在ノ地ナリ。天正中柴田勝家ノ居城タリシトキハ、北莊ト云ヒシガ、徳川氏ニ至リテ福井ト改ム。此ノ地ハ北國街道ノ要區ニ當リテ、市街繁昌ナリ。

敦賀港ハ、敦賀瀉ニ臨ム、北國要港ノ一ニシテ、人口一萬五千餘、鐵道近江ノ長濱ト通ジ、水陸ノ便ヲ兼テ、北海ノ物産ハ、多ク此ノ地ヲ經テ京畿地方ニ達ス。其ノ他武生、大

野、勝山ノ諸邑アリ、武生人口一萬四千餘ハ北陸街道ニ臨ミ、大野ハ織リ物ヲ出ス。金澤市ハ、北陸第一ノ都會ニシテ、大サ方一里、人口凡九萬四千、石川縣廳ノ所在地ニシテ、犀川ニ臨ミ、工藝、商賈共ニ盛ンナリ、即工藝品ニハ、象眼細工、陶器等アリ。北陸街道福井ヨリ此ノ地ヲ經テ、越中ノ富山ニ及ブ。其ノ他加賀ノ都會ニハ、小松人口一萬三千餘、大聖寺等、繁華ノ地アリ。能登ノ名邑ハ、七尾人口凡一萬一千、輪島トス、七尾ハ船舶ノ碇泊ニ宜シク、輪島ハ漆器ヲ以テ名アリ。

富山市ハ、越中ノ中央ニ在リテ、神通川ニ臨ム、人口五萬九千餘、富山縣廳ノ所在地ニシテ、商賈上ノ要樞ヲナシ、賣藥及ビ金屬ノ製作ヲ以テ現ル。北陸街道金澤、高岡ヲ經テ來リ、海岸ニ沿ヒテ新瀉ニ達ス。高岡市ハ富山ノ西ニ在リ、人口凡三萬、漆器、金屬器ヲ以テ名ヲ得、又一商要區タリ。伏木港ハ、射水河ノ口ニ在ル、一小港ニ過ギザレドモ、越中ノ要津タリ、之ニ接シテ又新港、人口一萬七千餘アリ。富山ノ北東海岸ナル魚津（人口一萬三千餘）ハ、織リ物ヲ出シ、西北岸氷見（人口凡一萬二千）ハ、針ノ產地トシテ名アリ。

新潟市ハ本邦五港ノ一ニシテ、信濃川ノ西岸ニ在リ、人口四萬七千餘、新潟縣廳ノ所
 在地ニシテ、溝渠縱横ニ通ジ、船舶出入絶エズ、
 市街ニハ、巨商軒ヲ并べ、百貨輻湊ス、實ニ北國
 第一ノ要港タリ、只其ノ海深カラズ、且暗洲ア
 リテ大船近ヅキ難シ、直江津港ハ荒川ノ河口
 ニ在リ、是又越後ノ要港ニシテ、陸ニハ鐵道ア
 リ。

越後ハ大國ニシテ、殆北陸道ノ一半ヲ占ムル
 ノ面積アリ、且大河沿岸ノ地ハ、美田多キヲ以
 テ、自名邑少シトセズ、今其ノ繁華ナルモノヲ
 舉グレバ、高田、長岡、新發田、三條、柏崎等アリ、高
 田ハ、直江津ノ南ニ在リテ、荒川ニ臨ム、人口二
 萬餘、國內ノ輸出入品此處ニ輻湊シ、其ノ繁昌
 新潟ニ亞グ、長岡ハ、信濃川ノ沿岸ニ在リテ、水



新 潟 市 街

理新潟ニ通ズ、新發田ハ新潟ノ東北ニ在リテ、人口凡一萬三千、是又繁盛ノ區ナリ。
 佐渡ノ都會相川ハ、國ノ西側ニ在リ、人口凡一萬三千、夷町ハ北方夷灣ノ上ニ在リ、小
 木ハ東南越後ニ渡ルノ要津タリ。

勝區、舊蹟。

新田義貞戰死ノ地ナル藤島ノ古戰場ハ、福井ノ東ニ在リ、藤島神社
 ハ、即其ノ靈ヲ祭ルモノトス、此ノ邊又有名ナル永平寺アリ、金崎ノ城趾ハ、敦賀ノ傍
 ニ在リ、新田義顯戰死ノ地タリ、安宅ノ關趾ハ、小松ノ北西ニ在リシガ、今ハ土地海中
 ニ陥没セリ、能登ニモ禰宗ノ大寺總持寺アリ、越中ノ俱利伽羅谷ハ、粟殼峠ノ南麓ニ
 在リ、源義仲、平家ノ大軍ヲ破リシ古戰場ナリ、佐渡ハ、承久ノ亂ニ北條義時、順徳天皇
 ナ遷シ奉リシ地ニシテ、天皇ノ山陵ハ此ノ國ニ在リ。

北陸道ノ地ハ、溫泉極メテ多ク、其ノ數五十餘ニ及ブ、殊ニ越後ハ火山脈ノ衝ナルヲ
 以テ、其ノ中二十八ハ此ニ在リ、加賀、越中之ニ次ギ、而シテ若狹、佐渡ハ全ク之ナシ、今
 其ノ著名ナルモノヲ舉グレバ、加賀ニハ、西南境ニ山中、山代ノ溫泉アリ、南方山中ニ
 粟津、辰口ノ諸湯アリ、越中ニハ、立山ノ麓ニ立山湯アリ、下新川郡ニ小川湯アリ、越後
 ニハ、蕙華山ノ七島、松山、岩室等著名ナリトス。

氣候

日本海ニ面セル海岸地方ハ、亞細亞大陸寒冷地ノ風ヲ受ケ、加フルニ後部ニハ連峯重障アリテ、温暖ナル南風ヲ遮斷スルヲ以テ、概寒氣強シ。蓋能登ヨリ西南地方ハ、氣候稍温暖ナレドモ、是ヨリ東北地方ハ、霜雪早ク降り、積雪ノ深キコトハ、全國中稀ニ見ル所ニシテ、市街ノ人家モ其ノ中ニ埋メラルルコト珍シカラズ、況ヤ山溪ノ地ニ於テハ、積雪一二丈ニ達スルコトアリ。且全國一般ノ定則ニ外レ、夏ハ乾期ニシテ、冬ハ濕期タリ。又能登、加賀及ビ其ノ近傍ノ地ハ、本邦中降雨極メテ多量ナル所トス。

地名	温度			湿度		雨量 總量(耗)
	最高	最低	平均	平均	總	
金澤	三五・三	零下七・二	一三・〇	七九	二・五五九・九	
伏木	二四・九	八・八	一二・九	八五	二・二七〇・六	
新潟	三四・五	六・二	一二・五	七九	一・八〇九・九	

物産

海岸ニ近キ河川沿岸ノ平地ハ、概地味膏腴ニシテ、生産多シ、殊ニ米ハ加賀越中、越後ノ産名高ク、麻ハ越前、加賀、越後ヲ最トシ、烟草ハ越前、茶ハ加賀、越後ヲ良シ

トス、養蠶ハ各地從事セザル所ナシト雖、越中、越後ヲ以テ最盛大ナリトス。

各地特有ノ工藝製造品ヲ舉グレバ、越前ノ奉書紙、蚊帳、丸岡絹、加賀ノ加賀絹、能登ノ能登縮ミ、越中ノ新川木綿、越後ノ縮ミ、五泉平、精好、長岡絹、數寄屋、蘭紬、絲織リ等ニシテ、就中縮ミハ全國ニ名高シ。陶器ハ加賀ノ九谷焼キヲ良シトシ。漆器ハ、若狹塗リ、輪島塗リヲ好シトシ。紙ハ越前ノ奉書紙、鳥子紙、加賀ノ杉原紙ヲ著名ノモノトス。其ノ他加賀ノ象眼細工、金屬器ハ美術品トシテ其ノ名海外ニ聞エ、越中ノ銅器、越後、越前ノ鐵器モ亦名アリ。加賀ハ更ニ蠶ミ表ヲ産ス。

佐渡ノ金銀鑛ハ、古來全國ニ名高キ鑛山ニシテ、採鑛冶金ノ術モ亦頗進歩シ、金ノ産額ハ、全國中第一位ニ在リ。越前、加賀、越中、越後ノ諸山モ、金、銀、銅ヲ産ス、就中加賀、越後ノ銅、越前ノ銀ハ、其ノ産額少カラズ。石油ハ越後ニ多ク、石炭鑛モ、亦越後ト越前トニ在リ。

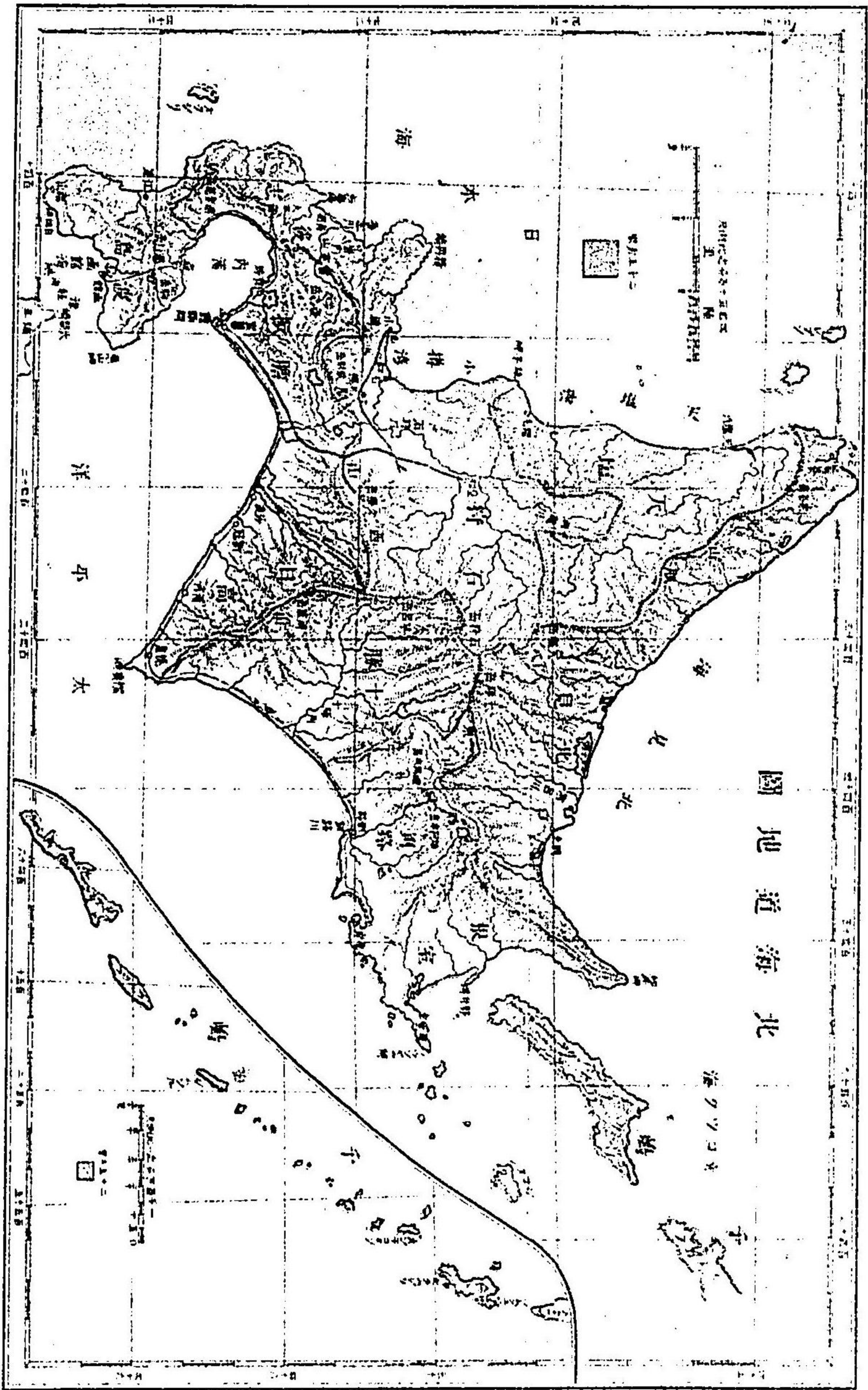
水産ハ、何レノ國ニテモ漁獲アレドモ、特ニ著名ナルハ、越後ノ鮭、越中、越後ノ鱒、鱒、鳥賊鱈、越前ノ雲丹、蟹等ナリ、而シテ鹽ハ能登ヲ以テ最良シトス、

第七章 北海道

總叙。北海道ハ本邦ノ北部ニ位シ、往時ノ所謂蝦夷地ト千島群島トヲ以テ成リ。南ハ津輕海峡ヲ隔テテ、東山道ト相對シ、北ハ宗谷海峡ヲ隔テテ魯領さがれんニ面シ、東北千島群島ノ極端ハ、かむちやつかニ近邁ス、面積六千九十五方里餘、人口三十一萬四千八百八人ニシテ、一方里五十二人ニ當ル。全道ヲ十一國ニ分チ、二區八十八郡ヲ置キ、一道廳ヲ以テ之ヲ管治ス、二區ハ函館、札幌ナリ。

往時ハ蝦夷即あいの人、各地ニ部落ヲナシテ住居スルノミニシテ、本邦人ハ、大方極南渡島ノ海岸地方ニノミ住居セシガ、明治二年、開拓使ヲ設置シテ、拓開殖民ノ業ヲ獎勵シテヨリ、効果年ニ著シク、今日ニテハ、殖民全道ニ廣リ、本邦ノ一大新富源タルヲ示セリ。

蝦夷人ハ、正史前ノ世、本土ヲ領セル蠻民ノ遺裔ナルベシ、言語風俗、全ク内地人ト異ナリ、無智蒙昧ニシテ、文字ナク、開拓、耕種、商業ノ術ヲ知ラズ、漁獵ヲ事トシ、丸木ヲ樹テ、繩葛ヲ結ビ、茅草樺皮ヲ以テ覆ヘル矮小ノ家屋ニ住シ、髮ヲ被リ、毛皮又ハ榆皮ニ



北海の風景



テ織レルあつしヲ纏ヘリ。今ハ内地人ノ感化

ヲ受ケ、其ノ風漸漸改ルノ傾キアリ。

海岸、港湾。 北海道本地ハ、海岸ノ出入極

メテ僅少ナリ、渡島ノ南岸ニ一小灣アリ、函館

灣ト云フ、極南ニ白神岬アリ、東ニ恵山岬アリ、

又東ノ方日高ノ襟裳崎ト遙カニ相對ス。恵山

岬ヲ廻リテ北西ニ進メバ、内浦灣アリ一ニ火

山灣ト云フ、膽振ノ繪鞆崎灣口ヲ扼ス。襟裳崎

人ノ近傍ニハ、巖礁起伏シ、舟行危険ナリ。是ヨリ

十勝、釧路ノ海ヲ經テ、東北ニ進メバ、根室ノ納

紗布崎遠ク海中ニ突出ス、其ノ北ニ北見ノ知

床崎アリ、是ヨリ西北ノ宗谷岬ニ至ル間ヲ北

見海ト云フ。宗谷岬ヲ西ニ廻リテ南ニ進ミ、天

鹽海ヲ經レバ、天鹽、石狩ノ境ニ雄冬崎アリ、後

志ノ積丹岬ト對シテ、小樽灣ヲ擁ス。又積丹岬ト對シテ、神威崎アリ、南ノ方辨慶崎ト
 壽都灣ヲ擁ス、辨慶崎ノ西南ニ白糸岬アリ。
 千島群島ノ西北おこづく海ハ、北部ノ寒流アリテ、海水頗冷カニ、冬時ハ風雪烈シク
 夏時ハ陰霧多クシテ、船ヲ行リ難シ。南方日本海ニ至レバ平穩ナレドモ、太平洋海岸
 ノ邊ハ、波濤強クシテ航行シ易カラズ。
 港津ノ第一位ヲ占ムルモノハ函館ナリ、其ノ位置函館灣中、更ニ陸地ニ入レル處ナ
 ルガ上ニ、函館山海中ニ斗出シテ風濤ヲ妨グテ以テ、四時波平カニ水深ク、巨船大艦
 ナ泊スルニ適ス。小樽港ハ、小樽灣ノ南岸ニ在リ、亦水深クシテ大船ヲ泊スベシ。火山
 灣ノ内給鞆崎ノ北ニ位スル室蘭港ハ、水極メテ深キ良港ナルヲ以テ、近時軍港ニ定
 メラレタリ。其ノ他根室ニ根室港アリ、釧路ニ厚岸港アリ、北見ノ宗谷、石狩川口ノ石
 狩、後志ノ壽都、渡島ノ江刺、福山等モ、亦舟泊ノ地ナリ。
 嶋嶼。千島ハ、大小二十餘島アリ、其ノ重ナルモノヲ、國後、擇捉、得撫、新知、恩禰、古丹、
 幌筵、占守トシ、之ヲ九郡ニ分ツ。此ノ諸島ハ、皆火山脈ノ屈起セシモノニテ、山脊嵯峨
 地味瘠薄、氣候寒冷、從ヒテ無人ノ境多シ。

國後ハ、根室ヲ距ル五里、幅員百四方里トス、其ノ東南ニ色丹島アリ、擇捉ハ、最大イナ
 ル島ニシテ、國後ノ東北三里ニ在リ、幅員四百六十八方里ナリ。

此ノ外屬島ノ重ナルモノハ、渡島ニ大島、後志ニ奥尻、北見ニ禮文、利尻ノ諸島アリ。

地勢、山岳。 東西南北ノ山脈十字形ヲナシテ、中央ニ交叉シ、北山脈ハ、北見、天鹽

ノ間ヲ走り、南山脈ハ、十勝、石狩、日高ノ境界ヲナシ、東山脈ハ、北見ト十勝、釧路、根室ト
 ノ境ヲ限リ、西山脈ハ、石狩、膽振ノ間ニ横ハリ、延キテ後志、渡島ニ及ブ。サレバ石狩、十
 勝、北見ノ境界部ハ、山深クシテ高峯重疊ス。地勢既ニ此クノ如キヲ以テ、河水四方ニ
 分流シ、其ノ下流ノ地ニハ、平野少カラズ、而シテ平野ノ重ナルモノハ、石狩川沿岸及
 ビ、十勝川下流、釧路、根室二國ノ南部、北見ノ海岸一帶、日高、膽振ノ海岸等ナリ。

高峯ノ重ナルモノヲ舉グレバ、中央ノ交叉部ニ、石狩、十勝(七千尺)、天鹽、竿呂ノ諸岳ア
 リ。石狩岳ハ、本島中央部ノ最高峯ニシテ、地勢是ヨリ四方ニ下垂シ、坂路險阻ニシテ、
 攀登シ易カラズ。北山脈ノ極北ニ宗谷岳アリ、南山脈中ニ神威岳(凡五千四百尺)アリ、
 東山脈中ニ雌阿寒(四千七百九十尺)、雄阿寒ノ二峯アリ。西山脈中ニ夕張、紋別(三千六
 百尺)、後方羊蹄(後志)ノ諸岳アリ。後方羊蹄岳ハ、高サ凡八千尺、後志、膽振ノ二國ニ跨リ、

蝦夷富士ノ稱アリ、其ノ脈連亘シテ雷電山(三千二百五十尺)、太平岳(三千三百尺)、遊樂部山(四千百尺)トナル。其ノ他渡島、膽振ノ境ニ濁川岳(二千七百尺)アリ、渡島ノ東北岸ニ駒岳(三千二百二十尺)アリ、石狩、天鹽ノ境ニ暑寒別(七千二百尺)、幌尻(六千二百二十尺)ノ諸山アリ。

本道ニハ火山少カラズ、活火山ニハ、釧路ニ硫黄、雌阿寒、膽振ニ樽前山、渡島ニ駒岳アリ、休火山ニハ、雄阿寒、十勝、石狩、夕張、後志ノ諸岳ヲ始メトシテ、國後ノ諸山、利尻島ノ利尻岳、膽振ノ有珠、登別二岳、後志ノ余市岳、渡島ノ惠山等アリ、皆東西山脈ニ屬スルモノトス。

水理。 石狩川ハ、本邦第一ノ長流ニシテ、源ヲ石狩岳ノ東側ニ發シ、近傍溪谷ノ諸水ヲ併セテ、石狩北境ヨリ南流スル雨龍川ト合シ、更ニ南流シテ空知川ヲ併セ、勢漸大イニナリ。石狩ノ平野ヲ過ギテ小樽灣ニ注グ、水程百六十七里、舟百里ニ入ル、其ノ川口ハ有名ナル鮭ノ漁獲場ニシテ、船舶來集ス。本水支流共ニ、沿岸ノ地ハ、未充分ノ拓開ヲ得ズト雖、沖積土質ニシテ地味頗膏腴タリ。

天鹽川ハ、源ヲ天鹽山ニ發シ、山脈ニ沿ヒテ彎曲北流シ、諸水ヲ併セテ天鹽海ニ注グ、

長サ七十四里、本道第二ノ長流タリ。

十勝川ハ、更ニ大津川ト云フ、十勝岳ヨリ發シ、南流シテ北西諸山ノ水流ヲ併セ、下流ニツニ分レテ海ニ朝ス、水程五十三里餘、舟楫ヲ通ズベシ。

久壽里川即釧路川ハ、源ヲ久斜路湖ヨリ發シ、阿寒川(二十五里餘)ヲ併セテ海ニ入ル、流程凡三十三里ナリ。

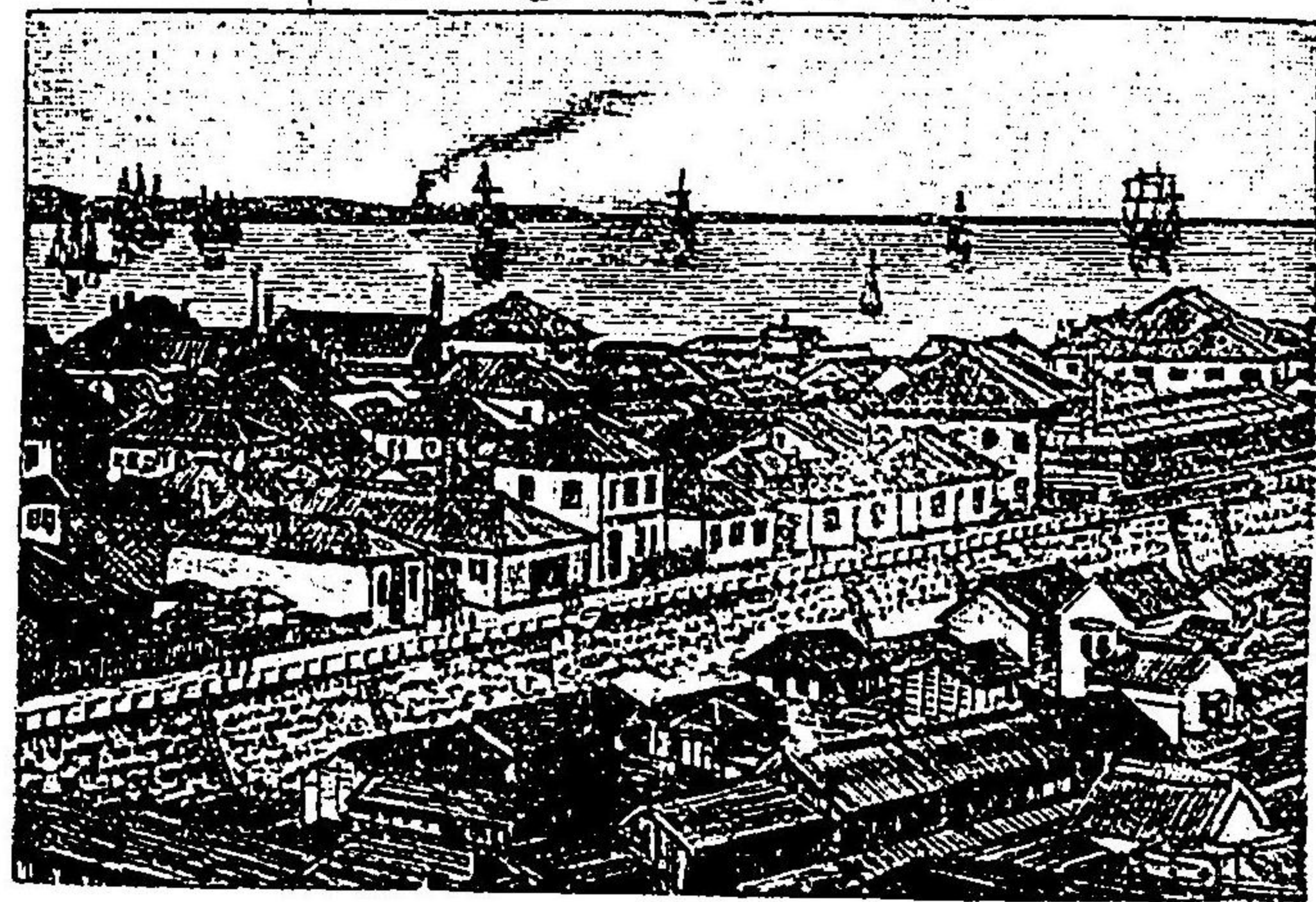
後志川ハ、後志ノ長流ニシテ、長サ凡三十四里アリ、其ノ他後志ノ利別(二十八里)、膽振ノ遊樂部(三十四里)、長流別(凡十六里)、鷲(凡二十里)、釧路ノ西別(二十八里餘)、北見ノ常呂(二十九里)、日高ノ新冠(二十六里)、厚別(凡十五里)、根室ノ標津(凡十六里)、天鹽ノ羽幌(凡二十里)ノ諸川アリ。

湖沼、温泉。 本道ニハ、湖沼極メテ多ク、周回一里以上ノモノ三十餘、海岸低地ニ水ノ滙シテ生ゼルモノト、火山湖トノ二類ヲナス。就中最大イナルハ、北見ノ猿間沼ニシテ、周回二十里、第一種ノ湖沼ニ屬ス。其ノ他此ノ類ニ入ルモノハ、根室ノ楓蓮沼(周回十五里)、北見ノ網走即禱沸沼(六里)ナリ。第二種ニ屬スルモノハ、釧路北隅ノ摩周(周回六里)、釧路(周回凡十三里)、阿寒(周回六里餘)及ビ海岸ノ鹹湖即内灣(周回七里)、膽振

ノ支笏即千歲湖(周回十五里)河爺湖(周回十里)渡島ノ大沼(周回八里)等ナリ。厚岸灣ハ、鹹湖ニ通ズルヲ以テ考フレバ、一ノ火山湖タリシナルベシ。

北海道ノ温泉ハ、其ノ數三十餘アリ、然レドモ多クハ山間僻陲ノ地ニ在リテ、道路開ケズ、本道ニハ、都會未多カラザルヲ以テ、著名ノモノ少シ、其ノ稍知ラレタルモノハ、函館ノ谷地頭湯、渡島ノ東南惠山湯、河汲湯、後志雷電山腹ノ雷電湯、石狩ノ定山溪湯、膽振登別山中ノ登別湯等ナリ。

都市。 函館區ハ、函館灣内ノ小半島ヲナセル所ニ在リ、即五港ノ一ニシテ、人口凡五萬八千、安政六年ノ開港タリ、東北一里餘ノ所ニ五稜廓アリ、明治元年、幕府ノ脱徒據リテ以テ官軍ニ抗セシ所ナリ。札幌街道ハ函館ヨリ發リ、北方森ヨリ



函館

海ヲ經テ室蘭ニ達ス。沿岸別ニ後志ニ通ズル路アリ。其ノ外渡島ノ都邑ニハ、福山、江差、森等アリ、皆舟泊ノ地ニシテ頗般盛ナリ。江差ハ人口凡一萬五千、福山ハ以前松前ト稱ヘ、人口一萬一千餘アリ。小樽ハ札幌ノ津頭ヲナシ、人口二萬六千餘、函館ニ亞グ要港ニシテ、船舶ノ出入繁ク、鐵路札幌ニ通ジ、市況般賑ナリ。後志ノ都邑ニハ、岩内、壽都等アリ、岩内ハ石炭坑ヲ以テ名アリ、壽都ハ舟泊ノ地ナリ。

札幌區ハ、石狩原野ノ西南ニ位シ、人口二萬五千餘、北海道廳所在ノ地ニシテ、豐平川其ノ東ニ流レ、市街端正、恰京都ニ似タリ、鐵道ハ、小樽ヨリ此ヲ過ギテ空知ノ石炭山ニ通ズ、又別ニ夕張、石炭山及ヒ室蘭鐵道ニ連接スル線アリ。將來離宮ノ設置セラレベキ忠別ハ、石狩川ノ上流ト空知川ノ間ナル上川郡ノ地ニ在リ、其ノ他附近著名ノ市邑ハ、石狩川口ノ石狩ニシテ、秋期鮭漁ノ爲ニ市街繁盛ナリ。

室蘭ハ、膽振ノ都會ニシテ、札幌、函館間往來ノ要津ニ當リ、船舶ノ出入絶エズ、此ノ國ニハ更ニ有珠、白老、苦小牧等ノ小邑アリ、其ノ内有珠ニハ製糖所ノ設ケアリ。日高ノ海岸ニハ、沙流、新冠、浦河、幌泉アリ、皆根室街道ニ連ル、新冠ニハ有名ナル牧場アリ。十勝ノ海岸ニハ大津アリ、釧路ニハ厚岸、釧路ノ二邑アリ、皆根室街道ニ臨ム。

根室ハ千島及ビ北見地方ニ通ズル港津ニシテ、本道本部ノ一要區ナリ。北見ニハ、網走、宗谷ノ諸邑アリ、天鹽ニハ増毛アリ、皆海濱ノ漁地ナリ。

氣候。 北海道ノ地ハ、其ノ氣候所ニ由リテ相違アレドモ、概寒冷ニシテ、霜雪ノ期

一般ニ早ク、札幌近傍ニテハ、多少ノ遲速アレドモ、降霜ノ期ヲ十月初旬トス。東南及ビ西南地方ハ、氣候稍温和ニシテ、本洲極寒ノ地ヨリモ暖ナリ。其ノねこつく海ニ臨メル地ニ至レバ、寒風、寒潮侵シ來リテ、寒威凜烈、一年ノ半以上、氷雪地ヲ封ズ、今測候所ノ設ケアル地ノ温度、湿度、雨雪量等ヲ表出シテ、以テ一般ノ氣候ヲ推測スルノ據トナス。

地名	温度			平均	湿度		雨量	雪
	最高	最低	平均		平均	總量(耗)		
函館	三一・二	零下	八・三	七七	一、〇三一・〇			
壽都	三一・九	全	八・〇	七九	一、三二六・七			
札幌	三二・四	全	六・六	七八	一、〇五二・五			
上川	三三・〇	全	四・六	八二	一、〇八一・三			
宗谷	二七・九	全	四・九	八四	一、三〇一・三			

網走	根室	釧路	襟裳
三三・九	三一・四	三一・六	二七・四
全	全	全	全
一九・七	一六・八	二二・六	一五・四
六・一	五・九	四・九	七・二
八一	七六	八〇	七九
六一六・九	一、〇六四・一	一、一五六・八	九七一・一

物産。

石狩以下大河ノ貫流スル平地ハ、土壤沃美ニシテ、草木繁茂シ、肥料ヲ要セズシテ穀菜ノ收穫アリ、而シテ近時拓開ノ業、駸駸歲月ト共ニ進ムノ勢アレドモ、農業、牧畜、養蠶等ハ、共ニ未盛大ナラズ、但シ馬ハ南部馬ニ次グノ良馬ヲ産ス、又工藝ノ如キモ、地新開ニ屬スルヲ以テ、特産ノ見ルベキモノナシ。

北海道現在ノ富源ハ、主トシテ天産ニ在リ、水産ノ如キハ、最有名ナルモノニシテ、鮭、鱈ノ漁獲極メテ多ク、猶其ノ他ニ鱒、烏賊等アリ、昆布ノ收穫モ亦頗盛大ニシテ、支那貿易ノ大部分ヲ占メ、且千島諸島ハ、臘肭、臘虎、海豹ヲ出シ、函館ヨリハ純良ノ氷リヲ出ス。山林ニ至リテハ、數百年來ノ喬木茂生シ、建築、造船ノ良材乏シカラズ。

礦産モ、金、銀、銅、鐵ノ諸礦少カラズト雖、其ノ採掘未盛ナラズ、獨石炭、硫黃ハ、出額極メテ多シ。札幌ニハ製糖、製麻ノ工場アリ、函館ニハ造船所アリ。

第八章。山陰道。

總叙。 山陰道ハ、日本海ニ面スル中國ノ北半部ニシテ、中國山脈南ニ連リ山陽道ノ境ヲナス。即陰陽兩道ノ名ハ、此ノ山脈ノ表裏ヲ以テ命ジタルナリ。全道長サハ凡八十餘里、廣サ凡二十里、面積凡一千八十八方里、人口百八十八萬六千二百二十四人ニシテ、一方里正ニ一千六百六十一人ニ當ル。全道ヲ分チテ八國トシ、二市五十四郡アリ、京都府及ビ兵庫、鳥取、島根ノ三縣之ヲ分轄ス。二市トハ鳥取、松江ナリ。

海岸、港灣。 山陰道ノ諸國ハ、丹波ノ一國ヲ除キ、餘ハ皆海ニ臨ム、然レドモ其ノ海岸ハ、出入極メテ少ナク、丹後及ビ出雲ニ於イテ、稍屈曲ヲ見ルノミ。

丹後ノ灣ヲ與謝海ト云フ、成生崎ト鷺岬ト、東西相對シテ灣口ヲ扼ス、北端ニ經岬アリ、但馬ノ境ニ接シテ久美濱灣アリ、伯耆ト出雲ノ間ニ中海ノ灣アリ、其ノ水出雲ノ宍道湖ニ通ジ、中ニ大根、江島ノ二島アリ、中海ノ北ニ伸出スル地ヲ島根半島ト云ヒ、其ノ東端ヲ地藏崎ト云ヒ、伯耆ヨリ海中ニ鑿出スル地ヲ夜見濱ト云フ。

本道ノ海岸ハ、北陸道ノ海岸ノ如ク斷崖多シ、而シテ良港ハ丹波、出雲ノ二國ニ在ル

ノミ。與謝海中ニハ、舞鶴、由良、宮津ノ三港アリ、宮津ハ、水深ク船舶ノ出入繁クシテ、軍港タリ、伯耆ニハ、中海ノ口ニ境浦ノ一港アリ、巨船ヲ碇繋スルニ適ス。此外出雲ニ加賀浦港アリ。

島嶼。

隱岐ハ、日本海ノ中ニ在リテ、出雲ノ海岸ヲ距ルコト正北凡十二里、大小ノ群島ヲ以テ國ヲ成ス、其ノ中最大イナルモノヲ島後ト云フ、東西四里、南北五里、周回二十餘里、別ニ三大島ヲ併セテ島前ト云フ、西島最大イニシテ、周回二十一里、中島ハ周回十六里、知夫里島ハ、周回十二里アリ。

島後ノ東南ニ一ノ良港アリ、西郷港ト云フ、水深クシテ風濤ノ害ナク、巨船ノ碇泊ニ適セリ、西島ニハ、浦郷港アリ。

地勢、山岳。

陰陽兩道ハ、地狹長ニシテ、山脈之ヲ縱斷シ、其ノ餘波岐出シテ、徃徃海岸ニ及ブ、高峯峻嶺稀ナリト雖、地勢既ニ此クノ如クナルヲ以テ、河流ノ稱スベキモノ少ク、膏腴ノ平野ニ乏シ。二丹ハ、山地ニシテ平野ナシ、只丹波篠山ノ近傍ハ自平坦ナリ。但馬、因幡ハ、豐岡、日野二川ノ下流ニ平地アリ、伯耆ハ、日野川ノ下流ヨリ夜見濱ニ續キテ地平カニ、出雲モ亦宍道湖ニ沿ヒ平地アリ。其他山間ニモ平地ナキニア

ラザレドモ、區域甚狹シ、隱岐ハ山脊凹凸、概礪確ナリ。

丹波ハ、有名ナル高山ヲ大江山(二千七百三十尺)トス、北境ニ在リテ其ノ脈丹後ニ連ル。若狹ノ境ニ御岳(二千七百二十三尺)アリ、但馬ノ境ニ足占山アリ、而シテ國中ニハ由良嶽(二千二百五十七尺)アリ。但馬、因幡ノ境ニ冰山(四千六百二十尺)アリ、因幡ハ、東北ニ稻葉山アリ、古昔宇倍山ト呼ビシト云フ。又其ノ西南部伯耆、美作ノ境ニ三國山アリ。伯耆ノ大山一ニ大神山ト云フハ、中國山脈中ノ最高峯ニシテ、高サ五千八百八十尺、山路登攀シ難シ、其ノ脈蜿蜒シテ四方ニ及ビ、東北船上山トナル。其ノ東方ニ美德山アリ、山甚高カラザレドモ、巨岩嵯峨トシテ恠奇ノ觀アリ。又西南境ニ船通山アリ、石見、出雲ノ境ニハ、三瓶山(三千八百七十尺)、琴引山(三千五百二十一尺)アリ、石見、周防、安藝ノ境ニハ、十方山アリ。要スルニ本道ノ諸山中、但馬ノ神鍋山、伯耆ノ大山、石見ノ青野嶽等ハ、加賀白山ヨリ若狹ヲ經テ西走スル火山脈中ニ在ル休火山ニ屬ス。隱岐モ亦山岳多シ、島後ニテ最秀デタルハ大満寺山(二千百十五尺)ニシテ、火山性アルハ飯野山ナリ、此ノ外西島ニハ高崎山アリ。

水理。

本道ノ地勢ハ、既ニ述ブルガ如クナルヲ以テ、河流ニ水路ノ長大ナルモノ

ナシ、獨石見ノ江川ハ、中國第一ノ大河ニシテ、源ヲ石見安藝ノ國境ニ發シ、屈曲シテ安藝備後ノ境ニ至リ、諸水ヲ併セテ石見ニ入ル、長サ凡五十里、舟楫二十里ニ及ブ、其ノ他ノ諸川ハ、皆中國山脈ノ背部ヨリ發スルヲ以テ、水程甚短シ。

丹波東南部ノ水ハ、相集リテ大堰川トナリ、山城ニ入リ、桂川トナル、灌田ノ利アリ。西南ノ佐知川ハ、播磨加古川ノ上流ナリ。北部ノ水ハ、和知川ニ合シ、福知山ヲ過ギテ丹後ニ入ル、由良川一名大川二十七里、是ナリ。此ノ河、下流ヨリ福知山マデハ舟ヲ登スコトヲ得。但馬ニハ、東ニ豐岡川一名朝來川十六里アリ、西ニ矢田川十三里アリ、因幡ノ諸水ハ、大抵千代川十二里ニ入ル。伯耆ニハ、天神川アリ、西ニ日野川十七里アリ、豐岡川、日野川共ニ舟楫ヲ通セザレドモ、灌漑ノ利少カラズ。出雲ニハ、大川一名斐伊川二十里アリ、宍道湖ニ注グ、此ノ川數里ノ間舟楫ヲ通ジ、且灌田ノ利アリ。石見ノ西端ニハ高津川アリ、水流十五里ニ足ラザレドモ、舟ノ入ルコト七里ニ及ブ。

本道湖沼ノ大イナルヲ出雲ノ宍道湖トナス、東西四里餘、南北一里半、周回十三里、其ノ水中海ニ入ル、湖上船舶ノ往來頻繁ナリ、中海ハ外海ニ通ズル鹹湖ニシテ、長サ五里、幅三里餘、周回十六里、是又水運ノ利アリ。其ノ他因幡ニ湖山池周回三里半、伯耆ニ

東郷池(二里半)アリ。

都市

丹波ノ名邑ニハ、龜岡、篠山、福知山アリ。龜岡ハ、京都ニ至ル要衝ニシテ、交通運送ノ便アリ、篠山ハ大蜘蛛川ニ臨ミ、播磨、攝津ニ通ズル要區ナリ。福知山ハ和知川ニ臨ミ、之ヨリ丹後ニ通ズ共ニ小都會ナリ。丹後ノ宮津ハ、船舶輻湊ノ要港ナリ、舞鶴ハ宮津ヲ距ル凡六里ニ在リ。但馬ノ豐岡、出石ハ、共ニ小都會ナリ、其ノ南部ノ生野ハ、銀山ヲ以テ名高ク、且播磨ニ出ヅル要路ナリ。

鳥取市ハ、千代川ノ下流平野ノ間ニ在リ、人口二萬九千餘、鳥取縣廳ノ所在地ナリ。山陰街道但馬ヨリ此ヲ過ギ、海岸ニ沿ヒテ西ニ通ズ。米子ハ、伯耆ノ西隅ニ在リテ、中海ニ臨ミ、夜見濱ニ連レリ、人口凡一萬四千、船舶出入ノ要津ナリ。東方ノ倉吉ハ、一商地ニシテ、綿布ノ織リ物ヲ産ス。境ハ中海ノ口ニ位スル港津ナリ。

松江市ハ、宍道湖ノ東岸ニ在リテ、本道第一ノ都會ナリ、人口凡三萬六千、島根縣廳ノ所在地ニシテ、水運ノ便ヲ極メ、市勢富殷ナリ。山陰街道伯耆ヨリ是ヲ過ギテ石見ニ入ル。其ノ他ノ名邑ニハ、島根半島ノ端ニ美保關アリ、小港ナレドモ水深ク、隱岐ニ渡ルノ要津ヲナス。西北海岸ニ杵築アリ、出雲大社ノ在ル處ナリ。石見ニテ稍名アル都



會ハ濱田、津和野、隱岐ニテハ西郷ナリ。

勝區舊蹟。 丹後ノ天橋立ハ本邦三景ノ一

ニテ宮津ノ傍ニ在リ、沙洲海中ニ出ヅルコト凡一里、其ノ狀恰橋ニ似タリ、老松一帶之ニ生ジ、眺

望極メテ佳ナリ。伯耆ノ船上山ハ名和長年ノ後

醍醐天皇ヲ奉ジテ義兵ヲ舉ゲシ舊地タリ。夜見

ノ濱邊モ亦佳景賞スベシ。杵築ノ出雲神社ハ、大

國主神ヲ祭レル所ニシテ、其ノ由來遠ク神代ニ

出デ、伊勢ノ大廟ニ次グノ名社タリ。隱岐ハ、北條

義時後鳥羽天皇ヲ遷シ奉リシ地ニシテ、其ノ宮

趾ハ中島ニ在リ、後醍醐天皇蒙塵ノ時ノ宮趾ハ

知夫里島ニ在リ。

本道ニハ、温泉二十個處アリ、其ノ有名ナルモノ

ハ、丹波ノ木津湯、但馬ノ湯島、因幡ノ吉岡、石見ノ

有福湯等ナリ。

氣候。

山陰道ハ、後ニ連山ヲ負ヒ、北海ニ寒流アリ、故ニ同緯度ノ地ニ比スレバ、寒

氣強ク、積雪深シ、殊ニ丹波ハ山國ナルヲ以テ、寒氣一層強ク、夫ヨリ西スルニ從ヒテ

次第ニ減ズ。大概北陸道ニ比スレバ、稍暖ナリトス。

今伯耆ノ境港ノ氣象觀測ノ表ヲ左ニ示スベシ。

地名	温 度			濕 度		雨 量 (耗)
	最 高	最 低	平 均	平 均	總 量	
境	三五・三	零下 五・二	一四・〇	平	七五	二〇八〇・七

産物。

山陰道ハ、其ノ地勢ニ由リテ知ル如ク、平地少キヲ以テ、普通農産物ノ收穫

多カラズ。養蠶ハ、丹波、丹後、但馬ニ盛大ニシテ、綿ハ伯耆、出雲ニ、麻ハ出雲、石見ニ名ヲ

得、其ノ他出雲ノ人參、蜜柑ハ、其ノ名著ハレタルモノナリ。又神戸牛ト稱シテ食用ニ

重ンズルハ、但馬及ビ其ノ近傍諸國ニテ畜養スル所ニ係ル。

工藝品ニハ、丹後縮緬、但馬出石ノ陶器、伯耆、出雲ノ木綿、石見ノ紙、丹波ノ煙草、但馬ノ

柳行李等アリ。

礦産ニハ、但馬生野ノ銀山頗著名ナルガ、此ノ外ニモ尙銀銅坑アリ、伯耆ニハ鐵坑、砂鐵床アリ、出雲ニハ銅鐵アリ、石見ニハ銀、銅鐵アリ。出雲、石見ハ、我が國鐵ノ產地トシテ第一位ヲ占ム。

水産ハ、沿海諸國皆アリ、其ノ産額ノ多キモノヲ烏賊、鯛、鱈ノ類トス。

第九章 山陽道

總叙。 山陽道ハ、瀬戸内海ニ瀕スル中國ノ南半ニシテ、山陰道ト其ノ背ヲ合セ、長サ凡百七里、廣サ平均十五里、面積一千五百七十方里餘、人口四百十萬五千四百九十九ニシテ、一方里ノ人口二千六百十五人ニ當ル。南方海岸ノ大部分ハ、四國ト相面シ西端赤間關ノ海峽ヲ隔テテ、九州ト相對ス、而シテ極西ノ一國長門ハ、北ニ日本海ヲ負フ。全道八國、三市、八十一郡アリ、兵庫、岡山、廣島、山口ノ四縣之ヲ分轄ス。三市ハ、岡山、廣島、赤間關ナリ。

海岸、港灣。 瀬戸内海ヲ受クル海岸ハ、屈折極メテ多ク、港灣少カラズ、而シテ其ノ海中、島嶼散布セリ。瀬戸内海ハ、東ノ方明石ノ瀬戸ヨリ、西ノ方早瀬ノ瀬戸ニ至ルノ總稱ニシテ、此ノ間ヲ播磨、水島、硫黃、燧、周防ノ五灘ニ分ツ。明石ノ瀬戸ハ、即播磨ト淡路トノ間ニシテ、其ノ距離僅ニ二十八町、内海通船ノ門戸ヲナス。早瀬ノ瀬戸ハ、赤間關海峽ノ西口ニシテ、其ノ東口ヲ大瀬戸ト呼ブ、此ノ間僅ニ二里ニ過ギズ。對岸距離ノ最短キハ是ニ過ギタルハナシ。

本道八國中、獨美作ノ一國ノミ海ニ臨マズ、備前ノ西南部ハ西ヨリ東ニ直出ス、其ノ長サ凡十里、兒島半島ト云フ、其ノ擁スル小灣ヲ兒島灣ト云フ。安藝ノ南部ニハ廣島灣アリ、灣中大小ノ島嶼多シ。

港津ノ最タルモノヲ長門ノ赤間關トナス、馬關又下關トモ云フ、瀬戸内海ヲ經テ日本海及ビ支那海ニ出ヅルノ門戸ヲナシ、神戸ト共ニ内海東西ノ巨港タリ。赤間關ニ次グ長門ヲ吳トナス、廣島灣ノ東南ニ在リ、海軍鎮守府ノ所在地ニシテ、水深ク、大艦ヲ泊スルニ適フ。此ノ餘ニ播磨ノ室津、明石、備前ノ笠岡、備後ノ鞆津、尾道、周防ノ三田尻、室積等、船舶輻湊ノ港津少カラズ。

鳴嶼。 瀬戸内海ハ、島嶼極メテ多シ、播磨ニハ、家島以下ノ群島アリ、備前ニハ、鹿久井島、備中ニハ神島、白石島、北木島等アリ、備後ニ屬スルモノハ因島(周回十里、最大ニシテ、向島之ニ次グ)、安藝ニハ大イナル屬島甚多シ、廣島灣内ニ能美島(周回十三里半)、江田島、嚴島アリ、灣口ノ東ニ倉橋島(周回二十六里)アリ、又東ニ生口島、大崎島等アリ、周防ノ東南岸ニ大島アリ、周回凡三十一里、諸島中最大イナルモノトス。其ノ外ニ上關島、平群島、屋島、笠戸島、向島等アリ、赤間關ノ西南ニ引島アリ、長門ノ西岸ニ蓋井島、

角島アリ、北岸ニ青海島アリ、遙カニ日本海中ニ離レテ見島アリ。

地勢、山岳。

本道ノ地勢ハ、山陰道ト同ジク廣原ニ乏シ、播磨ノ南部ニ稍廣キ平地アリテ、膏沃ノ田畝ヲナス、備前ノ岡山近傍、東西ノ兩大川及ビ備中ノ大川ニ至ル下流ノ地ニ肥美ノ平地アリ、其ノ他ニハ海邊、山間、河岸等ニ小平地アルノミ、然レドモ山陽ハ、山陰ニ比スレバ、膏腴ノ地多ク、氣候中和、物産饒クシテ人口稠密ナリ。

本道ニモ、山陰道ト同ジク高峯、峻嶺稀ナリ、播磨ノ中央ニ書寫山(一千三百十六尺)アリ、北部ニ雪彦山(三千四百六十尺)アリ、美作ニハ、東北隅ニ那岐山(五千二百六十尺)アリ、西北隅ニ蛭山アリ、備前ハ中央ニ熊山(一千七百三十六尺)アリ、備中ハ西ニ彌高山アリ、北ニ大佐山(三千二十九尺)アリ、備後ハ中央ニ御神山アリ、南ニ熊嶺(一千三百八十六尺)アリ、安藝ハ東ニ鷹巢山(三千二百九十七尺)アリ、西ニ鬼城山(三千五百三十八尺)アリ、其ノ他ニ御山(一千八百八尺)、極樂寺山(一千八百九十四尺)アリ、周防ハ東北隅ニ秘密岳アリ、長門ハ東北ニ徳佐峯(三千二百八十尺)アリ、西南ニ鬼城山(二千三百三十二尺)アリ、備後ノ御神山ハ、山中巨巖怪石多ク、天工自然ノ橋アリ之ヲ鬼橋ト云フ、又本道ノ諸山ニハ、火山質ニ屬スルモノナク、山陰火山脈ノ餘脈、少シク波及ス

ルアルノミ。

水理。 本道ノ諸川ハ、皆其ノ源ヲ北部山脈ニ發シテ瀬戸内海ニ注グ。播磨東部ノ加古川ハ、丹波佐知川ノ下流ニシテ、全長凡三十里、舟二十里ニ派ル。加古川ノ西ニ市川(十二里)、揖保川(十五里)アリ、三川共ニ灌溉ヲ助クルコト廣シ。又其ノ西ニ千種川(十五里)アリ。備前ニハ、東大川、西大川ノ二大流アリ、東大川ハ伯耆、美作ノ國境ヨリ發シ、美作ノ中央ヲ過ギ津山川トナリ、加茂川ヲ併セテ備前ニ入り、東大川トナル、全長三十餘里、舟楫二十里ニ及ブ。西大川ハ、美作高田川ノ下流ニシテ、全長三十餘里、舟楫二十六里ニ及ブ。兩川共ニ灌溉ノ功大イナリ。

備中ノ大川ハ、上流ヲ高梁川、下流ヲ河邊川ト云フ。國中ノ諸水ヲ併セ、南流シテ海ニ注グ、長サ凡三十里、通舟二十里、更ニ灌田ノ利アリ。備後南部ノ諸水ハ、芦田川(十一里)ニ合シテ海ニ入り、北部ノ諸水ハ、安藝ヨリ來ル吉田川ニ入りテ、石見ノ江川トナル。安藝ニハ、中央ニ、太田川アリ、長サ凡二十三里、舟二十里ニ上下ス。東ニハ沼田川(十二里)アリ、北ニハ吉田川環流ス、即江川ノ上流ナリ。周防ハ東ニ岩國川アリ、上流ヲ須万川ト云ヒ、東流シテ海ニ注グ、長サ二十四里、有名ナル錦帶橋ハ、岩國ニ在リテ、此ノ水

ニ架スル所ナリ。西ハ長門ニ近キ處ニ佐波川(十四里)アリ。長門ニハ北海ニ注グ阿武川(十五里)アリ、南流スル厚東、厚狹、吉田ノ三川アリ、皆小流ナリ、其ノ中阿武、厚東ノ二川僅ニ舟ヲ通ズ。

湖沼ハ、極メテ稀ニシテ、長門ノ常磐湖最大イナリ、然レドモ周回三里餘ニ過ギズ。

都市。

姫路市ハ、播磨ノ南部中央ニ在リテ市川ニ臨ム、人口凡二萬七千、中國街道ノ一大要區ニシテ、商賈盛ンニ、古來革細工ヲ以テ名アリ。山陽鐵道、攝津神戸ニ起リテ本市ヲ過ギ、西ノ方岡山ニ向フ。美作街道ハ、本市ヨリ起リ、西部ニ至リテ因幡街道ヲ分岐ス。明石ハ國ノ東南海岸ニ在リテ、兵庫ニ接近シ、人口二萬餘、姫路ニ次グノ要區ニシテ、帆木綿、絹布ヲ産ス、赤穂ハ、西南端ニ在リテ製鹽ノ業ヲ以テ著レ、龍野ハ西方ニ在リテ、醬油ヲ以テ名アリ、其ノ他ノ名邑ニハ、飾磨、津、高砂、三木、室津等アリ。美作ノ名邑ハ、津山ヲ最トス、人口一萬二千餘、美作街道姫路ヨリ來リ、是ヨリ高田ヲ經テ、伯耆ノ米子ニ達ス、高田ハ津山ノ西ニ在リ。

岡山市ハ、備前西南平野ノ中央ニ在リテ兩大川ニ臨ム、人口四万七千餘、岡山縣廳ノ所在地ニシテ、市況殷盛ナリ。山陽鐵道播磨ヨリ來リ、是ヲ過ギテ西ニ進ム。本市ハ兒

島灣ニ近ク、水陸運漕ノ便ヲ兼子タリ。備中大川ノ下流ニ方リ、東ニ倉敷アリ、西ニ玉島港アリ、西南ニ笠岡アリ、繁華ノ一港ナリ。

備後福山ハ、人口一萬五千餘、殷盛ノ一商區ナリ。西ニ尾道アリ、人口凡一萬八千、本道要港ノ一ニシテ、貨物來集ノ地ナリ。山陽鐵道ノ既成線ハ、則チ茲ニ盡ク、他日工事落成セバ正ニ赤間關ニ通ズベシ。其ノ他鞆津、三原ハ、共ニ港上ニ在リ、西北境ノ三次ハ、山間ノ一小都會ニシテ、諸川集リ、舟シテ石見ニ通ズ。

廣島市ハ、中國第一ノ大都會ニシテ、市街一里ニ連リ、人口凡九萬一千、廣島縣廳ノ所在地タリ。太田川市内ヲ貫流シ、市東海ヲ控シ、運送交通ノ便宜シク、百貨輻湊、商業富盛、練リ綿、蚊張、傘、藥籠ヲ特産トス。海上ニ宇品島ノ港アリ、其ノ西ニ嚴島アリ。元來安藝ハ山多キガ故ニ其ノ都會ハ大抵海岸地方ニ偏レリ、而シテ其ノ重ナルモノハ、竹原、吳、大竹、廣、忠海、大野等トス。吳ノ軍港ハ、倉橋、能美ノ二島ニ包マレ、南ノ方音戶瀨戶ヲ海門トナス、能美ノ北部ヲ江田島ト稱ス、茲ニハ海軍兵學校アリ。

周防ノ岩國ハ、安藝ニ接スル所ニ在リテ、多ク縮ミ布ヲ産ス、市中ニ錦帶橋ノ勝アリ、山口ハ、西長門ニ接スル部分ニ位シ、人口凡一萬五千、山岳四境ヲ圍ミ、古來要害ノ地

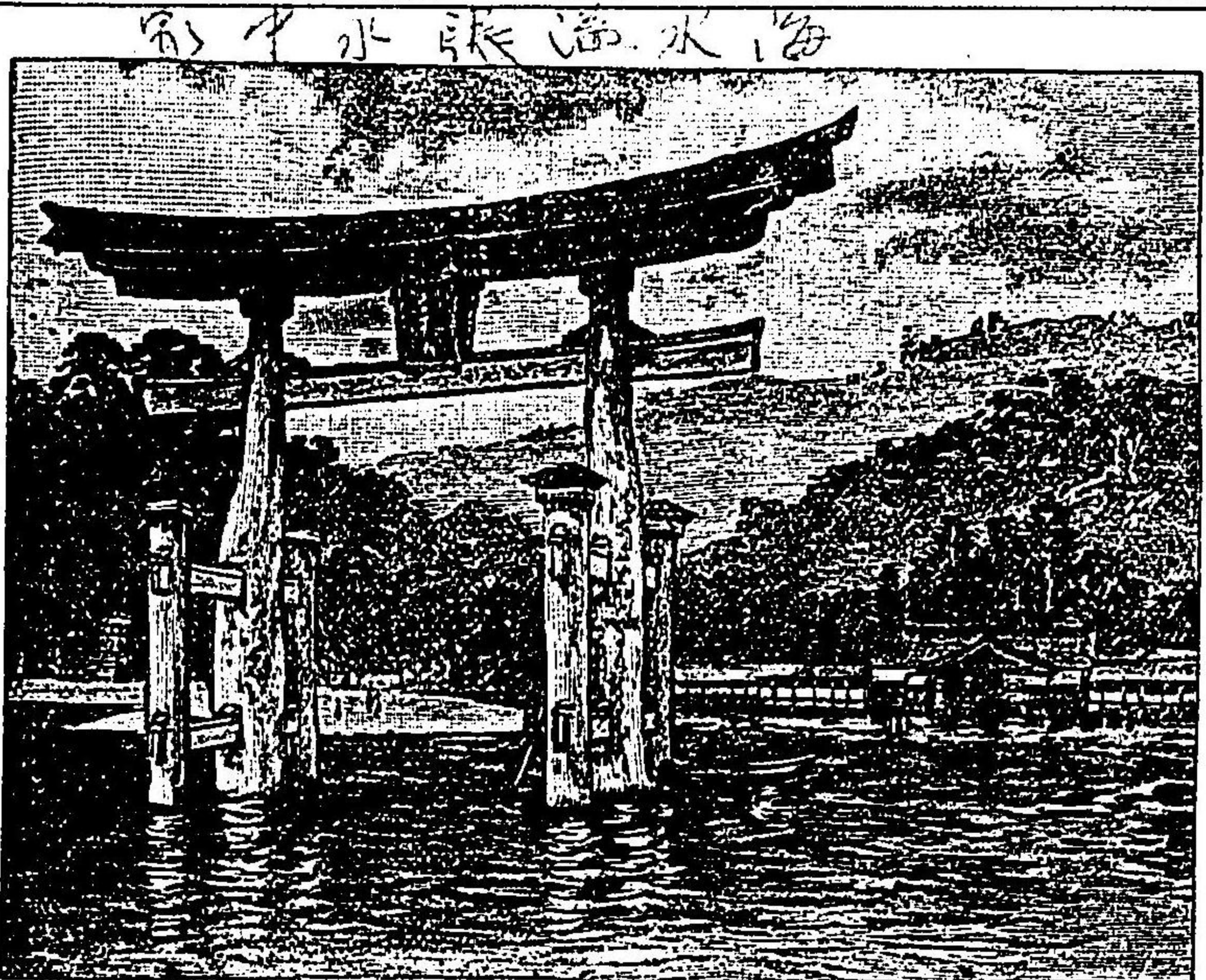
ト稱シ、山口縣廳ノ所在地タリ。山陰街道石見ノ津和野ヨリ來リ、此ノ地ヲ經テ東南ニ進ミ、宮市ニ於イテ山陽街道ニ合ス。其ノ他周防ノ都會ニハ、室積徳山(人口一萬二千餘)宮市、三田尻等アリ。三田尻(人口一萬餘)ハ當國ノ良港ニシテ、市街宮市ニ連リ、定期航海アリ。

萩ハ長門ノ北岸ニ在リテ、阿武川ニ臨ミ、人口凡二萬アリ、赤間關市ハ、國ノ西南端ニ在リテ、本邦有數ノ要港ナリ、人口凡三萬三千、東國、中國ト西海、北海ノ通路ニ當リ、船舶蟄集シ、市勢富庶ナリ。其ノ他近傍ニ、豐浦、小月等ノ小都會アリ。

勝區舊蹟。 兵庫ヨリ明石ニ連ル海岸ハ、舞子濱ト稱シ、古來有名ノ勝地タリ、老松相依リ、海波白砂ヲ洗ヒ、南ニ淡路島ヲ望ム、其ノ風景言語ニ絶セリ。是ヨリ高砂ニ至レバ、古來歌詠ニ稱ス



赤間關



ル高砂松アリ。書寫山ニハ、天台ノ巨刹アリ。其ノ西南白旗山ハ、赤松氏ノ城趾タリ。美作ニハ津山ノ西ニ院莊ト稱スル村落アリ。後醍醐天皇隱岐ニ遷幸ノ時、兒島高德櫻樹ヲ削リテ詩ヲ賦セシ舊跡ナリ。

安藝ノ嚴島ハ一ニ宮島ト云フ。北ニ向ヒテ小灣ヲ開キ、内ニ嚴島神社アリ。本邦三景ノ一ニシテ、老松奇石多ク、櫻花紅葉、時時ノ賞アリ。其ノ祠宇ハ、甚莊麗ニシテ、満潮ノ時ニハ、神殿廻廊、悉波間ニ涵サレ、奇觀言フベカラズ、乃當所ハ、天然人爲ノ兩工ヲ極メタル一仙境タリ。長門ノ海岸豊浦ト赤間關トノ間チ

壇浦ト云フ、平家没落ノ古戰場ニシテ、其ノ名史乘ニ著ル。概スルニ山陽道ノ海中ニハ、大小島嶼、波間ニ碁布シ、其ノ觀望實ニ絶佳ナリ。

溫泉ハ、凡ベテ十一所アリ、其ノ中備中ノ長府、安藝ノ川治著名ナリ。而シテ播磨、備前、備後ノ三國ニハ之ナシ。

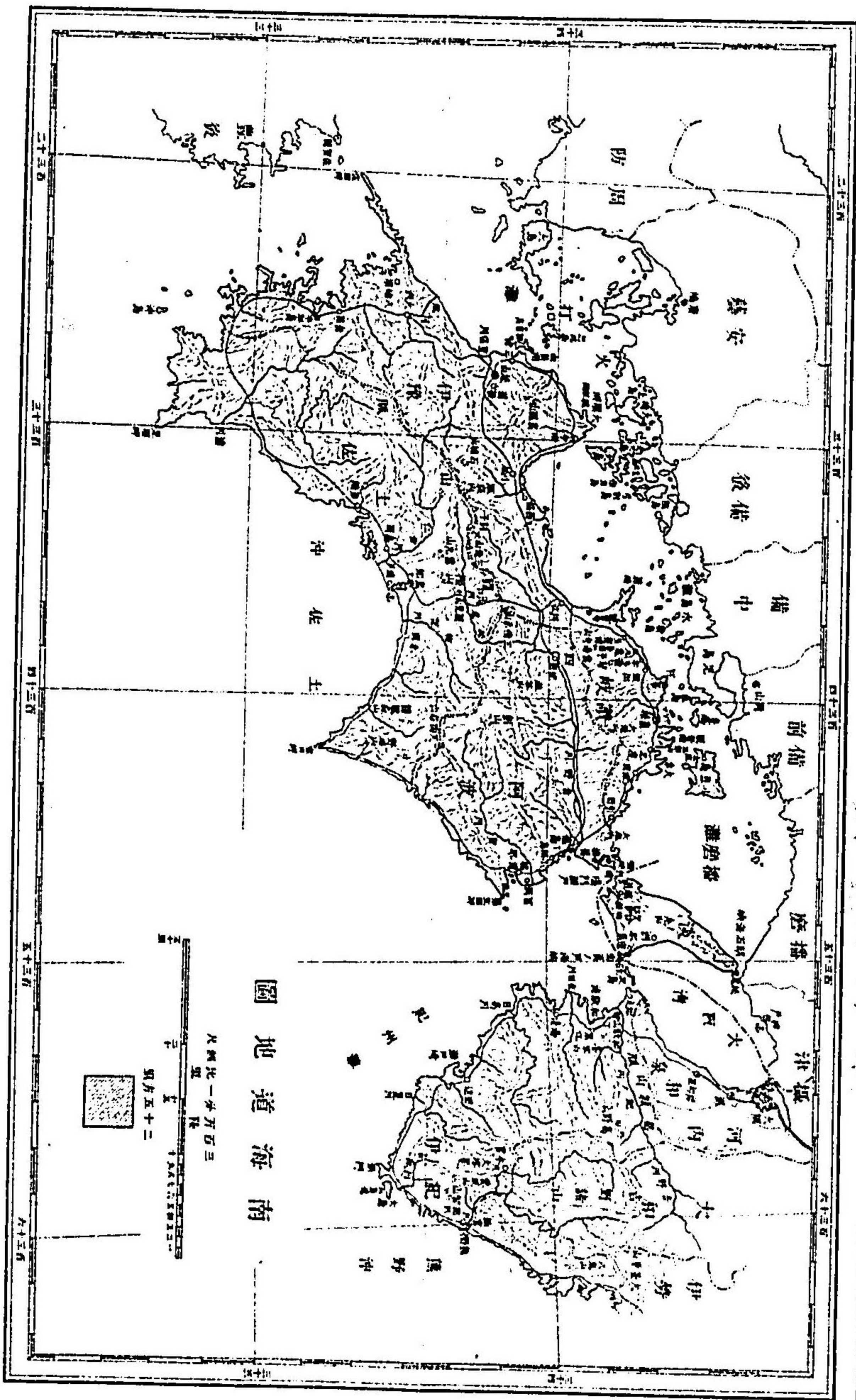
氣候。 山陽道ノ諸國ハ、殆同緯度ニ連ナル、故ニ美作ノ山地ト、長門ノ北海岸ヲ除ケバ、到ル處氣候温和ニシテ、能ク其ノ中ヲ得降雨ノ量ハ、概略少キ方ナリ、是北境ノ重嶮、北海ノ風ヲ遮リ、四國ノ山脈太平洋ノ濕氣ヲ阻障スルヲ以テナリ。東部ハ、神戸、大坂等ト大差ナシ、左ニ廣島、赤間關氣象觀測ノ結果ヲ掲グ、就キテ西部氣候ノ一斑ヲ了スベシ。

地名	温 度			濕 度	雨 量
	最 高	最 低	平 均		
廣 島	三七・二	零下 四・六	一四・六	七五	一、四六九・三
赤 間 關	三三・七	全 四・一	一四・九	七四	一、三二七・八

産物。 地味ハ、國ニヨリテ肥瘠一樣ナラズト雖、南部海岸地方ハ、概膏腴ナルヲ以

テ、普通農産物ハ各國共ニ産ス、殊ニ米ハ播磨ニ名高ク、綿ハ播磨、備前、備中、安藝、周防ニ多ク、麻、藍ハ安藝ニ、烟草ハ美作、三備及ビ安藝ニ、製茶ハ各國ニ盛ンナリ。養蠶ハ一般ニ盛大ナラズ。牧牛ハ各國ニ行ハレテ、其ノ名奥羽、諸國ノ牧馬業ニ匹敵ス。工藝品ニハ、播磨、三備、安藝、周防ノ木綿、安藝ノ麻布、蚊帳等アリ。特産ノ織リ物ヲ舉グレバ、播磨ノ明石縮ミ、高砂染メ、周防ノ岩國縮ミ、大島木綿、長門ノ鹿ノ子染メ、美作ノ雲齋織リ等皆著名ナリ。其ノ他姫路革、龍野ノ醤油、備前ノ伊部陶器、三木ノ刃物、鞆津ノ銘酒、三備ノ茵席即備後表等アリ。製紙ノ業ハ各國ニ盛ナリ。鑛産ニテハ、銀ハ播磨ニ、銅ハ備中ニ、鐵ハ備後備中、安藝ニ産ス。其ノ他長門ノ石炭、備前ノ蠟石、赤間關ノ硯石等著名ナルモノトス。

瀬戸内海ハ、降雨ノ量少ナキガ故ニ、海水頗鹽分ニ富ミ、沿海各國ハ、四國ノ對岸地方ト共ニ製鹽ニ從事シ、就中赤穂、三田尻最著名ナリ。水産物ハ、鰯、鯛、鰩、章魚、烏賊等諸國ニ多ク、特ニ名高キハ、播磨ノ鰯、廣島ノ牡蠣、長門ノ鮫、饅ナリ。



第十章 南海道。

總叙。南海道ハ、畿内ノ南部ニ位スル紀伊ノ一國ト、淡路島ト、四國トヲ以テ成ル。紀伊ハ、三面海ヲ受ケタル彎曲セル國ナリ、淡路ハ大坂灣ノ口ヲ扼シ、又明石ノ瀬戸ヲ隔テ播磨ニ對シ、鳴戸ノ瀬戸ヲ隔テ四國ト對ス。四國ハ瀬戸内海ヲ隔テ、北ノ方山陽道ニ對シ、東ノ方紀伊ト紀伊海峽ヲ挾ミ、西九州ト速吸海峽ヲ隔テ、南ハ太平洋ニ面セリ。本道ノ面積ハ凡一千五百六十二方里、人口ハ三百六十萬二千七百六十八ニシテ、一方里正ニ二千三百〇七人ニ當ル。而シテ淡路ハ、特ニ一方里ノ人口五千八百八十四人タリ。全道六國、五市、五十九郡アリ、三重、和歌山、兵庫、徳島、香川、愛媛、高知ノ七縣之ヲ分治ス。五市ハ、和歌山、徳島、高松、松山、高知ナリ。

海岸、港灣。紀伊ノ海岸ハ、延長凡一百里ニ達シ、小出入多キヲ以テ、港津少カラザレドモ、内地山多クシテ陸運ノ便ナキガ故ニ、要港甚少ク、而シテ海岸ニ斷崖多シ此ノ國ノ東ノ海ヲ熊野沖ト稱ス、一旦風起レバ波浪荒ク、航海ノ難所タリ。南端ニ潮岬突出シ、盡頭ニ燈臺ヲ設ク、是ヨリ西ノ海ヲ紀州灘ト呼ブ。西海岸ニテ著名ノ岬角

ヲ瀬戸崎、比井岬ノ二ツトス。西北海岸ニ一淺灣ヲ開ク、和歌浦ト云フ、勝區トシテ名アリ。淡路ハ北岬ヲ松尾崎ト云フ、東岬ハ生石崎ト云ヒテ、紀伊ノ友島ト相對シ、大坂灣ノ海門ヲナス。門崎ハ西ニ在リテ、阿波ノ彌崎ト鳴戸ノ瀬戸ヲ夾ム距離僅ニ十五町、此ノ間潮流急ニシテ暗礁ニ激シ、渦旋ノ狀ヲナシ、舟行頗危険ナリ。

四國ハ、極東ノ岬ヲ蒲生田岬ト云フ、近傍ニ暗礁多シ。南海岸ニ東西ノ二大岬アリ、東ヲ室戸岬ト云ヒ、西ヲ蹉陀岬(一名足摺岬)ト云フ、兩岬ノ間即半圓形ノ一大灣ヲナス、所謂土佐灣是ナリ。此ノ邊往古ハ陸地ナリシガ、天武天皇ノ世、地震ノ爲ニ陷没シテ灣形ヲナセリ、故ニ其ノ水深カラズト云フ。四國極西ノ遠ク海中ニ延出セル地ヲ佐田岬ト云フ、長サ九里、豊後ノ地藏崎ト相對ス。其ノ他長短ノ岬角、西海岸ニ多シ。北海岸ノ瀬戸内海ニ瀕スル所ハ、屈折多シ、讃岐ノ箱崎ト伊豫ノ梶取崎ト海中ニ突出シテ、其ノ間又一大灣ヲナス。要スルニ四國ノ南海即土佐ノ沖ハ、熊野沖、紀州灘ト同シク、風荒ク浪穩カナラズ、然レドモ、北ノ海平穩ニシテ、舟泊ノ地ニ乏シカラズ。

港津ノ重ナルモノヲ舉グレバ、紀伊ノ潮崎ノ東ナル大島ニ大島港アリ、南北ニ二口ヲ開ク、此ノ際ヲ過グル船舶ニハ必要ノ港ナリ。西岸瀬戸崎ニ包マレテ田邊ノ一港

アリ、和歌浦ノ北ニ加太港アリ、水深カラズト雖和歌山市ニ近キヲ以テ、定期航海アリ。淡路ノ由良港ハ、加太港ニ渡ル要津タリ。四國ニハ阿波ノ東北岸ニ撫養港アリ、讃岐ノ東北ニ志度港アリ、西北岸ニ接シテ九龜、多度津ノ二港アリ、内海航行ノ船ノ寄ル所ニシテ、其ノ出入繁シ。伊豫ノ西南ニ宇和島港アリ、小島其ノ口ニ當リ、港内浪穩ニシテ碇繫ニ宜シ。西北岸ノ三津港ハ、水淺ケレドモ松山ニ近キヲ以テ、一ノ要港タルヲ失ハズ。土佐灣内ニハ、須崎、浦戸ノ二港アリ、浦戸ハ高知ニ入ル要津タリ。

島嶼。 本道ニモ亦屬島極メテ多シ、紀伊ノ大島ハ、周回四里半アリ、二ツノ友島ハ淡路ト紀伊トノ間ニ在リ。小豆島ハ讃岐ノ北ニ在リ、本道屬島ノ最大イナルモノニシテ、東西四里餘、南北三里餘、周回凡三十一里、其ノ西ニ豊島、眞島アリ、多度津ノ沖ニ廣島以下數多ノ島嶼アリ。伊豫ノ屬島中最大イナルモノハ、大三島ニシテ、周回凡十五里、之ニ次グモノハ大島ニシテ、周回凡十一里半、二島ノ傍ニ、伯方島、弓削島、岩城島等アリ。西北ニテ大イナルモノニハ、忽那島アリ。三津ノ沖ニハ興居島アリ、其ノ西南海中ニモ大小ノ島嶼甚布星列ス。土佐ノ西南諸島中ニテハ、其ノ最大イナルモノヲ沖島トス。

地勢、山岳。 紀伊ハ有名ナル山地ニシテ、地勢大和ノ南部ニ接シ、殊ニ田邊ヨリ東ノ部分ハ、熊野諸山重疊トシテ、吉野諸山ニ連リ、人跡ノ絶エタル所少カラズ。此ノ間大河アレドモ、急湍ニシテ僅ニ筏ヲ通ジ、舟楫ノ利ニ乏シ、而シテ西北ノ一部ハ地勢平カニシテ、全土膏腴ナリ。淡路ハ、地勢北ニ迫リテ南ニ廣ク、長流ナシト雖、土地肥沃ナリ。四國ハ、山脈東西ヲ縦斷シ、其ノ餘波ニ横走スルモノアリ、而シテ河流ニ一定ノ方向ナク、吉野川沿岸下流、地ニ沃野アリ、土佐高知ノ近傍ニモ亦平地アリ。其ノ他伊豫ノ北部及ビ讃岐ニハ、海濱所所ニ小平地アリ、此等諸部ハ何レモ都會ノ在所ナリ。

山岳ノ重要ナルモノヲ舉グレバ、紀伊ノ中央ニ大塔峯聳エ、山根崎嶇トシテ、攀登甚艱ム。大塔峯ノ東南ニ那知山アリ、兩山ノ間ニ雲取山(三千三百三十尺)アリ、東北ニ八鬼山アリ、高野山ハ國ノ西北ニ在リ、高サ二千六百三十尺、巒峯四面ヲ圍ミ山上ニ平原アリ、周圍三里ニ達ス、其ノ西ニ名草山アリ。

四國ニテハ、阿波ノ南部ニ劔山六千百十二尺、高ク峙チ、其ノ脈四方ニ分布ス、西北ニ祖谷山アリ、土佐、伊豫ノ境ニ三傍示山アリ、讃岐ノ北部ニ象頭山アリ、北ニ五劔山ア

リ、巖山頂ニ峙ツ。阿波ノ境ニ大瀧山、雲邊寺山アリ、伊豫ノ石鎚山ハ、國ノ中央部ニ在リ。四國第一ノ高山ニシテ、高サ六千二百七十二尺アリ、其ノ北部ニハ高繩山アリ、南境ニハ三瀧山、別子山(五千六百二十尺)、瓶森山等相連ナル。土佐ハ中央部ニ國見山、檜山(三千四百四十六尺)、雪光山等聳立シ、南部ニ天狗森山、鐘龍森山、野根山等アリ、其ノ西部モ山峯相重レドモ、卓秀ノモノヲ見ズ。淡路ニハ高山ナシ、南方ノ柏原山(一千八百八十四尺)、中央ノ先山(一千五百二十八尺)ハ、國ノ面積ニ比シテハ、高山ト稱スベキカ。

水理。 紀伊ノ紀川ハ、即吉野川ノ下流ニシテ、國ノ西北境ニ接シ、西流シテ海ニ注グ、流程四十七里、舟ノ入ルコト三十餘里、以テ大和ニ通ジ、水運ノ便大イナリ、加之沿岸ノ地平行ニシテ、灌溉ノ利ヲ受クルコト少カラズ。紀川ニ次ギテ大イナルモノハ熊野川ナリ、其ノ上流ハ即大和ノ十津川ニシテ、北山川ヲ併セ、紀伊ニ入り、東海ニ注グ、全長三十五里、流勢迅急、僅ニ筏ヲ通ズルノミ。以上兩川ノ間ノ大川ハ日高川ニシテ、大和ノ國境ヨリ發ス、亦舟筏ヲ通ズ、長サ三十一里、其ノ他ニ有田川、日置川、古座川等アリ。

吉野川ハ、四國第一ノ長流ニシテ、四國三郎ト稱ス、源ヲ土佐北境ノ溪谷ヨリ發シ、東流シテ阿波ニ入り、更ニ北ニ折レ、伊豫ノ松尾川ヲ受ケテ、再東流シ、阿波ノ北部ヲ貫キテ海ニ注グ。此ノ水蜿蜒平野ノ間ヲ流レ、全長四十一里餘、舟三十餘里ニ來往シ、灌溉ノ利頗廣ク、而シテ其ノ下流ハ德島ノ北ニテ數派ニ分ル。那賀川ハ長サ二十八里餘、劔山ヨリ發シ、阿波ノ南部山間ノ地ヲ貫流シテ海ニ入ル、河口ノ邊地平坦ニシテ運漕灌溉ノ便アリ、讚岐ニハ記スベキノ長流ナシ、伊豫ニハ西ニ肱川アリ、西北ニ重信川アリ、土佐ノ仁淀川ハ、伊豫ヨリ發シ、國ノ中央部ヲ貫キ、南流シテ海ニ入ル、全長二十六里、舟運ノ利アリ、西南ノ渡川ハ、長サ凡二十五里、其ノ大概ハ舟ヲ通ズ、國內ノ大流ナリ、東部ニハ物部以下ノ小流アリ。

本道ノ湖沼ハ皆極メテ小ニシテ、周回一二里ヲ出デズ。

都市。

和歌山市ハ、人口凡五萬六千、和歌山縣廳ノ所在地ニシテ、紀川其ノ北ヲ流レ、市街ニハ溝渠ヲ通ジ、川口ニハ舟泊ノ便アリ、漕運自在、四邊田畠開ケ、商業隆盛ナリ、漆器、綿布、ふらんねるヲ特産トス。和歌山街道ハ、本市ヨリ出デ、和泉ニ入り大坂ニ達ス。其ノ他ノ都會ニハ、湯淺、田邊、新宮等アリ、皆海ニ臨メル小都會ナリ、湯淺ノ近傍

ハ有名ナル紀州蜜柑ノ產地ナリ、新宮ヨリ東北ハ、奥熊野ト稱シ、山路險惡、平夷ノ地ナク、從ヒテ都會ト云フベキモノナシ。淡路ノ都會ニハ、洲本、由良、福良アリ、皆海邊ニ在リテ舟泊ノ地ナリ。就中洲本ハ最盛ニシテ、織リ物ヲ産ス。

德島市ハ、阿波ノ東北海岸吉野川ノ口ニ在リ、人口凡六萬、四國第一ノ大都會ニシテ、德島縣廳ノ所在地タリ、街衢繁庶、溝渠其ノ中ニ通ジ、商帆港内ニ輻湊シ、海邊ニ鹽田多シ。四國街道ハ、是ヨリ起リ、海岸ニ沿ヒテ土佐ニ入ル、撫養ハ鳴門海峡ニ近ク、人口一萬八千餘、淡路ニ至ルノ津頭ニシテ、繁華ノ一都會ナリ。德島ノ南ニ小松島、人口凡一萬三千、富岡アリ、西北ニ池田アリ。

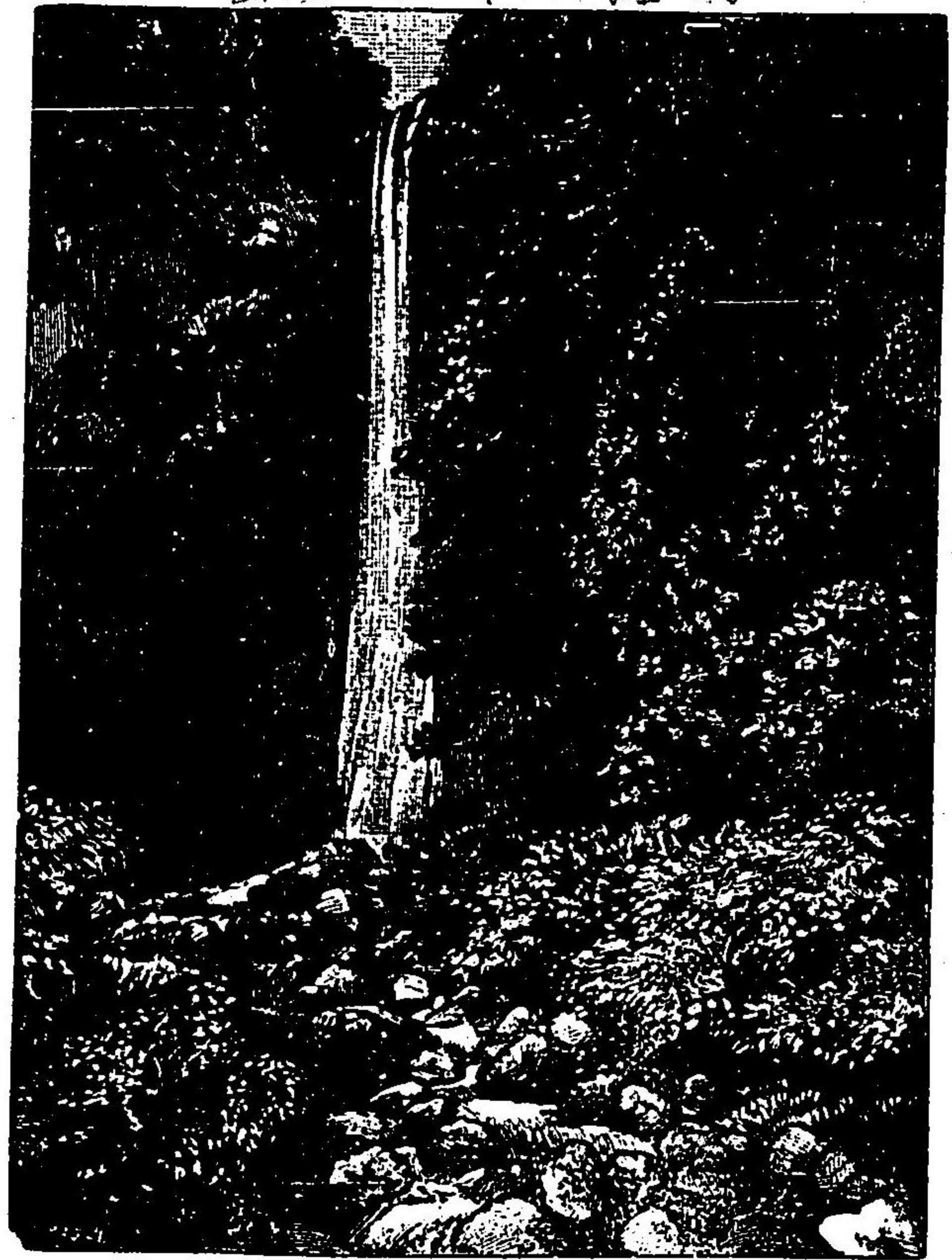
高松市ハ、讚岐ノ北岸ニ在リ、人口凡三萬五千、香川縣廳ノ所在地ニシテ、内海通航ノ船舶多ク、寄泊シ、商賈ノ往來繁ク、市勢殷盛ナリ。丸龜ハ、高松市ノ西海岸ニ位シ、人口凡二萬、近傍ニ坂出、宇多津、多度津等ノ市街アリ。丸龜ヨリ象頭山ノ麓ニ至ルマデ鐵道ヲ架シテ、琴平神社ノ參拜者ニ便ス。其ノ他東ニ志度、津田、引田、西ニ觀音寺ノ諸邑アリ。觀音寺ハ丸龜ニ次グ都會ニシテ、近傍ニ木綿ヲ産ス、引田ハ製糖ヲ以テ名高ク、志度ハ碇泊ノ地ナリ。伊豫街道ハ高松ヨリ丸龜ヲ經テ西南伊豫ニ入ル。

松山市ハ、伊豫ノ西部ニ在リ、人口凡三萬五千、愛媛縣廳ノ所在地ニシテ、商賈繁盛ノ要區ナリ、是ヨリ鐵道ヲ以テ三津港ニ通ズ。三津ニ對スル島上ニ由良港アリ。東北海岸ニ沿ヒテ今治、小松、西條、川ノ江等アリ、其ノ中今治最盛ニシテ、人口凡一萬四千、舟泊ノ地ナリ。西南海岸ノ宇和島ハ、人口一萬二千餘、ノ良港ニシテ、巨舶ヲ繫クニ宜シ、其ノ北ニ吉田、大洲ノ小都會アリ。讚岐街道ハ、松山ヨリ發シテ東ニ向ヒ、土佐街道ハ、川江ヨリ分レテ高知ニ向フ。

高知市ハ、土佐ノ中央海岸ニ在リ、人口三萬三千餘、高知縣廳ノ所在地ニシテ、海水深ク灣入シ、水陸ノ便ヲ得。其ノ他ハ東ニ赤岡アリ、西ニ高岡、須崎、中村アリ、北ニ川口アリ、皆小都會ナリ。

勝區、舊蹟。 和歌浦ハ一名明光浦ト云フ、和歌山市南ノ小灣ニシテ、沙洲海中ニ出テ、水淺ク、蘆葦生ジ、名草山其ノ北ニ峙チ、山水ノ風光甚佳シ。高野山ニハ、弘法大師ノ開基ニ係ル金剛峯寺アリ、寺院七百餘、支院四百餘、有名ナル眞言宗ノ古刹ナリ。熊野神社ハ熊野川ノ上流本宮ニ在リ、那智山中ニハ有名ナル那智龍アリ、高サ八十餘丈、本邦第一ノ瀑布ニシテ、熊野沖ヨリ遙カニ之ヲ望ムベシ。熊野川ノ下流ニ新宮ノ

熊野川ノ入江



瀬戸モ亦渦狀ヲナス、故ニ之ヲ小鳴門ト云フ。此ノ邊觀望甚雄壯ナリ。阿波ノ東南隅ナル板野郡中ニ、土御門天皇崩御ノ地アリ、天皇ハ承久ノ亂ニ土佐ニ遷サレ、後此ノ

日本地理 南海道

都會アリ、本宮、新宮、及
 ビ那智社ヲ併セテ、熊
 野三社ト稱ス。淡路ニ
 ハ淳仁天皇遷幸ノ宮
 趾アリ。

那智ノ阿波ノ鳴門ハ、内海ト
 ノ外洋トノ潮水互ニ交
 流スル處ナリ、其ノ水
 島嶼暗礁ニ激シテ大
 盤渦ヲナシ、響キ雷聲
 ニ似タリ、名ノ因リテ
 起ル所以ナリ。撫養ノ

地ニ遷幸アリテ崩御セラレキ。
 源平ノ古戰場タル屋島ハ、五劍山ノ西ニ在リ、安徳天皇ノ宮趾今尙存セリ。崇徳天皇ノ陵ハ、國ノ中央部白峯ニ在リ。象頭山腹ニ琴平神社アリ。所謂讃岐ノ金比羅ニシテ參詣者夥シ。

温泉ハ、紀伊、伊豫、土佐ニ多ク、全道通ジテ十六所アリ、中ニ就キテ紀伊ノ新宮及ヒ本宮ノ湯ハ、全國ニ其ノ名高ク、外ニ和倉、田邊、大世知等ノ諸湯アリ。伊豫松山ノ近傍ニ道後湯アリ、浴客遠ク中國、九州ヨリ來ル。土佐ノ湯川尾モ亦著名ノ湯ナリ。

氣候。

本道ノ氣候ハ、概温暖ニシテ、山陽道ノ氣候ト大差ナシト雖、其ノ南部海岸地方ハ、黒潮ノ作用ヲ受クルガ爲ニ、温暖北部ニ勝リ、加フルニ太平洋海岸ノ濕風ヲ受クルヲ以テ、土佐、紀伊ノ南岸地方ハ、本邦中多雨ノ部ナリ。而シテ讃岐、伊豫ノ二國ハ、降雨少キコト山陽道諸國ニ似タリ、是四國ノ東西山脈、濕風ヲ遮斷スルヲ以テナリ。

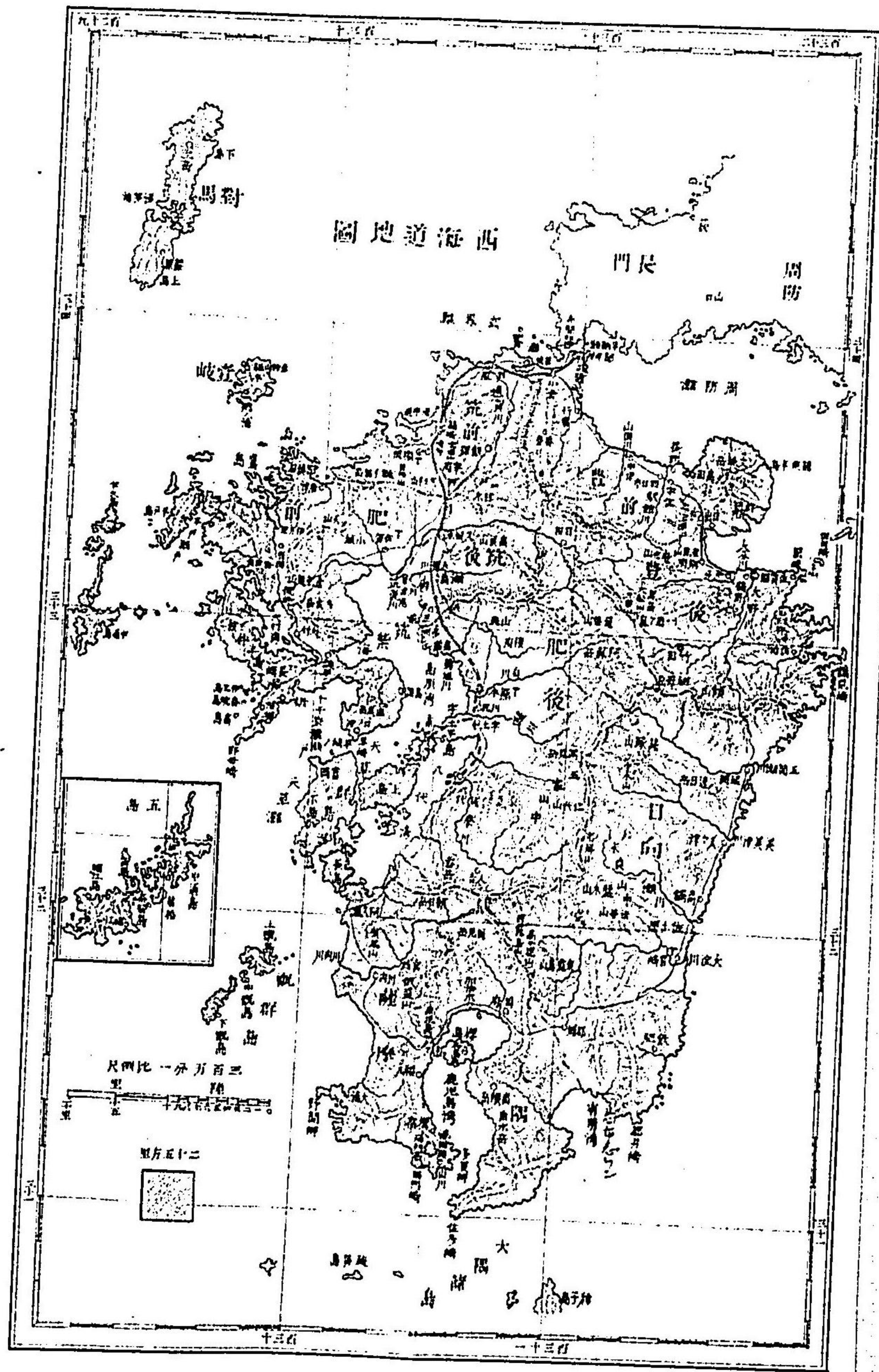
地名	温度			湿度		雨量	雪
	最高	最低	平均	平均	總量(耗)		
高知	三五・九	零下 六・五	一五・四	七四	二、六八五・五		

和歌山	三五・一	全	三・一	一五・〇	七一	一、八四四・三
松山	三三・五	全	七・〇	一四・五	七七	一、一四〇・八

産物。

土質ハ各國概肥沃ニシテ、能ク普通農産物ヲ生産ス、然レドモ米田少ク麥隴多シ。伊豫、土佐ハ多ク甘藷、玉蜀黍ヲ作り、紀伊、伊豫ハ綿ヲ出シ、阿波ハ煙草ヲ出ス。而シテ又藍ハ阿波ヲ以テ本邦第一トシ、殆全國製藍ノ三分一ヲ占ム。砂糖ノ産額ハ讃岐ヲ最トシ、阿波、伊豫、土佐之ニ次グ、而シテ養蠶ノ業ハ各國共ニ盛大ナラズ。馬ハ土佐ニ名高ク、牛ハ各國畜養シ、木材ハ多ク熊野山中ヨリ出シ、薪炭ハ阿波、土佐ヨリ出ス、其ノ外紀伊ノ蜜柑ハ全國ニ知ラレタリ。

工藝品ニハ、紀伊、淡路、阿波、伊豫ノ木綿織リ、紀伊ノ綿ふらんねる、紋羽、阿波ノ縮ミ、飛白、伊豫ノ松山飛白等著名ナリ。土佐ハ半紙ノ産類、全國中第一位ヲ占ム、阿波、伊豫亦製紙ヲ以テ知ラル。即西條ノ奉書紙、大洲ノ半紙、宇和島ノ泉貨紙ハ、其ノ名著レタルモノトス。其ノ他紀伊ノ黒江塗リ、伊豫ノ生蠟、淡路ノ伊賀燒キ等、産出頗多シ。礦産ハ、伊豫ヨリ銅、あんちもんヲ出ス、殊ニ其ノ別子銅山ハ、採礦頗盛ナリ。紀伊小豆島ハ、共ニ多ク石炭ヲ出ス、而シテ那智ヨリハ黒石ト云ヘル石材ヲ出ス。



製鹽ノ業ハ、山陽諸國ト同ジク、北部ニ盛大ナリ、阿波讃岐、伊豫ノ海岸ハ、鹽田極メテ多ク、阿波ノ齋田鹽、其ノ名尤高シ。水産ニテ有名ナルハ、土佐ノ鰹節、伊豫ノ鰯、紀伊ノ鰯、熊野沖及ビ土佐沖ノ鯨、紀伊ノ石花菜等ナリ。土佐ノ海ハ又珊瑚、眞珠ヲ産ス。

第十一章 西海道。

總叙。 本道ハ九州及ビ其ノ屬島ト琉球諸島トヲ以テ成ル。即本邦西南ノ大島ニシテ、東西三十五里、南北七十六里、琉球諸島ヲ除ケバ、本道ノ面積凡二千六百十八方里、人口五百七十九萬二千四百五十九ニシテ、一方里二千二百十三人ニ當ル。全道十二國、六市、一百十三郡アリ、福岡、大分、佐賀、長崎、熊本、宮崎、鹿兒島、沖繩ノ八縣之ヲ分轄ス。但シ沖繩ニハ未自治制ヲ布カズ、又郡ヲ設ケズ、間切ヲ以テ區分ス、故ニ市郡ハ十一國ニ止ルモノト知ルベシ。其ノ六市ハ、福岡、久留米、長崎、佐賀、熊本、鹿兒島ナリ。

海岸、港灣。 九州ノ海岸ハ、出入極メテ多端ナリ、殊ニ其ノ西海岸ハ、大小ノ岬角海灣相接續シ、肥前ノ一國自一大半島ヲナス、而シテ屈曲最少キハ、日向ノ海岸ナリ。半島海灣ノ重ナルモノヲ記スレバ、肥前ノ西南ニ彼杵半島アリ、西北ニ衍出シテ大村灣ヲ抱ク、東南ニ島原半島アリ、其ノ北ヲ筑紫海ト云フ、東ニ島原灣アリ、西ニ千岩灘アリ、肥後ノ西中央部ヨリハ、宇土半島海中ニ突出シテ、西南ノ天草群島ト共ニ八代灣ヲナス、天草群島ノ西ハ即天草灘ナリ。薩摩、大隅ノ南部ハ、共ニ二大半島ヲナ

シ、其ノ間ニ鹿兒島灣ヲ受ク。日向ノ極南モ、地勢稍退キテ有明灣ヲ抱ク。又豊後ノ北東部ハ、周防灘ニ斗出シテ、國東半島ヲナス。筑前ノ北ニハ、東ニ響灘アリ、西ニ玄海灘アリ、共ニ風浪稍荒シ。

豊後ハ、東ニ關崎アリ、伊豫ノ佐田崎ト相對シ、舟行急險ノ所タリ、南ニ鶴見崎アリ、伊豫ノ極南端ト對シテ、共ニ豊豫海峽ノ口ヲ要ス。豊前ノ門司崎ハ、早鞆瀬戸ノ口ヲ擁シ、東ニ部崎アリ、岬頭燈臺ヲ設ク。日向ノ極南ナル都井崎ハ、至岬巖ナリ、大隅ノ佐多岬ハ、九州ノ極南ニシテ斷崖創立、近傍ニ暗礁多ク、且潮流迅急ナリ、岬端ニ燈臺ヲ設ク。薩摩ノ南ニ海門崎(一ニ開聞崎ニ作ル)アリ、其ノ東ニ多良崎アリ、大隅ト相對シテ鹿兒島灣ノ口ヲ擁ス、西南ニ野間岬アリ。島原半島ノ南岬早崎ハ、肥後ノ極南岬野母崎ト對シテ千岩灘ヲ扼ス、早崎ト天草下島トノ間ヲ早崎ノ瀬戸ト云フ、潮流急ニシテ、舟ヲ行ルコト難シ。

九州第一ノ良港ハ、長崎ニシテ、肥前ノ南ニ在リ、港口西ニ向ヒ、香燒島、蔭尾島、伊王島等其ノ口ニ横リテ風浪ヲ防グ、故ニ港内波平カニ水深クシテ、大艦巨舶ノ碇繫ニ適シ、本邦良港中稀ニ其ノ儔ヲ見ル、朝鮮ノ諸港及ビ浦鹽斯德、香港、上海其ノ他西土ニ

通航スル船舶寄港セザルナシ。其ノ北一山ヲ踰エテ佐世保港アリ、近年軍港ニ定メラレ。又國ノ北部、更ニ唐津、名護屋アリ。筑前ノ博多モ亦著名ノ港ニシテ、其ノ西南岸ニ位シ、志賀ノ小半島東ヨリ西ニ伸出シテ、其ノ口ヲ扼ス、港内ニ殘島アリ。豊前ノ門司關ハ、赤間關ト相對ス、其ノ西南ニ小倉港アリ。其ノ他西南海著名ノ港泊ニハ鹿兒島港、島原港アリ、共ニ浪穩ニシテ船ノ碇繫ニ宜シ、而シテ鹿兒島ハ琉球へ渡ル要津タリ、筑後ハ筑後河口ニ若津港アリ、肥後ハ宇土半島ノ端ニ三角港アリ、東岸ニハ佐賀關以下數港アリ、對馬ニハ嚴原港アリ。

島嶼。 壹岐ハ、肥前ノ海岸ヲ距ル北方凡七里ニ在リ、土地膏腴ニシテ人口密殖シ、環海魚族ニ富ム。對馬ハ、壹岐ノ西北十二里餘ニ在リ、島ノ中間ヲ橫斷シテ、上下ノ二大島ニ分ツ、小峯相重接シテ土地薄瘠ナリ。

以上二島ノ外ニ、九州ノ屬島極メテ多シ。肥前ノ西北海ニ、平戸瀬戸ヲ隔テテ平戸島アリ、東西二里南北八里、周回四十三里アリ、其ノ西南ニ五島アリ、福江、久賀、奈留、若松、中通、宇久及ビ其ノ他ノ小島ヲ總稱ス、福江ハ周回六十里餘、中通ハ六十二里餘、其ノ他ハ九里乃至十七里餘トス。又大村灣口ニ針尾島アリ、肥後ノ西南ニハ天草島アリ、

上下二大島ト數多ノ小島トヲ稱ス、上島ハ周回三十七里、下島ハ周回七十餘里、下島ノ南ニ長島アリ、周回二十二里アリ、薩摩ノ西ニ甌島アリ、上甌、中甌、下甌ノ三島ヲ稱ス、上甌周回十七里、中甌周回四里餘、下甌周回二十里、地味概薄鹵、住民漁業ヲ事トス、鹿兒島灣内ニ櫻島アリ、周回十里、大根ノ名産アリ、大隅ノ南ニ大隅諸島アリ、種子(周回凡三十八里)屋久ノ二大島ト稱ス、以下ノ小島トヲ總稱ス、種子島ハ、大隅ノ佐多崎ヲ東南ニ距ルコト十里許トス、大隅諸島ノ南ニ大島群島アリ、大島最大イニシテ、薩摩ノ海門崎ヲ去ル西南七十八里ニ在リ、其ノ外ニ德島、鬼界島等アリ、此ノ群島ハ琉球群島ニ接通スルヲ以テ、居民ノ風俗頗相似タルモノアリ、其ノ他九州ノ周回ニハ大小ノ島嶼極メテ多シ。

地勢、山岳。

九州モ亦山多ク、平地少シ、然レドモ筑後川下流ノ地即筑後一國及ビ肥前ノ佐賀地方ニ亘リテ、九州第一ノ平野アリ、之ニ次ギテハ、肥後ノ熊本近傍ニ平地アリ、筑前福岡ノ邊、遠賀川沿岸、豊前ノ海岸、豊後大分川ノ下流、日向ノ海岸、高鍋宮崎ノ間等ニハ小平地アリ、其ノ他ノ部分ハ、山岳重疊、丘陵起伏シテ、深山幽谷多シ、山岳ノ著名ナルモノヲ舉グレバ、筑前ノ中央太宰府ノ北ニ寶滿山アリ、高サ二千尺

ニ超ユ、肥前ノ國界ニ脊振山、獅子舞岳アリ、筑後ノ東境ニ御前山アリテ、豊前ニ跨リ、其ノ脈南北ニ連ル、又筑後ノ中央部ヨリ北ニ退キテ高良山(一千二百尺)アリ、連山其ノ東ニ亘ル、豊前ノ西南隅ニハ英彦山(三千三百六十六尺)アリ、一ニ彦山ト云フ、其ノ脈ノ南走スルモノ、豊後、筑後ノ二國ニ亘ル、豊後ノ西部、肥後ノ境ニ迫リテ黒岳(六千七百尺)アリ、其ノ脈大船(二千七百尺)九重、扇鼻ノ諸山トナル、扇鼻四千六百二十尺、殊ニ高シ、豊後ノ西南、日向ノ境上ニ祖母嶽アリ、高サ五千六百六十六尺、其ノ脈東西ニ走ル、豊後ノ北部大分灣ノ西岸ニ鶴見山アリ、高サ五千尺、火山質ニ屬ス、其ノ脈中ニ由布山ト云ヘル活火山アリ。

肥前ノ南部大村灣ノ東ニ多良嶽アリ、又火山脈ニ屬ス、其ノ北ニ虚空藏山(二千三百十尺)峙立シ、其ノ脈東北ニ及ビテ天山(二千九百十七尺)トナル、島原半島ニハ温泉岳アリ、高サ四千九百尺餘、火山質ニシテ、蘆ニ温泉多シ、肥後ノ東境ニハ、高峯連亘ス、東北隅ニ涌蓋山アリ、高サ四千八百五十尺、南ノ方阿蘇山ニ連ル、東南日向ノ境ニ國見山、江代山(三千五百六十四尺)、市房山(六千三百三十八尺)、磐木山、白髭山(四千八百四十一尺)等アリ、阿蘇山ハ、肥後ノ東北部ニ在リテ、殆九州ノ中央部ニ位ス、山上五高峯ヲ抽

ツ、阿蘇ノ五嶽是ナリ、中ニ就キ高岳最高ク、直立六千二百五十尺、火山質ニシテ今尙
烟リテ噴ク、山中ニ温泉瀑布多シ。

日向ハ、中央ニ法華岳(三千六百尺)北部ニ速日、諸塚、寶木ノ諸山アリ、西南大隅ノ境ニ
聳立セル霧島山ニハ、東西ノ二峯アリ、東嶽凡五千二百尺、西嶽凡五千三百尺、火山質
ニシテ時時噴烟ス、高千穂山ハ即二峯ノ間ニ在リ、大隅ニハ、高隈岳アリテ鹿兒島灣
ニ臨ム、其ノ南ニ垂水岳アリ、薩摩ノ北部ニハ紫尾山(四千七百八十五尺)アリ、東北朝
日岳ニ連リ、西方國見岳ニ亘ル。東北ノ境ニ飯盛山アリ、南端ニ海門嶽アリ、高サ三千
二十六尺、一ノ休火山タリ、櫻島嶽ハ櫻島ニ在リ、高サ三千六百三十尺、火山脈ニ屬シ
時時噴烟ス。此ノ外壹岐ニ魚釣山、對馬ニ三嶽アリ。

水理。

九州ハ、山脈其ノ中央ヲ縱斷シ、且其ノ餘脈ノ横走スルモノ少カラザルヲ
以テ、長大ノ水流ナシ、然レドモ流程十里以上ノモノハ極メテ多シ。

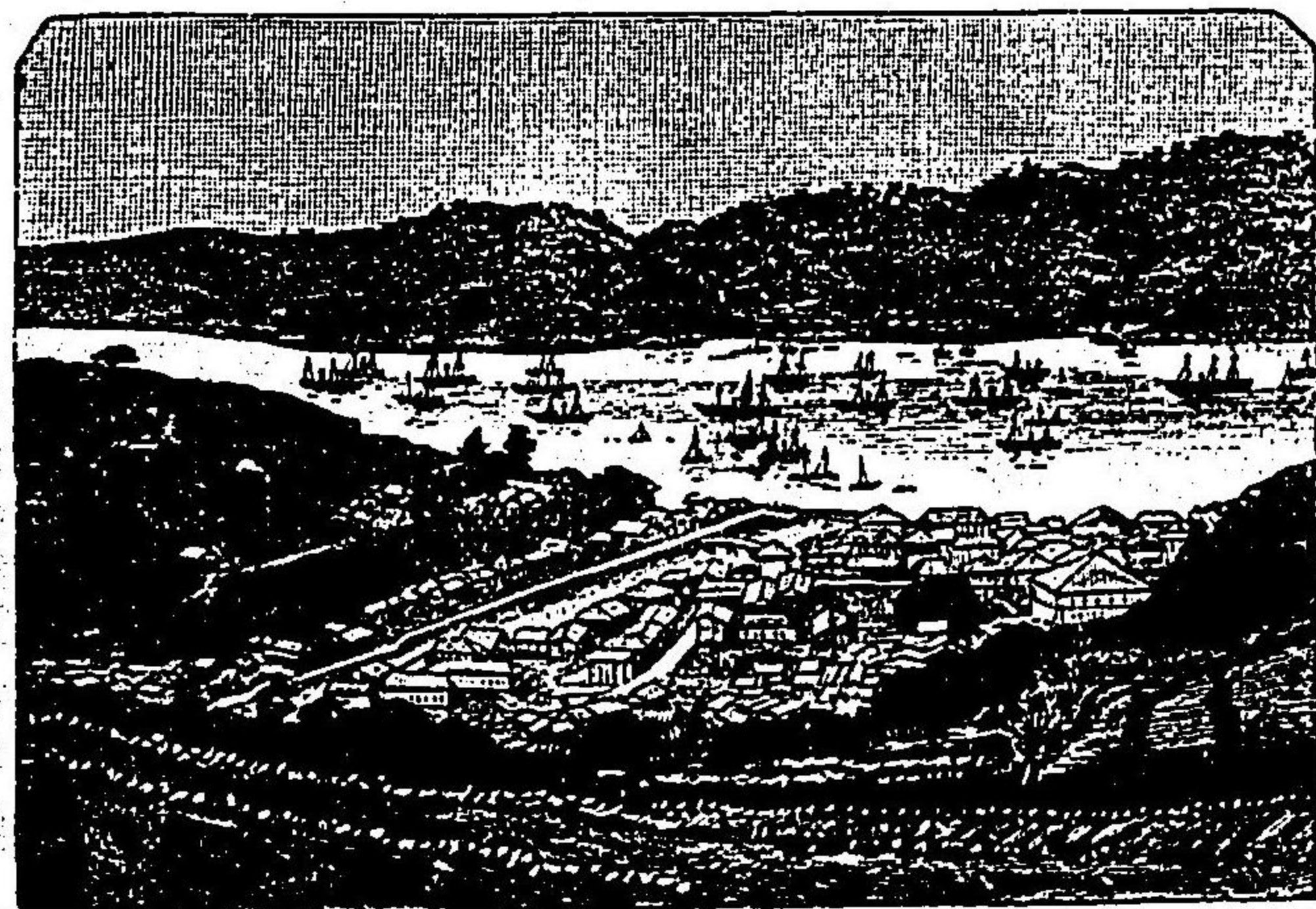
筑後川ハ、九州第一ノ大河ニシテ、筑紫二郎ト稱ス、上流ヲ千年川ト云フ、其ノ水源ニ
アリ、一ハ豊後ニ發シ、一ハ肥後ニ發ス、二川豊後ニ會シ、二筑ノ境ヲ經、久留米ヲ過ギ
肥前、筑後ノ境ヨリ海ニ注グ、長サ三十五里、舟楫二十八里ニ達ス。

筑前ノ遠賀川ハ、上流ヲ嘉麻川ト云フ、長サ十五里、舟十里ニ通ジ、灌田ノ利大イナリ。
筑後ハ筑後川ノ外、南ニ矢部川アリ、豊前ニハ長流ナシ、山國川アレドモ、長サ十三里
ニ過ギズ、豊後ノ大野川ハ、源ヲ西境ノ溪谷ヨリ發シ、長サ三十四里、灌漑ノ利極メテ
廣シ、其ノ北ニ大分川アリ、共ニ東流シテ海ニ入ル。肥前ニハ記スベキノ長流ナシ。
肥後ノ球摩川ハ、國中第一ノ大河ニシテ、其ノ南境ノ排水ヲ掌ル、長サ凡二十四里、富
士川、最上川ト共ニ本邦ノ三急流ナリ。中央部ニ緑川アリ、長サ凡二十一里、北方ニ白
川(十五里)菊池川(十九里半)アリ、菊池川沿岸ハ土地頗肥エ、本邦著名ノ米ヲ出ス。以上
ノ諸川皆通舟灌漑ノ利多シ。

日向ノ長流ハ、五箇瀬川ナリ、肥後ノ國境ヨリ發シ、北部ヲ貫キ、東ニ流レテ海ニ入ル、
長サ三十餘里、通舟八里ニ及ブ、其ノ他是ト并行シテ、美美津(二十八里)、一瀬(三十里)、大
淀(二十五里)ノ諸川アリ、大淀川ハ舟楫八里ニ及ビ、美美津川ハ五里ニ及ブ、薩摩ノ川
内川ハ、源ヲ日向ニ發シ、大隅ニ入り、眞幸川トナリ、遂ニ國ノ北部ヲ横斷シテ海ニ入
ル、全長四十六里、十六里間舟ヲ通ズ、其ノ他無數ノ小流アレドモ、記スベキ要ナシ。
本道ニハ大イナル湖沼甚少ク、周圍一里以上ノモノ十一箇、三里以上ノモノ二アリ。

池田湖ハ、周圍凡五里、薩摩ノ南ニ在リ、鴨生田沼ハ、筑前ノ北ニ在リ、周圍三里餘トス。
都會。 筑前ノ福岡ト博多トハ、共ニ福岡灣ニ望ミ、那珂川ヲ隔テテ市街連接シ、併
 セテ福岡市ト云フ、人口凡五萬五千、福岡縣廳ノ所在地ニシテ、商業旺盛、其ノ特産ニ
 博多織リアリ。九州鐵道豐前ノ門司關ニ起リ、市東ヲ過ギテ久留米及ビ熊本ニ通ズ。
 長崎街道ハ、太宰府ノ南ヨリ分レ、佐賀ヲ經テ長崎ニ達ス。太宰府ハ福岡ノ東南ノ小
 都會ナリ、往時菅原道真此ノ地ニ左遷セラレ、今ニ至リテ其ノ廟アリ。此ノ他筑前著
 名ノ都會ニハ、箱崎、蘆屋等アリ。久留米市ハ、筑後ノ中央ニ在リテ、筑後川ニ臨ム、人口
 二萬五千餘、飛白ヲ特産トシ、市況繁富ノ一都會ナリ。久留米ノ西南ニ柳川アリ、繁華
 久留米ニ次グ。
 小倉ハ、豐前ノ西北海岸ニ在リ、赤間關ヲ距ルコト、海上五里、海陸運送ノ要區ニシテ、
 人口凡一萬七千、小倉織リヲ名産トス。中津ハ、山國川ノ口ニ在リ、人口凡一萬三千、南
 部ノ都會ナリ、東南ニ四日市、宇佐ノ小都會アリ、宇佐ニハ、有名ナル八幡宮アリ。豐後
 街道ハ、小倉ヨリ中津ヲ經テ豐後ニ入ル。
 大分ハ、人口一萬一千餘、大分縣廳ノ所在地ニシテ、商業盛ンニ、鑄物、櫛細工ヲ以テ名

アリ。臼杵ハ、大分ニ次グ都會ニシテ、人口一萬餘、大分ノ東南海岸ニ在リ。其ノ他名ア
 ル都邑ハ、高田、杵築、別府、佐賀關、佐伯等ナリ。豐前
 街道ハ、大分ヨリ北ノ方中津ニ通ジ、日向街道ハ、
 南下シテ日向ノ延岡ニ及ブ。
 長崎市ハ、肥前ノ西南ニ在リテ、五港ノ一タリ、灣
 ノ長サ二里、水深クシテ三面山ヲ繞ラシ、風波ノ
 虞ナシ、慶長中ヨリ外國船寄泊ノ港トシテ、鎖國
 ノ世ニモ唯是ノミ外國互市ノ場タリ、人口六萬
 餘、長崎縣廳ノ所在地ニシテ、西海第一ノ名區タ
 リ、市内ニ鐵工所、造船所及ビ種種ノ工場アリ、又
 灣外ニ在ル高島ハ、有名ナル石炭坑アリ、長崎ノ
 東北ニ島原、諫早、大村等ノ諸都會アリ、島原ハ肥
 後ニ渡ルノ要津タリ。
 佐賀市ハ、肥前東部ノ平野ニ在リテ、四達ノ便ヲ



長崎港

極メ、人口二萬八千餘、商業繁盛ナリ。其ノ他北海岸ニ唐津、伊萬里、有田、名護屋ノ小都會アリ、是等ハ共ニ陶器ヲ以テ名アリ、有田ハ實ニ我が國第一ノ陶器場ニシテ、伊萬里ハ之ヲ販賣スル所ナリ。

熊本市ハ、肥後ノ中央ニ在リ、白川ニ臨ム、人口五萬六千餘、九州第一ノ都會ニシテ、近傍平野七八里ノ間、灌溉宜シク、米穀ニ適セリ、九州街道筑後ヨリ來リ、本市ヲ經テ薩摩ニ入ル。北方ニハ、隈府、山鹿、高瀬ノ諸都會アリ、南方ニハ、川尻、宇土、八代、西南ニハ三角、南部ニハ人吉アリ。九州鐵道全ク落成セバ、川尻ノ南ニテ分レ、一線ハ三角ニ達シ、一線ハ八代ニ達スルモノトス。球摩川上流ノ東北ニ位スル五家山中ハ、路險ニシテ容易ニ到リ難シ、人家凡百戸アリテ、平家ノ遺民ト云ヒ傳フ。

日向ノ海岸ニハ、延岡、美津、高鍋、佐土原、宮崎、伊肥ノ諸都會アリ、宮崎ハ宮崎縣廳ノ所在地タリ、南方大隅ノ境ニ接シテ都城(人口凡一万二千)アリ、是ト延岡、宮崎ノ三邑ハ稍繁華ナリ。豊後街道ハ宮崎ヨリ北ノ方海岸ニ從ヒテ豊後ニ入り、大隅街道ハ宮崎ヨリ西ニ折レ、都城ヲ經テ大隅ニ入ル。大隅ニハ繁華ノ都會ナシ、稍著ルルモノハ國府ノ一邑アルノミ。薩摩街道日向ヨリ來リ、此ノ地ヲ經テ薩摩ニ入ル。

鹿兒島市ハ、鹿兒島灣ノ西岸ニ在リ、人口五萬六千餘、鹿兒島縣廳ノ所在地ニシテ、甲付川市街ヲ貫キ、其ノ阜頭ニ船舶輻湊ス。其ノ他薩摩著名ノ都會ニハ、北ニ阿久根、宮城川内アリ、南ニ福元、大浦、揖宿、山川アリ。壹岐ノ都會ハ、北ニ勝本アリ、南ニ郷浦アリ、共ニ人口數千ニ過ギザル小都會ナリ。對馬ノ都會ハ、嚴原ニシテ、上島ノ東南岸ニ在リ、貨物出入ノ要區タリ、其ノ他記スベキノ市邑ナシ、下島ノ北岸ニ鰐浦アリ、遙カニ朝鮮ノ釜山浦ニ對ス、海路僅ニ十三里ナリ。

勝區舊跡。

筑前ノ太宰府ハ、福岡ヲ去ル五里、昔時外國ノ事ヲ宰シ、兼子テ本道ヲ制馭シタル府趾ナリ、延喜中菅原道真譏ニ遭ヒテ、茲ニ貶謫セラル、太宰府天滿宮ハ即道真ヲ祭レル神社ナリ。豊前山國川ノ上流ニハ、山谷耶馬溪ノ勝アリ、長溪數里ニ亘リ、奇巖處處ニ屏立シ、一水其ノ下ヲ流レ、風致幽雅、人ヲシテ天工ノ妙ニ驚カシム。宇佐八幡宮ハ、應神天皇及ビ神功皇后ヲ合祭セル有名ノ神社ナリ。又英彦山ノ上ニハ、天忍穗耳尊ヲ祠レル神社アリ。肥前伊萬里灣ノ口ニ鷹島アリ、弘安中、元寇ヲ鏖殺セシ所ナリ。唐津ハ、豐臣秀吉朝鮮征伐ノ時本營ヲ置キシ地ニシテ、其ノ海岸ヲ虹濱ト云ヒ、白沙青松、數里ノ間風光明媚ナリ。名護屋ハ、昔時壹岐對馬へ渡ル要津ニシ

テ、征韓ノ時モ此ノ處ヨリ三軍出船シタルナリ、熊本城ハ加藤清正ノ築キタル所ニシテ、規模宏壯、城趾堅牢、實ニ本邦ノ名城タリ、隈府ニハ、菊池氏累代ノ城趾アリ、我が神代ノ都タリシ高千穂宮趾ハ、日向都城ニ在リト云フ。

本道霧島火山脈中ニ、温泉ノ湧出スル所極メテ多ク、凡ベテ七十餘所アリ、其ノ中肥後最多クシテ二十四所アリ、而シテ筑前天拜山麓ナル武藏温泉、豊後ノ別府濱脇肥前ノ温泉、嶽ノ湯、肥後ノ阿蘇山家、大隅ノ霧島、薩摩ノ櫻島、硫黄川沿ノ温泉等、最有名ナリ、但シ筑前ニハ僅ニ一所、豊前、筑後ニハ全ク之ヲ見ズ。

氣候。

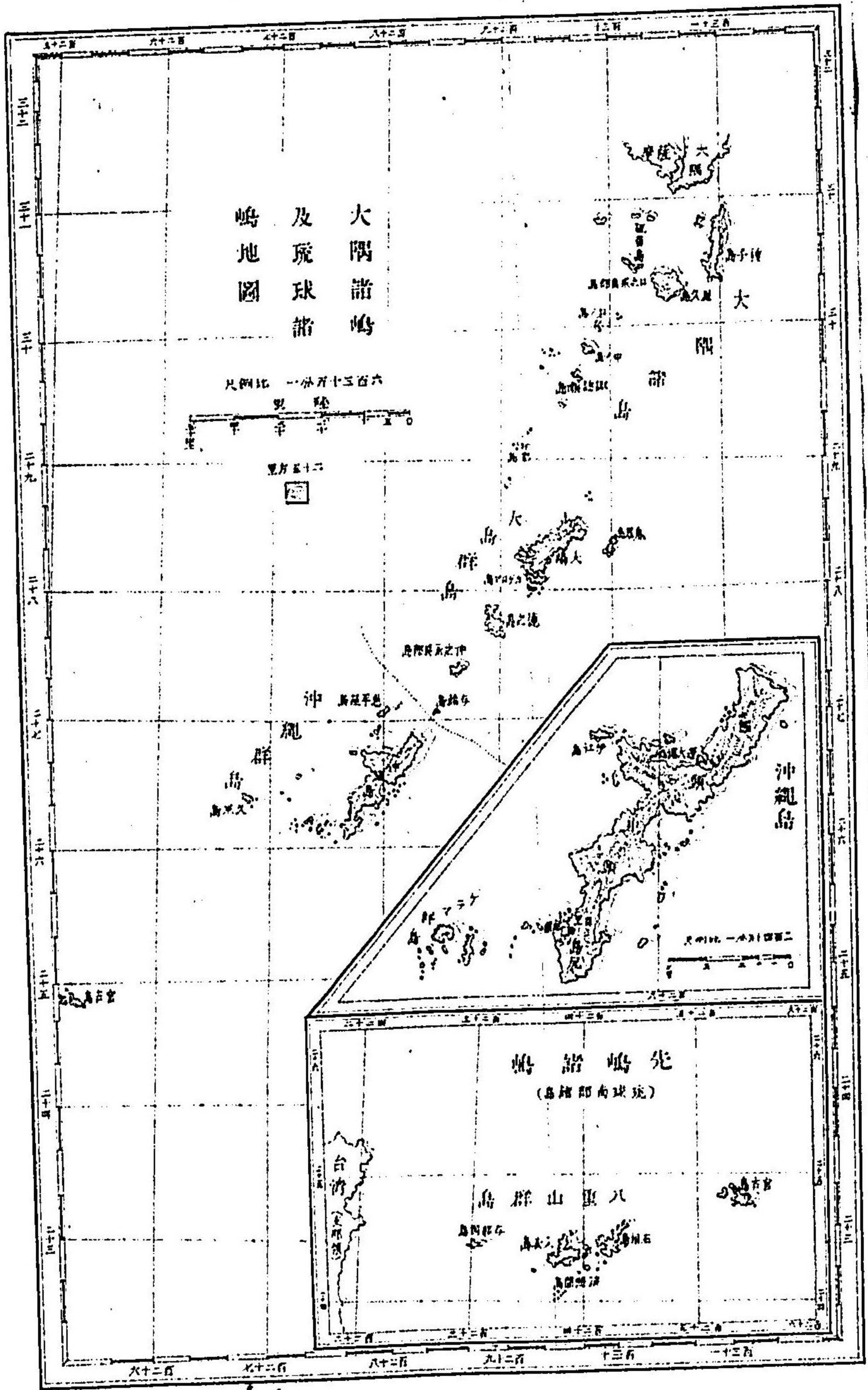
西海道ハ、本州ノ南部ニ位スルヲ以テ、氣候一般ニ温暖ナリ、然レドモ北部南部又大差ナキ能ハズ。南方ニテハ霜雪ヲ見ルコト稀ナリト雖、對馬ノ如キハ、氣候稍寒シ。南海ノ諸島ニ至リテハ、全ク霜雪ナシ。左ニ本道測候所ノ設ケアル地ノ温度、雨量等ヲ表出ス。

地名	温度			平均	湿度		雨量	雪
	最高	最低	平均		均	總量(耗)		
那覇(琉球)	三二・八	七・八	二一・九	七八	二、七五二・三			

地名	温度			平均	湿度		雨量	雪
	最高	最低	平均		均	總量(耗)		
鹿兒島	三四・一	零下	一六・八	七四	二、二四四・一			
宮崎	三五・九	全	一六・六	七九	二、七六三・八			
大分	三三・八	全	一五・〇	八〇	一、三六六・七			
熊本	三五・八	全	一五・四	八〇	一、八三七・五			
佐賀	三五・八	全	一五・二	七七	一、四九三・四			
長崎	三四・四	全	一六・〇	七四	一、五八四・四			
福岡	三四・五	全	一四・六	七九	一、三一六・三			
嚴原	三五・八	全	一四・四	七六	二、五六四・三			

産物。

九州ノ平野ハ、地味大概豊肥ニシテ、能ク農耕ニ適ス、筑後、肥後ノ平地ハ尤富饒ナリ、米ハ此ノ地方ノ産出全國ニ名高ク、粟ハ肥後ヲ以テ本邦第一ノ産地トス。甘藷ハ各國培養シ、麻ハ肥後ノ人吉近傍及ビ日向ニ多ク、烟草ハ各國ニ生産スルモ、大隅ノ國府特ニ著名ナリ。製糖ハ大隅諸島盛大ナルガ、肥前、肥後、筑後、日向ノ諸國ニテモ亦大イニ行ハル。生蠟ハ諸國ニ産スレドモ、豊前ヲ以テ最トス、薩摩、大隅、肥後、日向ハ、有名ノ林区ニシテ、顔木材ニ富ム。牛馬ノ牧畜ハ各地ニ行ハレ、馬ハ肥後、薩摩、大隅ニ、牛ハ豊後、肥前、薩摩、大隅ニ多シ、然レドモ馬ハ奥州産ニ及バズ、牛ハ中國産ニ敵スベカラズ。



工藝品ニテ著名ナルハ、筑前ノ博多織リ、筑後ノ久留米飛白、豊前ノ小倉織リ、豊後絞
 リ、薩摩飛白、大島紬等ナリ。肥前ノ有田ハ、陶器ニ名高ク、伊萬里焼キハ皆此ノ地ノ製
 造ナリ。其ノ他八代焼キ、薩摩焼キ等モ亦名アリ。疊ミ表ハ、豊後ノ特産ニシテ、其ノ産
 額極メテ多ク、紙ハ豊前、豊後、筑後、肥前等ヨリ多ク出ス。大隅諸島ノ筵、日向ノ樟腦等
 モ、亦有名ナリ。
 九州ノ矿产ハ頗多シ、其ノ石炭ハ、全國ニ名高ク、肥前ヲ第一トシ、筑前、筑後、豊前、肥後
 等之ニ次グ、而シテ其ノ有名ナル礦區ハ、肥前ニテハ、唐津近傍及ビ高島、筑前ニテハ、
 遠賀川上流ノ地、筑後ニテハ、三池ノ近傍、肥後ニテハ、天草ナリ。黄金ハ、大隅、薩摩ヨリ
 出デ、錫、硫黄ハ、豊後、薩摩ニ多シ。
 海産ハ、海岸島嶼共ニ多ク之ヲ産ス、特ニ名高キハ、肥前五島ノ鰯、薩摩ノ鰹節、肥前ノ
 捕鯨等ナリ。豊前、豊後、肥後ノ海濱ニハ多少鹽田アリ。
琉球誌。 琉球ハ、大隅諸島ノ連脈ニシテ、九州ノ南端ヨリ西南一百餘里ノ海上
 ニ基布スル大小五十餘ノ群島ヲ稱ス。面積總計百五十七方里、人口四十一萬八百八
 十一ニシテ、一方里正ニ二千六百十九人ニ當ル。島嶼ノ形勢ニ從ヒテ、沖繩、先島ノ二

群島ニ分ツ。前者ニ屬スルハ沖繩島以下大小二十餘島ニシテ、後者ニ屬スルハ宮古
 石垣、入表以下大小二十餘島ナリ、兩者ノ中ニ、沖繩島最大イニシテ、琉球ノ本地タリ。
 全島ヲ四十間切ニ分カツ、沖繩島ハ、東西ノ廣サ十里、南北ノ長サ凡二十七里、周回百
 三里、之ヲ國頭、中頭
 島尻ノ三大區ニ分
 チ、二邑三十五間切
 アリ、村落凡ベテ四
 百九十五、二區ハ、那
 覇、首里ナリ。
 島中ハ、山岳長ク亘
 リテ平地ナク、河川
 ノ見ルベキモノナ
 シ。那覇港ハ、中頭ノ
 西南岸ニ在リ、沖繩



琉球人

縣廳ノ所在地ニシテ、人口四萬二千餘、其ノ東北ニ首里アリ、往時ノ王都ニシテ、人口二萬六千アリ。

宮古島ハ、沖繩ノ西南凡六十六里ニ在リ、周回二十二里、四間切ニ分ツ。石垣島ハ、宮古ノ西二十六里ニ在リ、周回三十七里、四間切アリ。入表島ハ、石垣ノ西六里ニ在リ、周回二十九里、二間切ニ分ツ。其ノ屬島波照間島ハ、本邦ノ極南ニシテ、與那國島ハ本邦ノ極西ナリ。

諸島共ニ遠ク南海ニ羅列スルガ故ニ、暖氣甚シク、霜雪ナク、草木常ニ茂リ、五穀年ニ再熟ス、極寒ノ時ト云フトモ、尙内地ノ櫻桃滿開ノ候ニ等シ、而シテ其ノ暑熱ハ、却リテ甚シカラズ。風俗ハ、本邦ト支那トナ折衷セシモノノ如シ、土人ハ多ク耕織ニ從事シ、豚ヲ畜ヒテ食用ニ供シ、盛ニ甘藷ヲ作りテ常食トス。其ノ特産ニハ、上布、芭蕉布、飛白漆器、泡盛リアリ。薩摩ト稱スル飛白ハ、琉球ニテ製スルモノナリ。又海産物ニハ、鳥賊、鱧アリ、島中石炭ヲ産ス。

中等地理教科書。上卷終。

明治廿七年五月二十八日印刷
同 廿七年五月三十一日發行

中等地理教科書上卷
(定價金八拾五錢)

著者 菊池 熊太郎

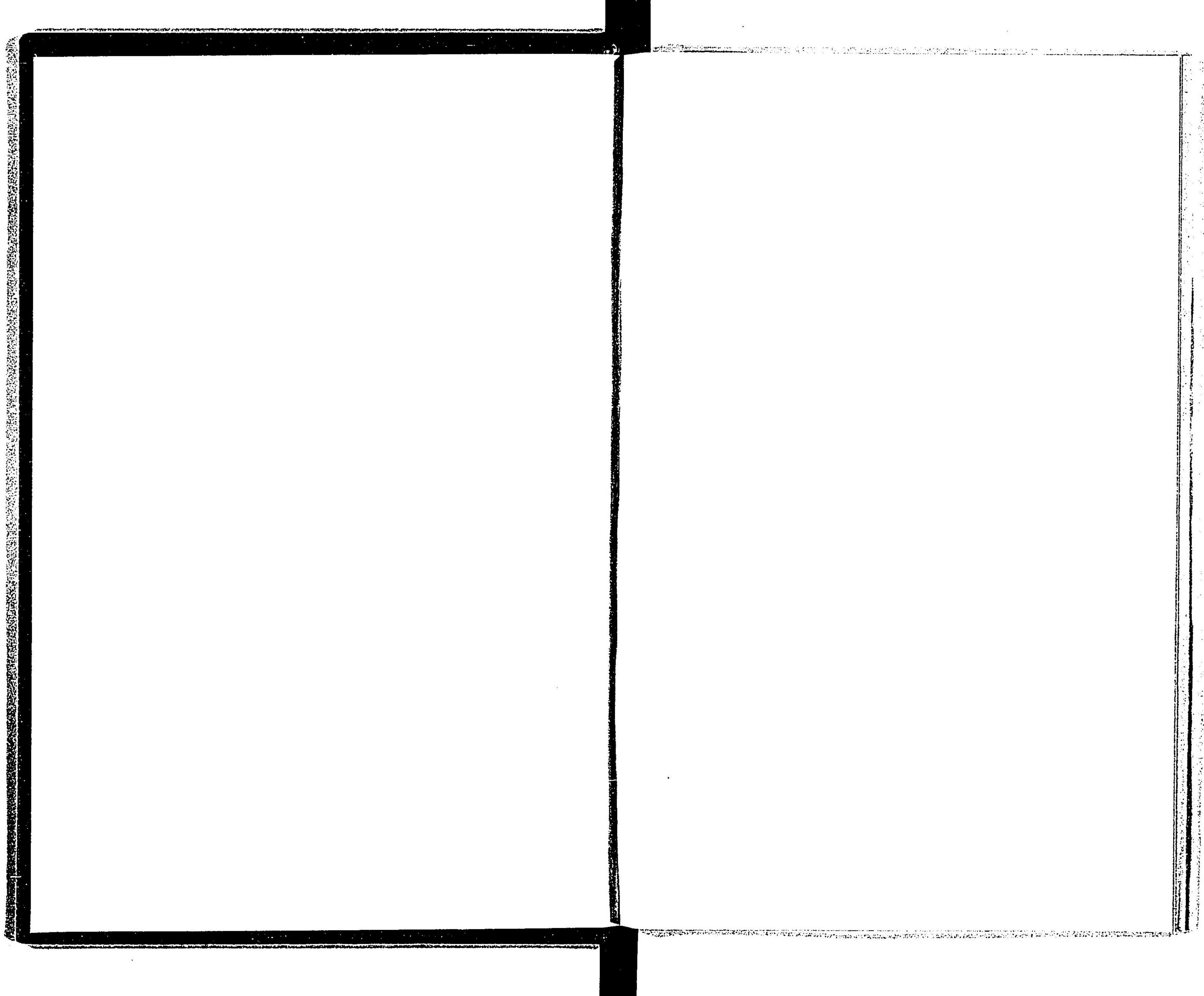
發行兼印刷者 金港堂書籍株式會社
東京市日本橋區本町三丁目拾七番地

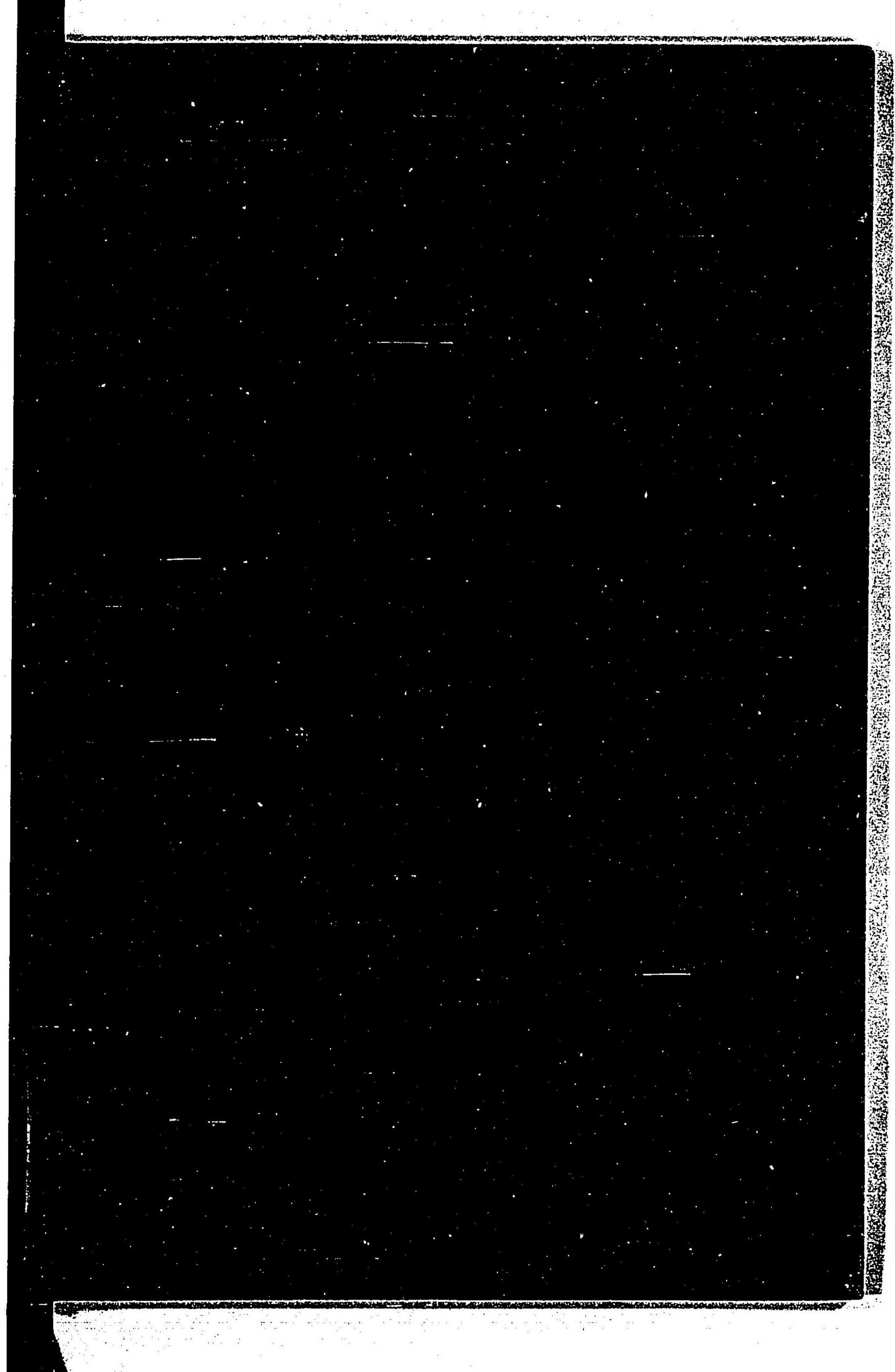
代表者 原 亮三郎
東京市下谷區龍泉寺町四百拾番地



大賣捌 金 港 堂
大坂市東區南本町四丁目

金 港 堂
宮城縣仙臺市圓分町五丁目





44
248

022125-001-2

44-248

中等地理教科書

菊地 熊太郎/著

M27, 28

ADA-0515



